

荒川区
障がい者総合プラン策定のための
障がい者実態調査
調査結果報告書
(概要版)

令和5年3月

荒 川 区

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	2
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	医療的ケア・重症心身障がい者児調査の結果	3
2	知的障がい者調査の結果	20
3	知的障がい者（施設入所者）調査の結果	36
4	精神障がい者調査の結果	46
5	身体障がい者調査の結果	70
6	身体障がい者（施設入所者）調査の結果	86
7	難病罹患者調査の結果	91
8	障がい児通所支援利用者調査の結果	108
9	障害福祉サービス等事業所の結果	120

I 調査の概要

1 調査の目的

障がい者の日常生活、健康状態、福祉サービスの利用状況等を把握し、各種施策を推進する際の資料とするとともに、障がい者総合プラン策定の基礎資料を得ることを目的とします。

2 調査対象

- ①医療的ケア・重症心身障がい者児
- ②愛の手帳所有者
- ③愛の手帳所有者（施設入所）
- ④精神障害者保健福祉手帳所有者
- ⑤身体障害者手帳所有者
- ⑥身体障害者手帳所有者（施設入所）
- ⑦難病罹患者
- ⑧障がい児通所支援利用者
- ⑨障害福祉サービス等事業所

3 調査期間

令和4年10月31日～令和4年11月14日

4 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
医療的ケア・重症心身障がい者児	313 通	166 通	53.0%
愛の手帳所有者	1,204 通	547 通	45.4%
愛の手帳所有者（施設入所）	100 通	63 通	63.0%
精神障害者保健福祉手帳所有者	2,016 通	788 通	39.1%
身体障害者手帳所有者	4,956 通	2,367 通	47.8%
身体障害者手帳所有者（施設入所）	17 通	11 通	64.7%
難病罹患者	1,261 通	633 通	50.2%
障がい児通所支援利用者（手帳不所持）	292 通	140 通	47.9%
障害福祉サービス等事業所	148 通	90 通	60.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

II 調査結果

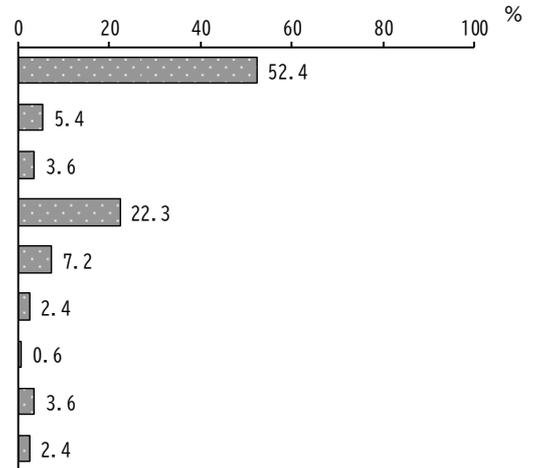
1 医療的ケア・重症心身障がい者児調査の結果

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が52.4%と最も高く、次いで「母」の割合が22.3%となっています。

回答者数 = 166

本人
配偶者
父
母
子（配偶者の子を含む）
兄弟姉妹
その他の親族
その他
無回答

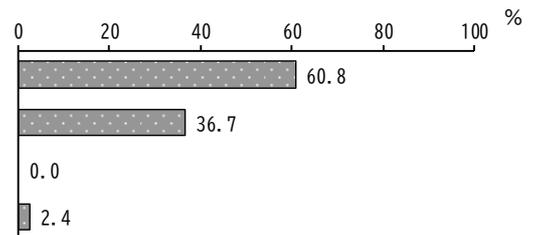


問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が60.8%と最も高く、次いで「女性」の割合が36.7%となっています。

回答者数 = 166

男性
女性
回答しない
無回答

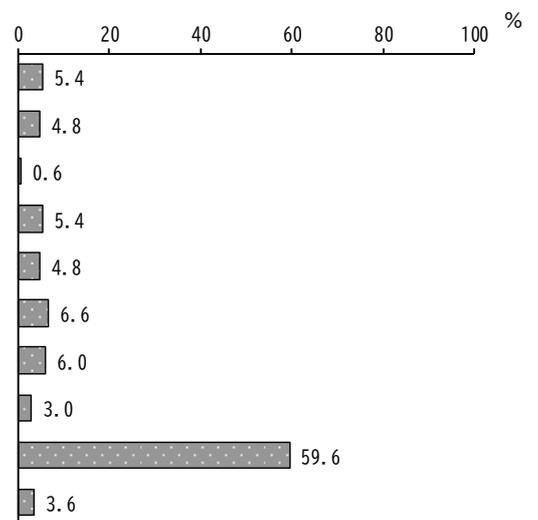


問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「65歳以上」の割合が59.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 166

0～5歳
6～14歳
15～17歳
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
無回答

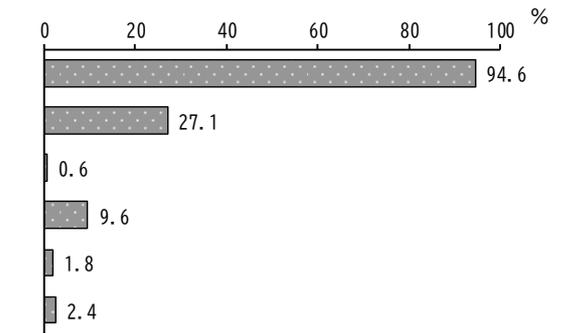


問4 あなたがお持ちの手帳等はどれですか。また、手帳をお持ちの方は、等級をお答えください。(〇はいくつでも)

「身体障害者手帳」の割合が94.6%と最も高く、次いで「愛の手帳」の割合が27.1%となっています。

回答者数 = 166

- 身体障害者手帳
- 愛の手帳
- 精神障害者保健福祉手帳
- 難病
- 該当なし
- 無回答



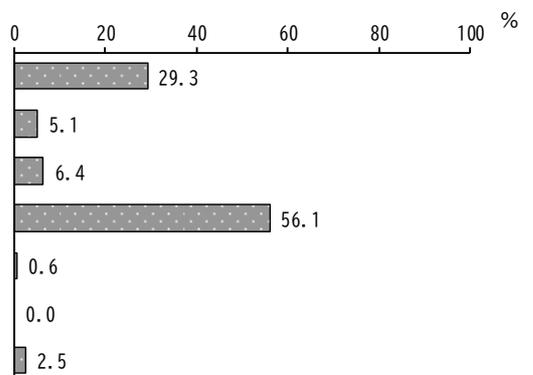
【手帳の等級 (〇はそれぞれ1つ)】

身体障害者手帳

「4級」の割合が56.1%と最も高く、次いで「1級」の割合が29.3%となっています。

回答者数 = 157

- 1級
- 2級
- 3級
- 4級
- 5級
- 6級
- 無回答

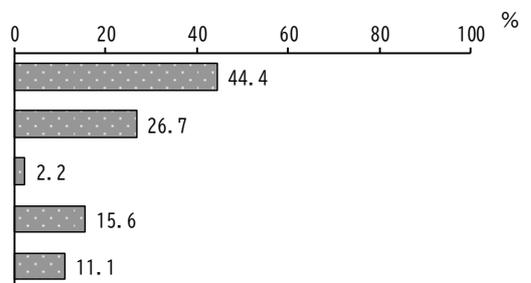


愛の手帳

「1度」の割合が44.4%と最も高く、次いで「2度」の割合が26.7%、「4度」の割合が15.6%となっています。

回答者数 = 45

- 1度
- 2度
- 3度
- 4度
- 無回答

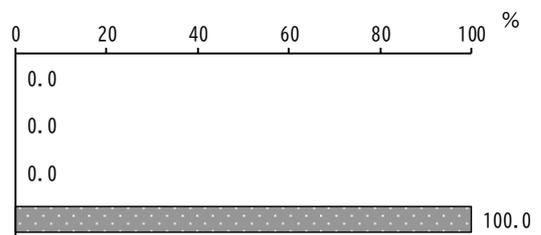


精神障害者保健福祉手帳

有効回答がないため、コメントは控えます。

回答者数 = 1

- 1級
- 2級
- 3級
- 無回答

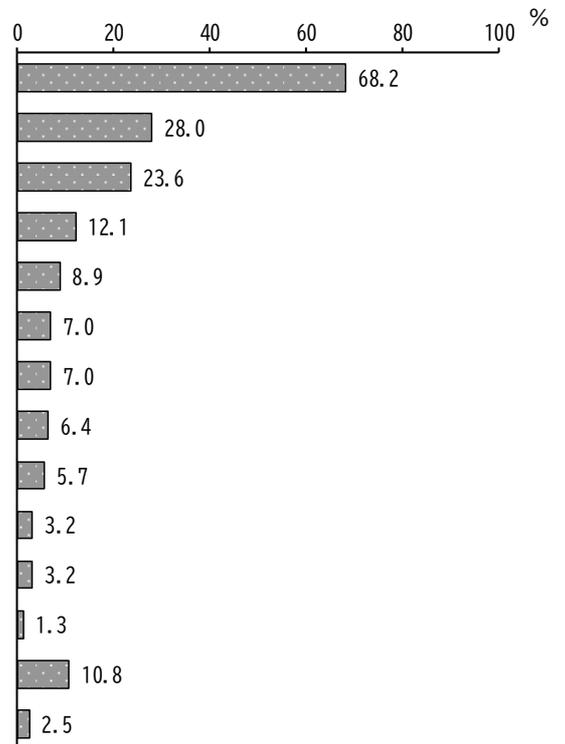


問5 (問4で「身体障害者手帳」に○をつけた方のみお答えください。) あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「膀胱・直腸機能」の割合が68.2%と最も高く、次いで「下肢機能」の割合が28.0%、「上肢機能」の割合が23.6%となっています。

回答者数 = 157

- 膀胱・直腸機能
- 下肢機能
- 上肢機能
- 音声・言語
- 視覚
- そしゃく機能
- 呼吸機能
- 平衡機能
- 腎臓機能
- 聴覚
- 心臓機能
- 肝臓機能
- その他
- 無回答

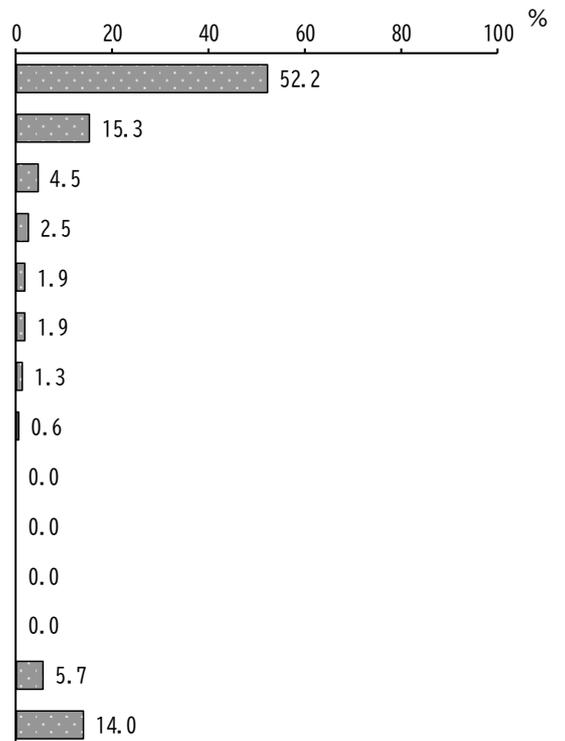


問6 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なもの1つをお答えください。(あてはまる番号を1つご記入ください。)

「膀胱・直腸機能」の割合が52.2%と最も高く、次いで「下肢機能」の割合が15.3%となっています。

回答者数 = 157

- 膀胱・直腸機能
- 下肢機能
- 上肢機能
- 腎臓機能
- 視覚
- 音声・言語
- 呼吸機能
- 肝臓機能
- 聴覚
- そしゃく機能
- 平衡機能
- 心臓機能
- その他
- 無回答

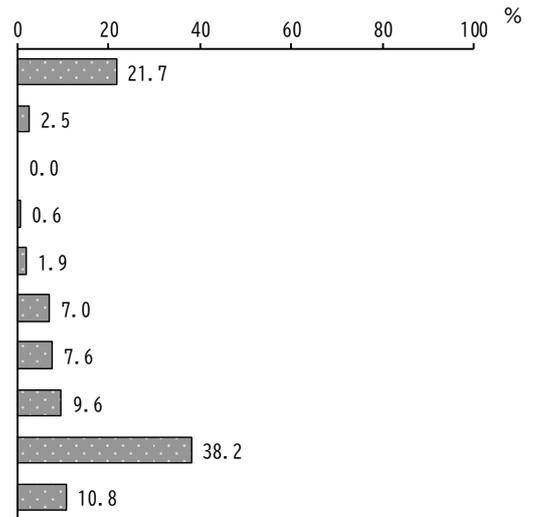


問7 「身体障害者手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

「65歳以上」の割合が38.2%と最も高く、次いで「0～5歳」の割合が21.7%となっています。

回答者数 = 157

- 0～5歳
- 6～14歳
- 15～17歳
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65歳以上
- 無回答

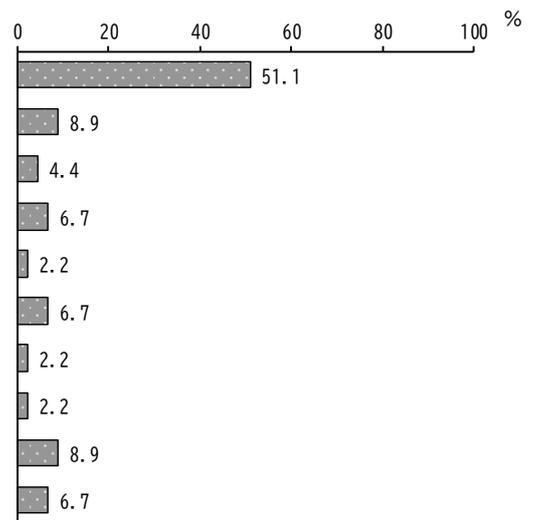


問8 (問4で「愛の手帳」に○をつけた方のみお答えください。)「愛の手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

「0～5歳」の割合が51.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 45

- 0～5歳
- 6～14歳
- 15～17歳
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65歳以上
- 無回答

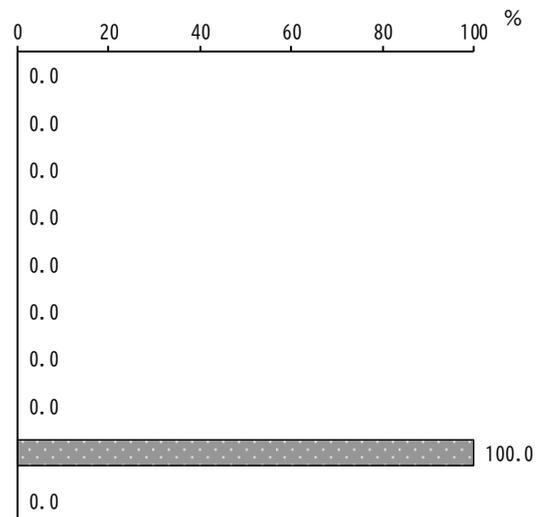


問9 (問4で「精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方のみお答えください。)「精神障害者保健福祉手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

「65歳以上」が1件となっています。

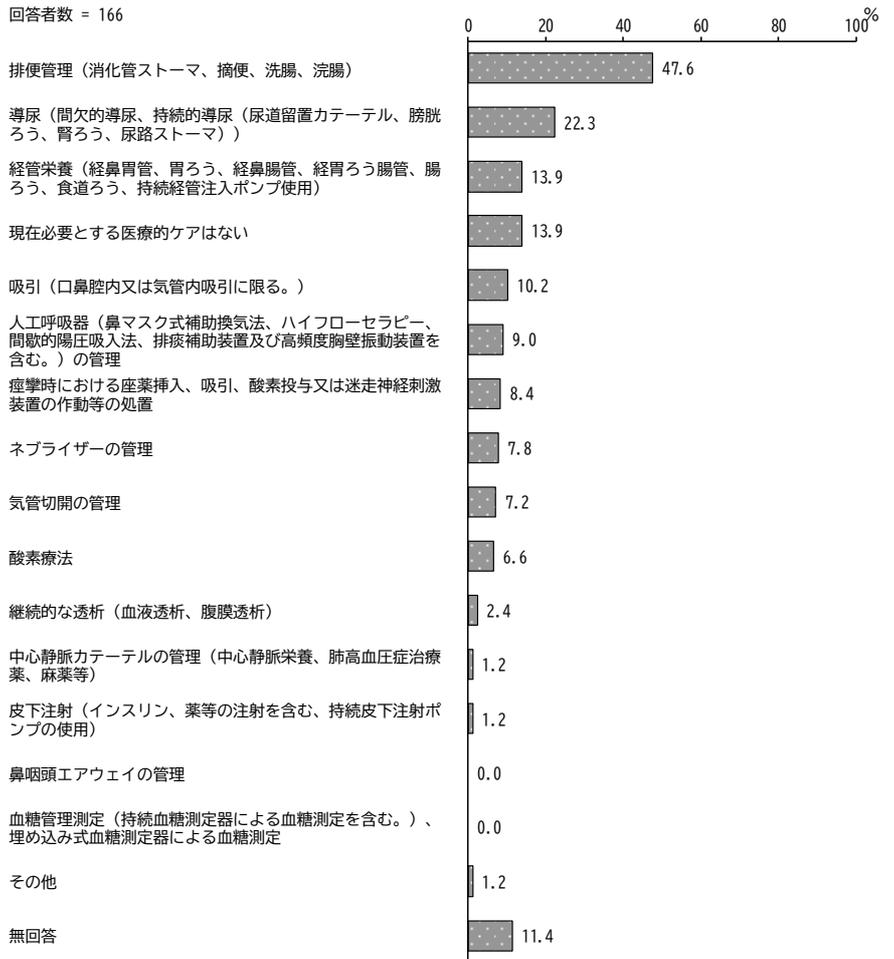
回答者数 = 1

- 0～5歳
- 6～14歳
- 15～17歳
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65歳以上
- 無回答



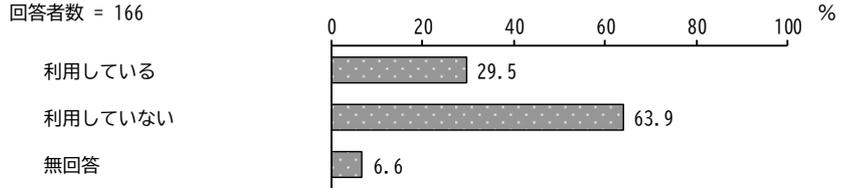
問10 あなたが、現在必要とする医療的ケアはありますか。(〇はいくつでも)

「排便管理（消化管ストーマ、摘便、洗腸、浣腸）」の割合が47.6%と最も高く、次いで「導尿（間欠的導尿、持続的導尿（尿道留置カテーテル、膀胱ろう、腎ろう、尿路ストーマ））」の割合が22.3%、「経管栄養（経鼻胃管、胃ろう、経鼻腸管、経胃ろう腸管、腸ろう、食道ろう、持続経管注入ポンプ使用）」、「現在必要とする医療的ケアはない」の割合が13.9%となっています。



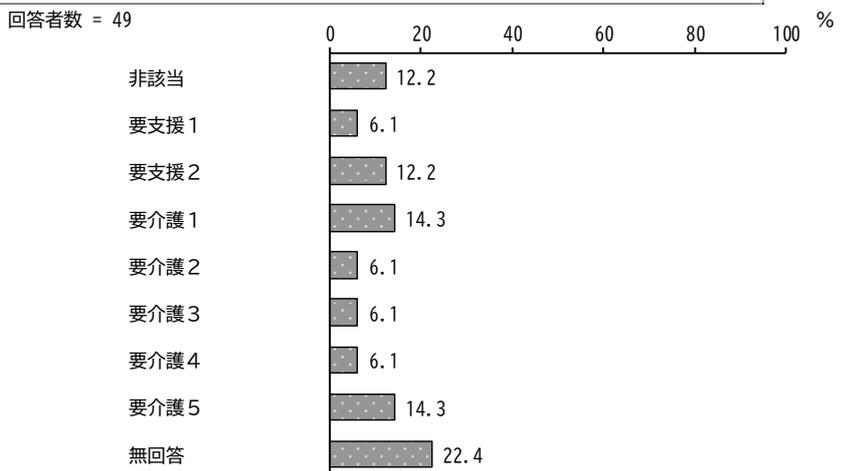
問11 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。(〇は1つ)

「利用している」の割合が29.5%、「利用していない」の割合が63.9%となっています。



問12 (問11で「利用している」に〇をつけた方のみお答えください。) 該当する要介護度に〇をつけてください。(〇は1つ)

「要介護1」、「要介護5」の割合が14.3%と最も高く、次いで「非該当」、「要支援2」の割合が12.2%となっています。

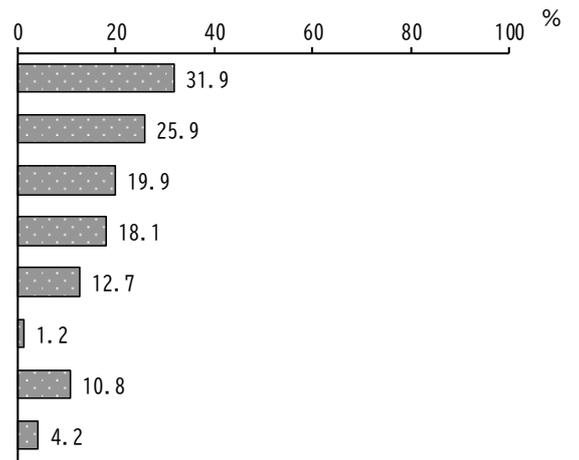


問 13 あなたは、現在、誰と一緒に生活していますか。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が 31.9%と最も高く、次いで「親(父・母)」の割合が 25.9%、「一人暮らし」の割合が 19.9%となっています。

回答者数 = 166

- 配偶者
- 親(父・母)
- 一人暮らし
- 子(配偶者の子を含む)
- 兄弟姉妹
- 祖父・祖母
- その他
- 無回答

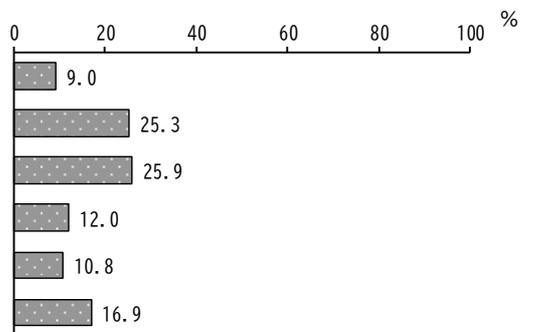


問 14 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(〇は1つ)

「3人」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「2人」の割合が 25.3%、「4人」の割合が 12.0%となっています。

回答者数 = 166

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上
- 無回答



問 15 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。(○は1つ)

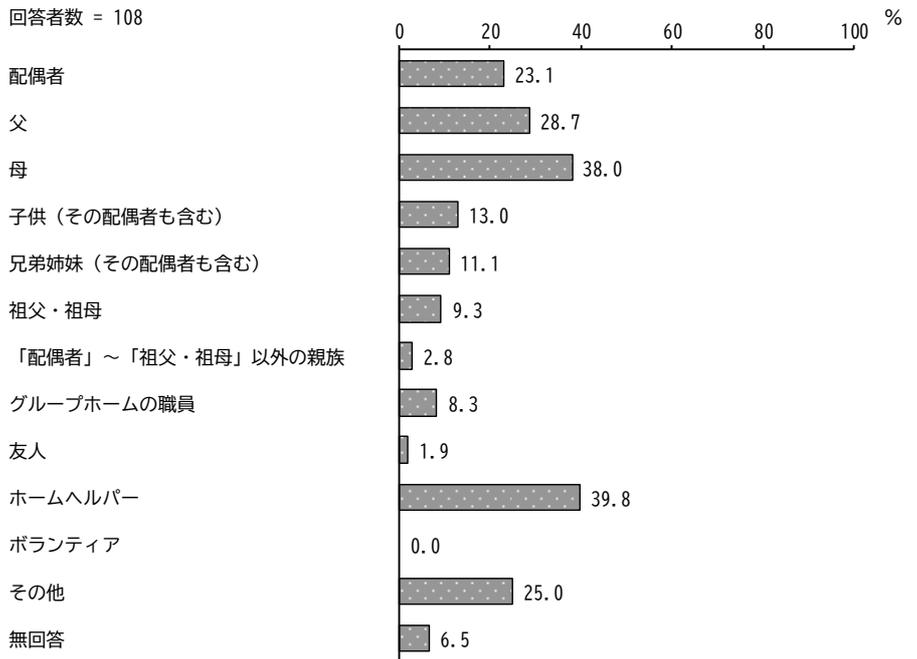
「11 電話を受けたり、かけたりすること」「14 近所に日常の買い物に行くこと」「16 医療的ケアを行うこと」で「全部に手助けが必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回答
1 歩くこと	166	57.2	11.4	29.5	1.8
2 食事をすること	166	60.8	11.4	25.9	1.8
3 食事の支度や後片付けをすること	166	48.8	7.8	38.6	4.8
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	166	57.8	8.4	30.7	3.0
5 トイレで用を足し、後始末をすること	166	57.2	10.2	30.7	1.8
6 入浴し、身体や髪を洗うこと	166	54.2	9.6	33.7	2.4
7 歯磨き・洗顔等をすること	166	60.8	4.8	32.5	1.8
8 室内の掃除・整理整頓をすること	166	45.2	15.1	37.3	2.4
9 洗濯をし、干し、たたむこと	166	47.0	7.2	41.6	4.2
10 布団を干すこと	166	44.0	7.2	45.2	3.6
11 電話を受けたり、かけたりすること	166	56.6	6.6	34.9	1.8
12 規則的な服薬をすること	166	53.0	7.8	35.5	3.6
13 病院に行くこと	166	44.0	10.2	44.0	1.8
14 近所に日常の買い物に行くこと	166	43.4	9.6	42.8	4.2
15 バス・都電・電車を利用すること	166	46.4	4.2	44.0	5.4
16 医療的ケアを行うこと	166	39.8	13.9	41.0	5.4

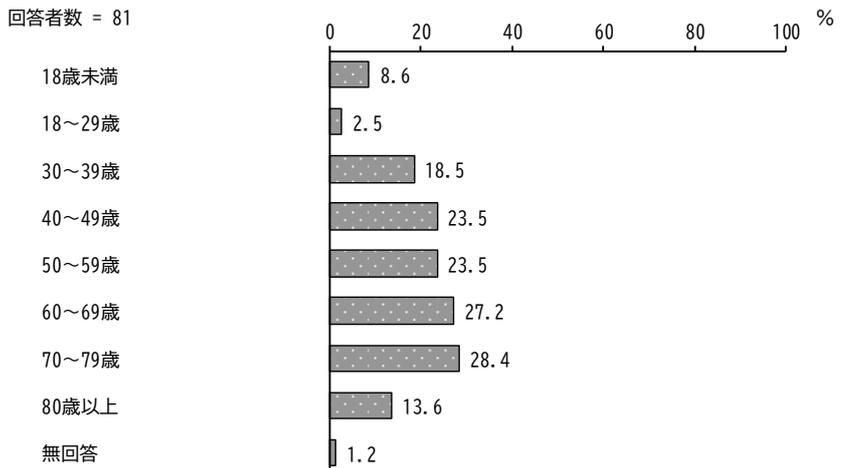
問 16 (問 15 で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「ホームヘルパー」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「母」の割合が 38.0%、「父」の割合が 28.7%となっています。



問 17 (問 16 で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。(問 16 で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「70～79 歳」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「60～69 歳」の割合が 27.2%、「40～49 歳」、「50～59 歳」の割合が 23.5%となっています。



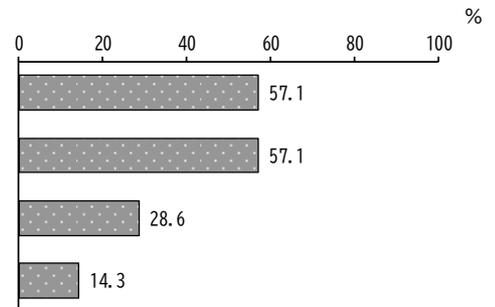
問 18 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている 18 歳未満の人 (※) は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」、「身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている」が 4 件となっています。「金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている」が 2 件となっています。

回答者数 = 7

家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている
身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている
金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
無回答

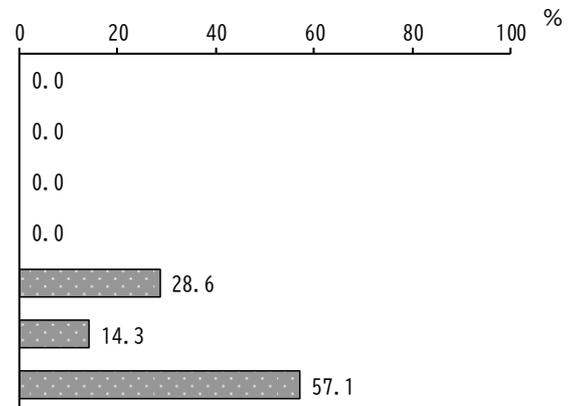


問 19 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「1 か月に数日」が 2 件となっています。

回答者数 = 7

毎日
週に 1 日
週に 2 ~ 3 日
週に 4 ~ 5 日
1 か月に数日
その他
無回答

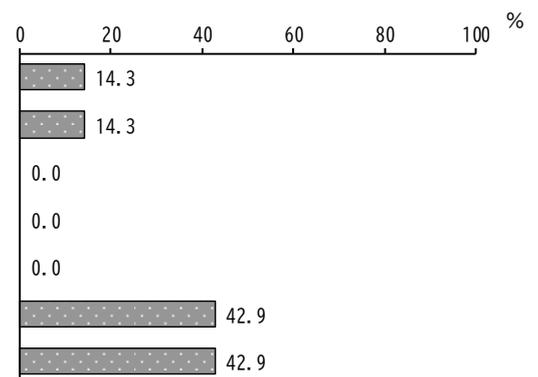


問 20 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため」、「(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため」が 1 件となっています。

回答者数 = 7

(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため
(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため
ひとり親家庭のため
親がきょうだいの面倒をみているため
親に障がいがあるため
その他
無回答

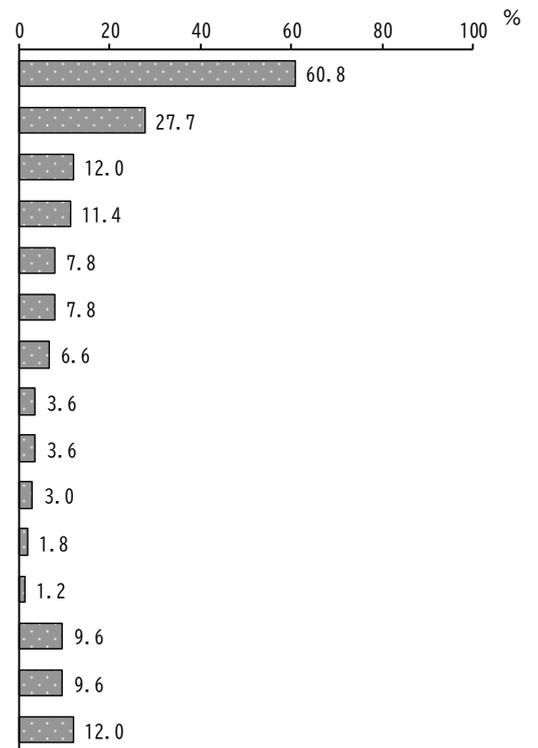


問 21 あなたが日常のことや困ったことを相談している人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が60.8%と最も高く、次いで「ホームヘルパー・訪問看護師」の割合が27.7%、「ケアマネージャー」の割合が12.0%となっています。

回答者数 = 166

家族・親戚	60.8
ホームヘルパー・訪問看護師	27.7
ケアマネージャー	12.0
友人・知人	11.4
障害者福祉課・たんぼぼセンター等の区の職員	7.8
通所先の障害福祉サービス等事業者の職員	7.8
計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員	6.6
保健師	3.6
荒川区障害者基幹相談支援センターの職員	3.6
障害者相談員・民生委員・児童委員	3.0
近所の人	1.8
医療的ケア児等地域コーディネーター	1.2
その他	9.6
誰もいない	9.6
無回答	12.0

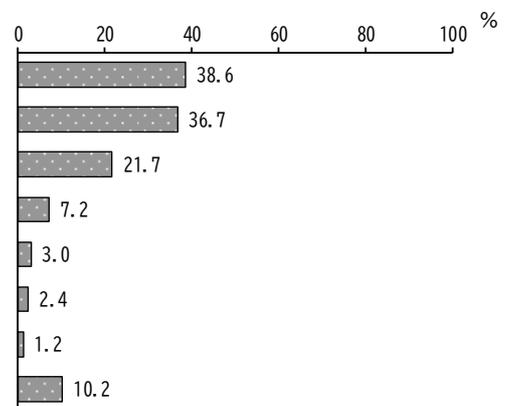


問 22 あなたは、病院への通院や訪問診療をどのくらい行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「病院を2か月以上から6か月に1回受診している」の割合が38.6%と最も高く、次いで「病院を毎月受診している」の割合が36.7%、「定期的に訪問診療を受けている」の割合が21.7%となっています。

回答者数 = 166

病院を2か月以上から6か月に1回受診している	38.6
病院を毎月受診している	36.7
定期的に訪問診療を受けている	21.7
病院に入院している	7.2
病院や訪問診療等での診療をほとんど受けない	3.0
病院を7か月以上から1年に1回受診している	2.4
時々(不定期に)訪問診療を受けている	1.2
無回答	10.2

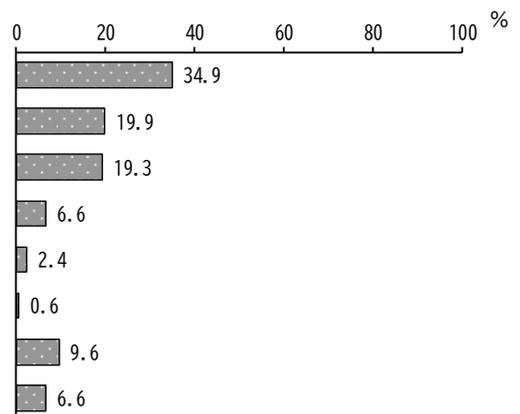


問 23 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

「一戸建ての持ち家」の割合が34.9%と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」の割合が19.9%、「分譲マンション」の割合が19.3%となっています。

回答者数 = 166

一戸建ての持ち家	34.9
賃貸マンション・アパート	19.9
分譲マンション	19.3
公営住宅	6.6
一戸建ての借家	2.4
社宅等	0.6
その他	9.6
無回答	6.6

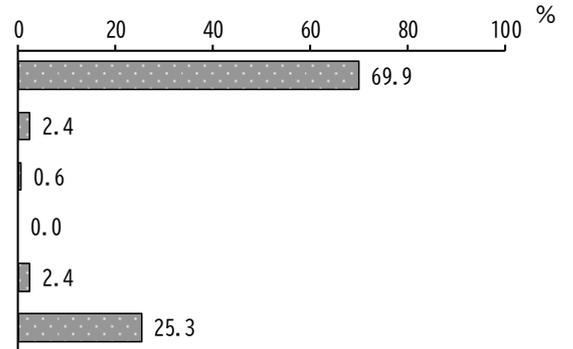


問 24 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいを理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「そのような経験はない」の割合が 69.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 166

- そのような経験はない
- 断られた経験がある
- 最終的には借りられたが難航した
- 退去を求められたことがある
- その他
- 無回答

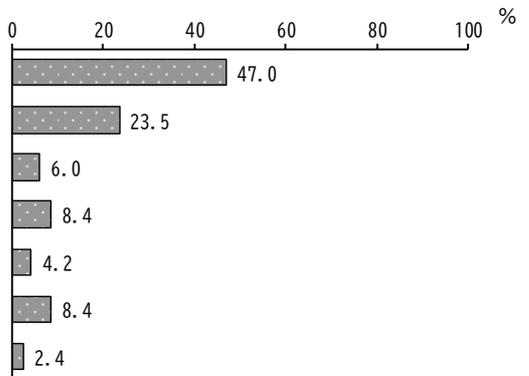


問 25 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出) (○は1つ)

「ほぼ毎日」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が 23.5%となっています。

回答者数 = 166

- ほぼ毎日
- 週に2～3回
- 週に1回くらい
- 月に1～2回くらい
- 年に数回くらい
- まったく外出しない
- 無回答

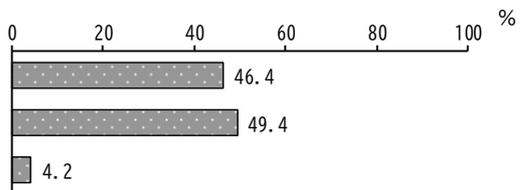


問 26 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。

「できる」の割合が 46.4%、「できない」の割合が 49.4%となっています。

回答者数 = 166

- できる
- できない
- 無回答

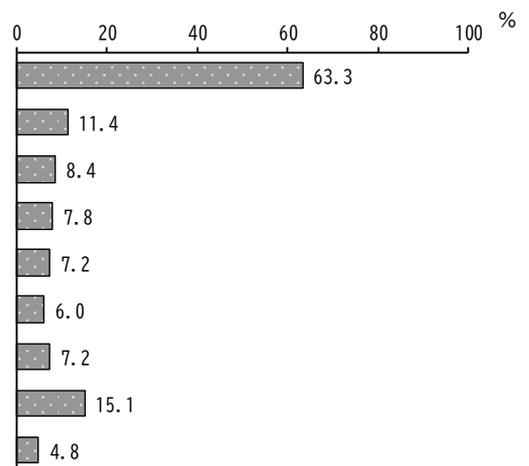


問 27 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 15.1%、「近所の人」の割合が 11.4%となっています。

回答者数 = 166

- 家族
- 近所の人
- 福祉サービス事業所等の関係者
- 親戚
- 訪問看護師
- 友人・知人
- その他
- 特にない
- 無回答

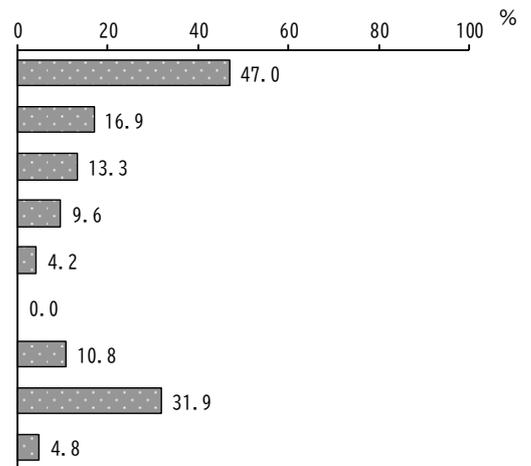


問 28 あなたは、地震・火災等の災害時に備えて保有している医療機器等の予備はありますか。(〇はいくつでも)

「薬剤・物品」の割合が47.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が31.9%、「経管栄養・栄養食等」の割合が16.9%となっています。

回答者数 = 166

- 薬剤・物品
- 経管栄養・栄養食等
- 蓄電池
- カテーテル
- 発電機
- カーインバーター
- その他
- 特にない
- 無回答



問 29 障害福祉サービス、施設等の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

『23 日常生活用具の給付』で「現在利用している」の割合が高くなっています。

『5 短期入所（ショートステイ）』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

『19 デイサービス』で「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

『31 寝具乾燥消毒』で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用して いる	利用 したこ とがあ る	知 つて いる が利 用し て い な い	知 ら な い	無 回 答
1 居宅介護（ホームヘルプ）	166	21.1	3.6	40.4	13.9	21.1
2 重度訪問介護	166	6.6	-	35.5	30.1	27.7
3 同行援護	166	4.8	3.0	30.7	32.5	28.9
4 行動援護	166	3.6	0.6	27.7	37.3	30.7
5 短期入所（ショートステイ）	166	6.6	10.2	39.8	18.7	24.7
6 療養介護	166	5.4	0.6	34.3	31.9	27.7
7 生活介護	166	9.0	0.6	36.7	27.1	26.5
8 施設入所支援	166	3.0	1.2	38.0	29.5	28.3
9 グループホーム（共同生活援助）	166	3.6	-	45.2	24.7	26.5
10 地域移行支援 （入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	166	-	0.6	27.7	42.8	28.9
11 地域定着支援 （地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	166	2.4	-	25.9	44.0	27.7
12 児童発達支援	166	4.2	3.0	20.5	41.0	31.3
13 医療型児童発達支援	166	2.4	1.2	21.7	43.4	31.3
14 放課後等デイサービス	166	4.8	1.2	25.3	35.5	33.1
15 保育所等訪問支援	166	-	-	21.7	44.6	33.7
16 居宅訪問型児童発達支援	166	3.0	0.6	20.5	43.4	32.5
17 障害児入所施設（福祉型・医療型）	166	1.8	1.2	26.5	39.2	31.3
18 計画相談支援・障害児相談支援	166	14.5	1.2	17.5	35.5	31.3
19 デイサービス	166	1.8	3.0	53.0	13.9	28.3
20 緊急一時保護	166	0.6	3.6	28.9	38.6	28.3

(次のページへ)

II 調査結果 医療的ケア・重症心身障がい者児

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
21 日中一時支援サービス	166	0.6	1.2	30.1	39.8	28.3
22 巡回入浴サービス・施設入浴	166	5.4	1.8	44.6	19.3	28.9
23 日常生活用具の給付	166	30.7	6.6	21.1	17.5	24.1
24 補装具の交付・修理	166	22.3	6.6	21.7	22.9	26.5
25 福祉タクシー券の支給	166	20.5	3.6	31.9	21.7	22.3
26 リフト付自動車利用助成	166	3.6	1.2	31.3	36.1	27.7
27 自動車燃料費の助成	166	5.4	3.0	27.7	38.0	25.9
28 住宅設備改善の助成	166	-	6.6	33.7	31.3	28.3
29 紙おむつ等の給付	166	23.5	3.0	30.7	19.9	22.9
30 留守番看護師の派遣	166	7.2	0.6	20.5	44.6	27.1
31 寝具乾燥消毒	166	0.6	-	18.7	52.4	28.3
32 理美容サービス	166	4.8	1.2	22.9	44.0	27.1
33 配食サービス	166	1.2	0.6	25.9	44.0	28.3
34 避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	166	7.8	1.8	18.1	44.6	27.7
35 緊急通報システムの設置	166	3.0	-	23.5	45.2	28.3
36 補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)利用	166	-	-	36.1	34.3	29.5
37 成年後見人制度	166	2.4	-	36.1	33.7	27.7
38 地域福祉権利擁護事業(あんしんサポート)	166	1.2	-	25.3	45.8	27.7
39 コミュニティバス乗車券支給	166	4.2	3.6	24.1	38.6	29.5
40 医療的ケア児等家庭家事サポート事業	166	2.4	1.2	19.3	48.2	28.9
41 医療的ケア児等地域コーディネーター	166	2.4	1.2	17.5	50.0	28.9

問 30 施設の利用状況について、お伺いします。それぞれの項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

『7 荒川区保健所』で「利用したことがある」「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

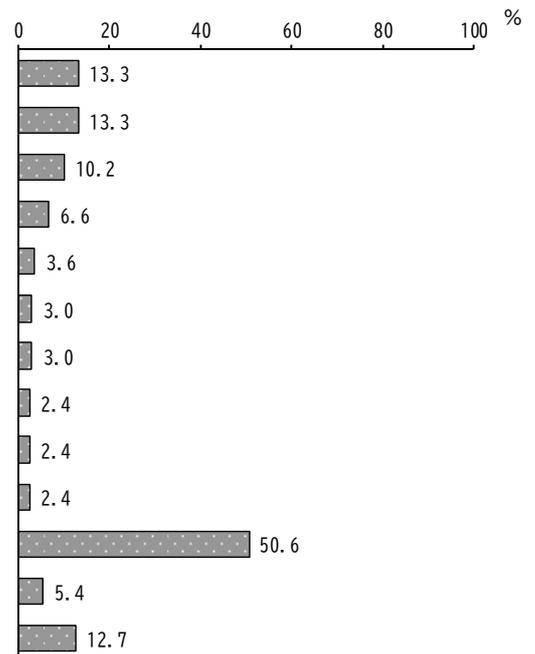
区分	回答者数(件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
1 アクロスあらかわ(障害者福祉会館)	166	8.4	4.8	27.7	37.3	21.7
2 たんぽぽセンターの療育訓練	166	-	5.4	25.9	43.4	25.3
3 荒川福祉作業所、荒川生活実習所	166	3.0	-	29.5	44.6	22.9
4 希望の家(本所・分所)	166	7.8	-	21.7	48.2	22.3
5 じょぶあらかわ(障害者就労支援センター)	166	-	1.2	22.9	51.2	24.7
6 荒川区障害者基幹相談支援センター	166	1.2	2.4	18.1	50.0	28.3
7 荒川区保健所	166	4.8	19.9	38.0	11.4	25.9
8 東京都心身障害者福祉センター	166	0.6	7.2	24.1	42.8	25.3
9 東京都障害者総合スポーツセンター	166	0.6	6.0	23.5	46.4	23.5
10 東京都障害者休養ホーム	166	-	3.0	15.1	56.6	25.3
11 荒川区子ども家庭総合支援センター	166	0.6	2.4	15.7	53.6	27.7

問 31 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「特になし」の割合が50.6%と最も高く、次いで「映画やコンサート等の鑑賞」「旅行」の割合が13.3%、「スポーツ・運動」の割合が10.2%となっています。

回答者数 = 166

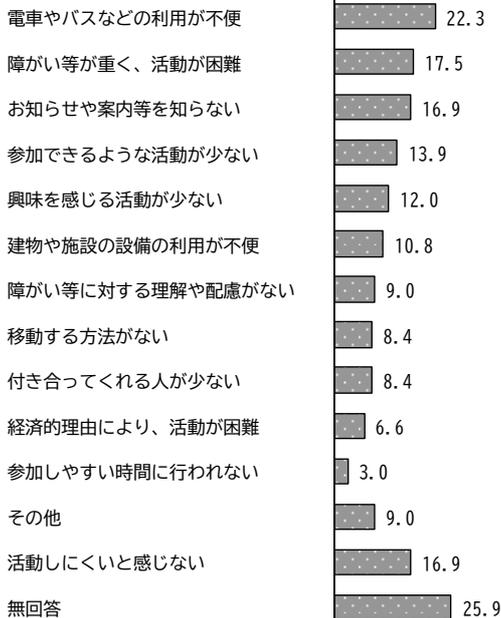
- 映画やコンサート等の鑑賞
- 旅行
- スポーツ・運動
- 絵画や音楽等の芸術活動
- 料理
- 習い事や学習活動
- その他のイベント等
- 障がい者団体等の活動
- 区が主催するイベント等
- その他
- 特になし
- 活動をしたと思わない
- 無回答



問 32 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「電車やバスなどの利用が不便」の割合が22.3%と最も高く、次いで「障がい等が重く、活動が困難」の割合が17.5%、「お知らせや案内等を知らない」、「活動しにくいと感じない」の割合が16.9%となっています。

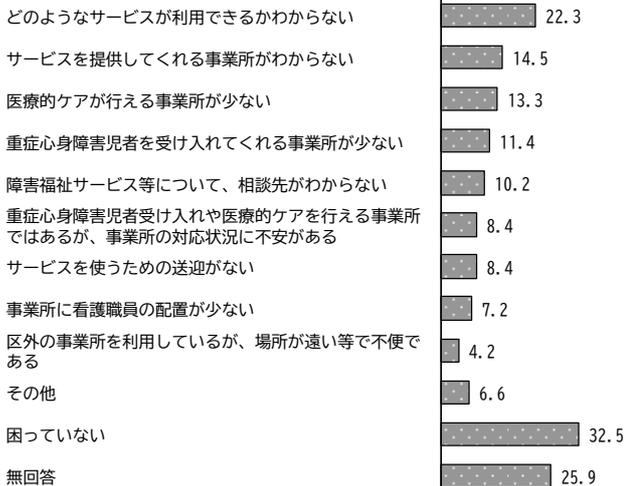
回答者数 = 166



問 33 あなたは、障害福祉サービス等について、困っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「困っていない」の割合が32.5%と最も高く、次いで「どのようなサービスが利用できるかわからない」の割合が22.3%、「サービスを提供してくれる事業所がわからない」の割合が14.5%、「サービスを提供してくれる事業所がわからない」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 166

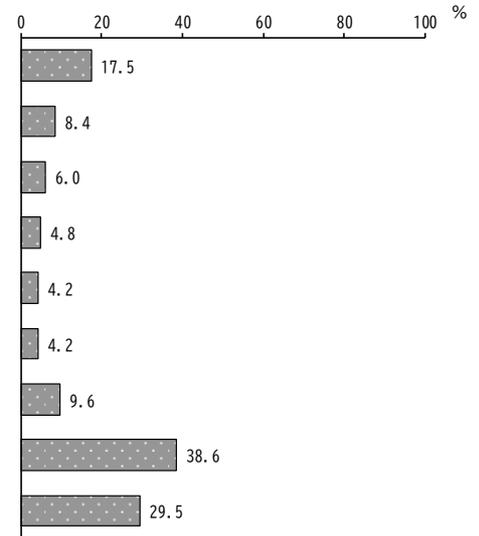


問 34 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。)(○はいくつでも) また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)」の割合が 17.5%となっています。

回答者数 = 166

- 周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等) 17.5
- 障がいに対する理解がないと感じるとき(就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等) 8.4
- 傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等) 6.0
- あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等) 4.8
- あなたが人と話しているとき(障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等) 4.2
- 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等) 4.2
- その他 9.6
- 差別や偏見を感じたことはない 38.6
- 無回答 29.5

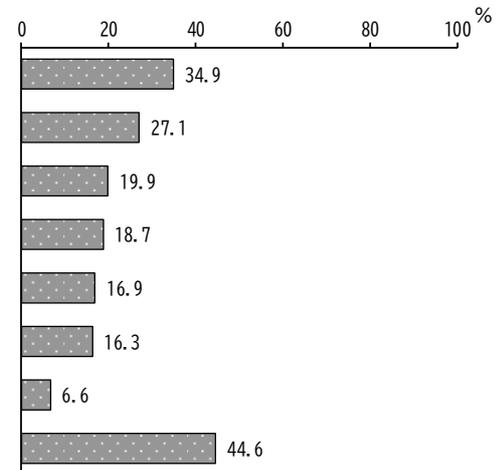


問 35 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が 27.1%、「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が 19.9%となっています。

回答者数 = 166

- 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う 34.9
- 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす 27.1
- 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める 19.9
- 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する 18.7
- 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める 16.9
- 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する 16.3
- その他 6.6
- 無回答 44.6



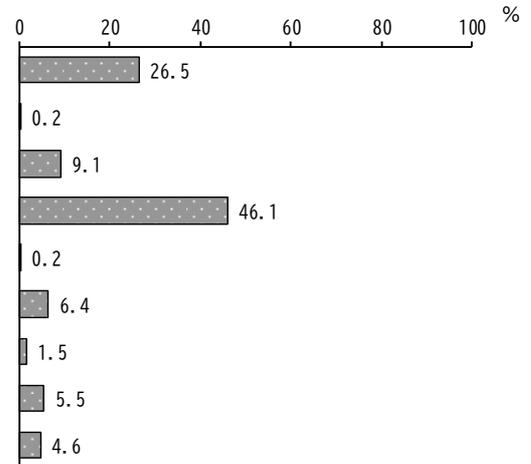
2 知的障がい者調査の結果

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「母」の割合が46.1%と最も高く、次いで「本人」の割合が26.5%となっています。

回答者数 = 547

本人
配偶者
父
母
子（配偶者の子を含む）
兄弟姉妹
その他の親族
その他
無回答

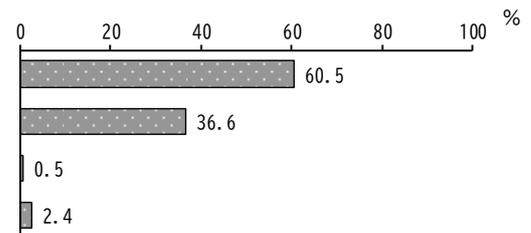


問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が60.5%と最も高く、次いで「女性」の割合が36.6%となっています。

回答者数 = 547

男性
女性
回答しない
無回答

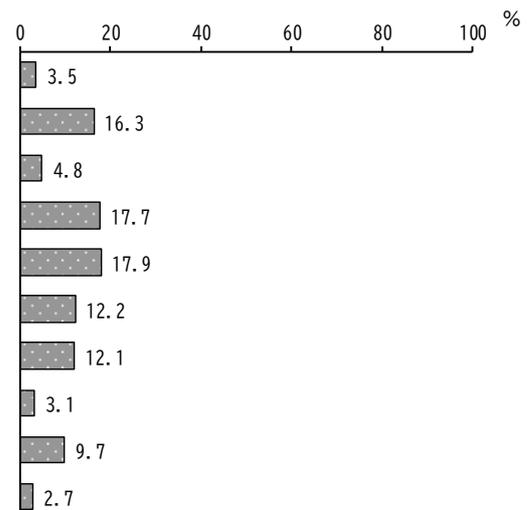


問3 あなたの年齢は令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「30～39歳」の割合が17.9%と最も高く、次いで「18～29歳」の割合が17.7%、「6～14歳」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 547

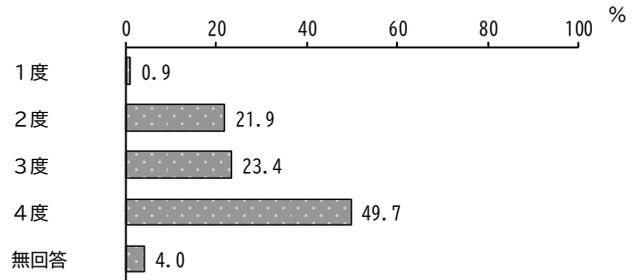
0～5歳
6～14歳
15～17歳
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
無回答



問4 あなたの「愛の手帳」に記載されている障害の程度は、何度ですか。(○は1つ)

「4度」の割合が49.7%と最も高く、次いで「3度」の割合が23.4%、「2度」の割合が21.9%となっています。

回答者数 = 547

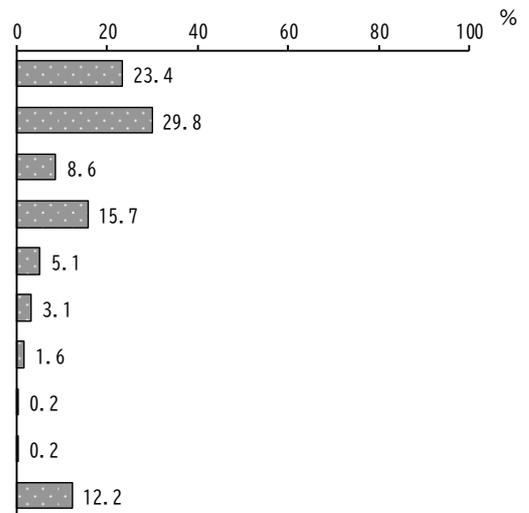


問5 「愛の手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

「6～14歳」の割合が29.8%と最も高く、次いで「0～5歳」の割合が23.4%、「18～29歳」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 547

0～5歳
6～14歳
15～17歳
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
無回答

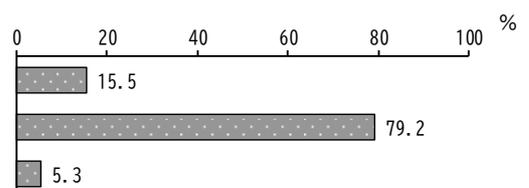


問6 あなたは「身体障害者手帳」を持っていますか。(○は1つ)「持っている」に○をつけた方は、問7へお進みください。「持っていない」に○をつけた方は、問10へお進みください。

「持っている」の割合が15.5%、「持っていない」の割合が79.2%となっています。

回答者数 = 547

持っている
持っていない
無回答

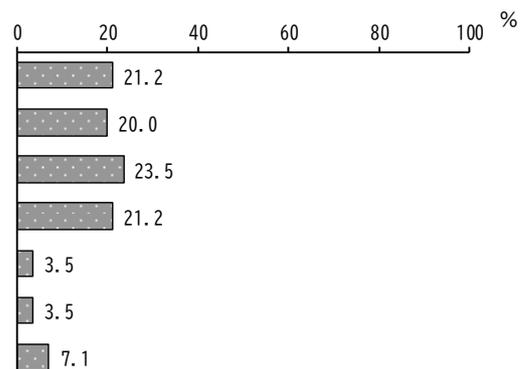


問7 (問6で「持っている」に○をつけた方は次の設問の該当するものに○をつけてください。) あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障がいの程度は総合等級の何級ですか。(○は1つ)

「3級」の割合が23.5%と最も高く、次いで「1級」、「4級」の割合が21.2%となっています。

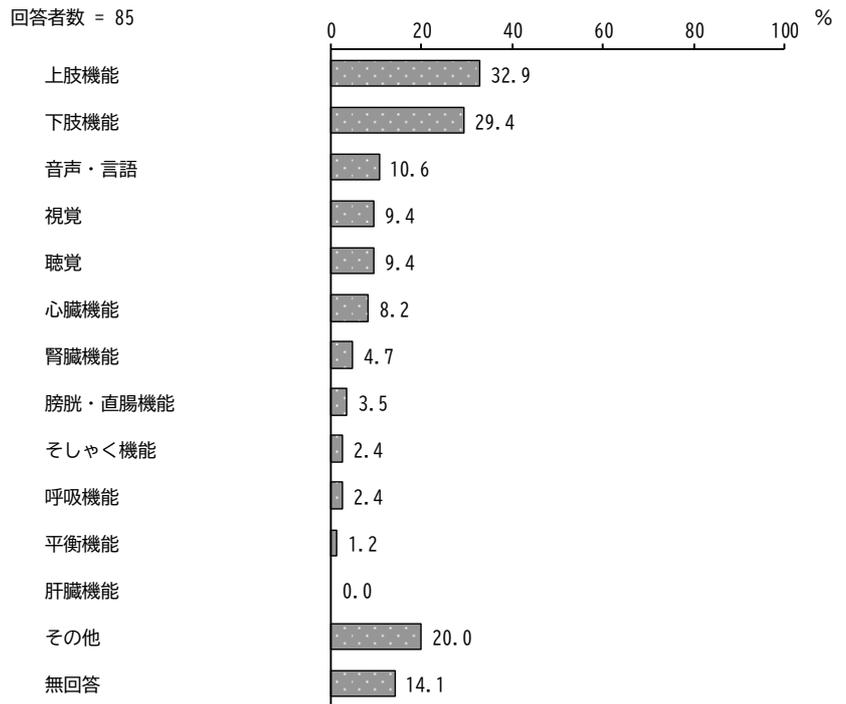
回答者数 = 85

1級
2級
3級
4級
5級
6級
無回答



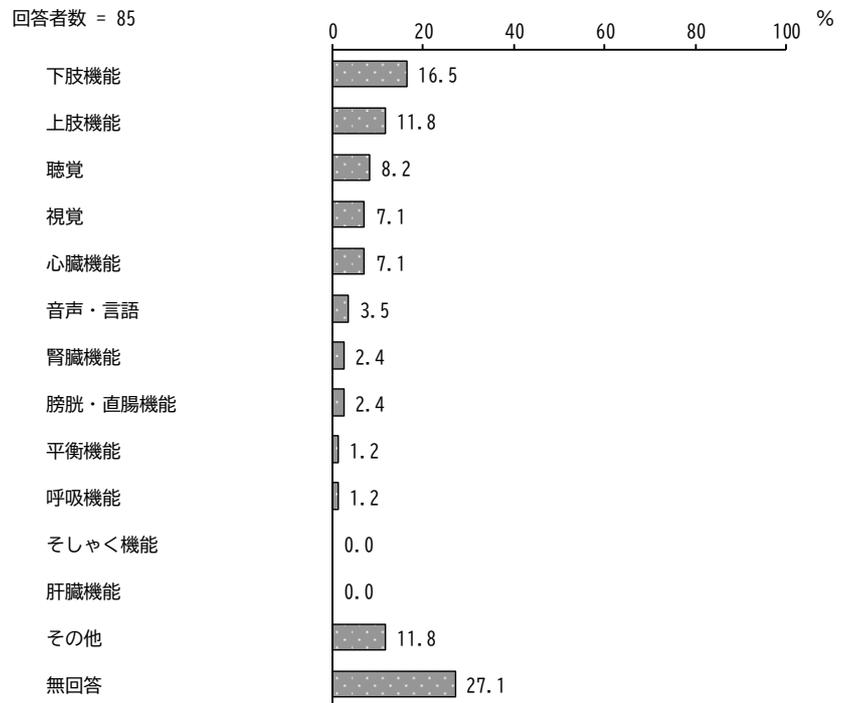
問8 あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「上肢機能」の割合が32.9%と最も高く、次いで「下肢機能」の割合が29.4%、「音声・言語」の割合が10.6%となっています。



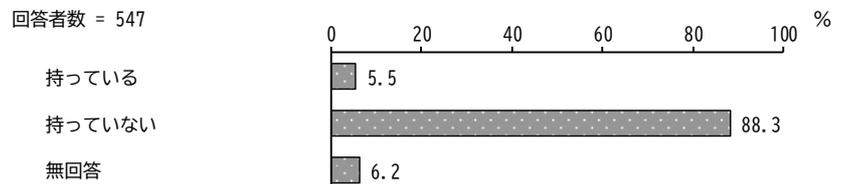
問9 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。(あてはまる番号を問8から1つご記入ください。)

「下肢機能」の割合が16.5%と最も高く、次いで「上肢機能」の割合が11.8%となっています。



問10 あなたは、「精神障害者保健福祉手帳」を持っていますか。(○は1つ)

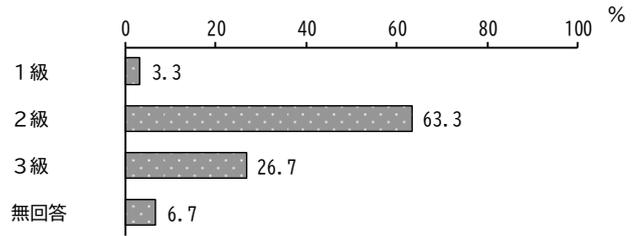
「持っている」の割合が5.5%、「持っていない」の割合が88.3%となっています。



問11 (問10で「持っている」に○をつけた方のみお答えください。) 障がいの程度は、何級ですか。(○は1つ)

「2級」の割合が63.3%と最も高く、次いで「3級」の割合が26.7%となっています。

回答者数 = 30

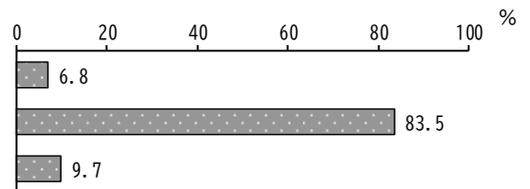


問12 あなたは、難病と診断されていますか。(○は1つ)

「診断されている」の割合が6.8%、「診断されていない」の割合が83.5%となっています。

回答者数 = 547

診断されている
診断されていない
無回答

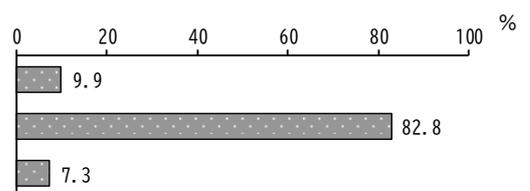


問13 介護保険サービス(訪問介護や通所介護等)を利用していますか。(○は1つ)

「利用している」の割合が9.9%、「利用していない」の割合が82.8%となっています。

回答者数 = 547

利用している
利用していない
無回答

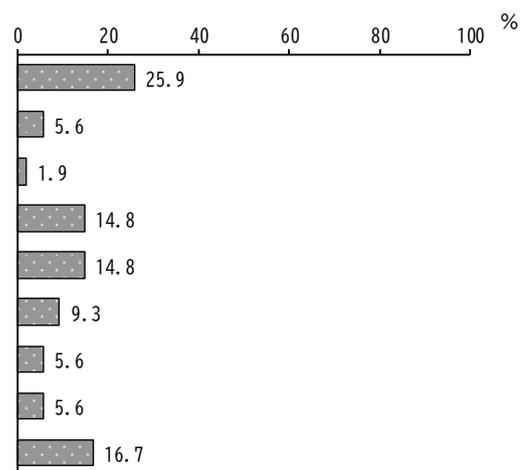


問14 (問13で「利用している」に○をつけた方のみお答えください。) 該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

「非該当」の割合が25.9%と最も高く、次いで「要介護1」、「要介護2」の割合が14.8%となっています。

回答者数 = 54

非該当
要支援1
要支援2
要介護1
要介護2
要介護3
要介護4
要介護5
無回答

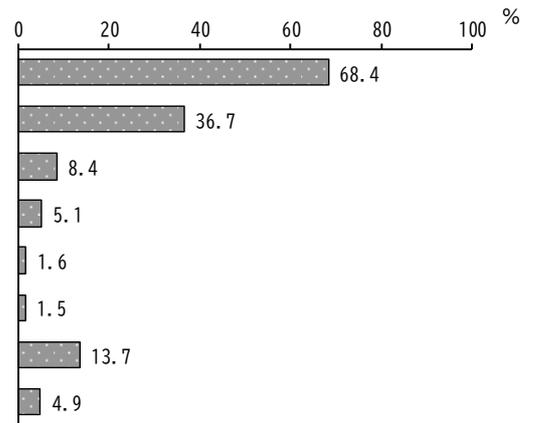


問 15 あなたは、現在、誰と一緒に生活していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「親（父・母）」の割合が68.4%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の割合が36.7%となっています。

回答者数 = 547

- 親（父・母）
- 兄弟姉妹
- 一人暮らし
- 祖父・祖母
- 配偶者
- 子（配偶者の子を含む）
- その他
- 無回答

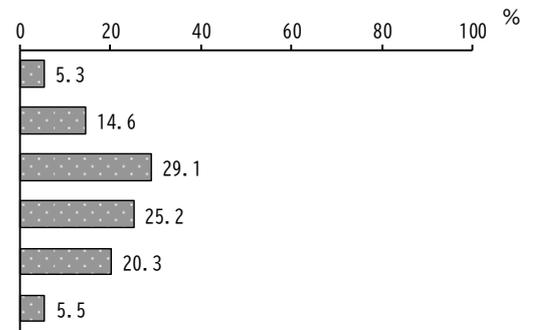


問 16 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。(○は1つ)

「3人」の割合が29.1%と最も高く、次いで「4人」の割合が25.2%、「5人以上」の割合が20.3%となっています。

回答者数 = 547

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上
- 無回答



問 17 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけて下さい。(1～17について各々○は1つ)

『4 簡単な調理をすること』『12 お金の管理をすること』『15 病院に行くこと』で「全部に手助けが必要」の割合が5割以上となっています。

『9 室内の掃除・整理整頓をすること』で「一部に手助けが必要」の割合が高くなっています。

〈令和4年度調査〉

単位：％

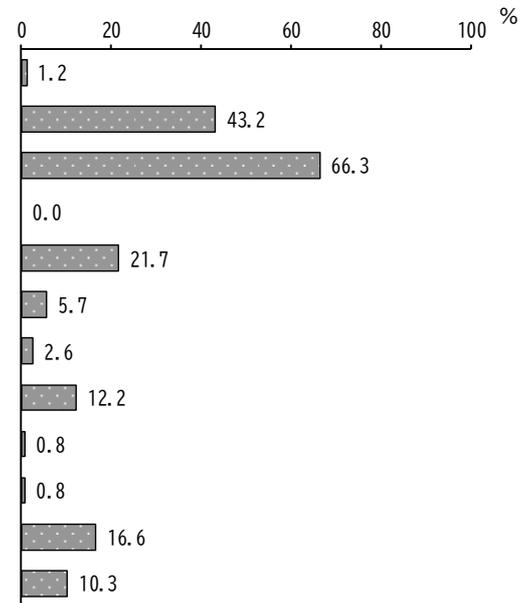
区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無回 答
1 歩くこと	547	88.5	7.3	3.1	1.1
2 食事をすること	547	79.5	16.8	2.0	1.6
3 食事の支度や後片付けをすること	547	37.3	28.2	32.5	2.0
4 簡単な調理をすること	547	26.9	18.6	52.1	2.4
5 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	547	73.3	19.6	5.9	1.3
6 トイレで用を足し、後始末をすること	547	68.7	21.9	8.4	0.9
7 入浴し、身体や髪を洗うこと	547	58.5	24.9	15.7	0.9
8 歯磨き・洗顔等をすること	547	64.5	21.2	12.8	1.5
9 室内の掃除・整理整頓をすること	547	29.8	35.8	32.7	1.6
10 洗濯をすること	547	31.6	20.5	46.3	1.6
11 布団を干すこと	547	27.8	23.0	46.4	2.7
12 お金の管理をすること	547	15.2	25.8	57.4	1.6
13 電話を受けたり、かけたりすること	547	35.8	22.5	40.2	1.5
14 定期的に服薬すること	547	35.5	25.8	35.1	3.7
15 病院に行くこと	547	23.9	21.9	51.6	2.6
16 近所に買い物に行くこと	547	39.7	19.0	39.7	1.6
17 バス・都電・電車を利用すること	547	40.8	22.1	34.9	2.2

問 18 (問 17 で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○につけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「母」の割合が 66.3%と最も高く、次いで「父」の割合が 43.2%、「兄弟姉妹」の割合が 21.7%となっています。

回答者数 = 493

- 配偶者
- 父
- 母
- 子(配偶者を含む)
- 兄弟姉妹
- 祖父・祖母
- 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族
- ホームヘルパー
- 友人
- ボランティア
- その他
- 無回答

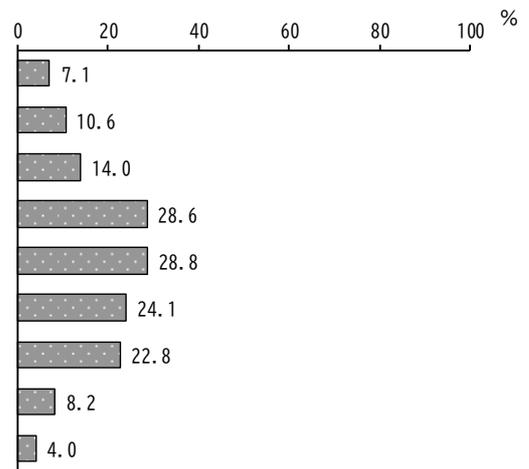


問 19 (問 18 で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。(問 18 で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「50～59 歳」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「40～49 歳」の割合が 28.6%、「60～69 歳」の割合が 24.1%となっています。

回答者数 = 378

- 18歳未満
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70～79歳
- 80歳以上
- 無回答



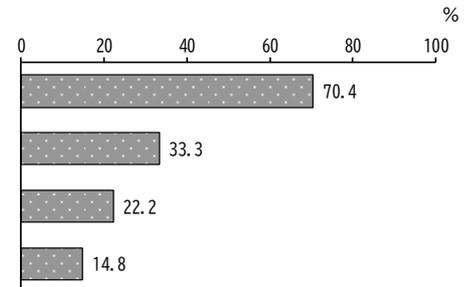
問 20 (問 19 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている 18 歳未満の人 (※) は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「身の回りの支援 (移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等) をしている」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「家の中の家事 (食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等) をしている」の割合が 33.3%、「金銭管理 (請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等) をしている」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 27

身の回りの支援 (移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等) をしている
 家の中の家事 (食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等) をしている
 金銭管理 (請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等) をしている
 無回答

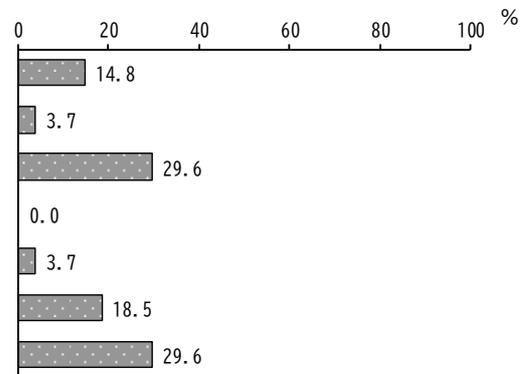


問 21 (問 19 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「週に 2～3 日」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「毎日」の割合が 14.8%となっています。

回答者数 = 27

毎日
 週に 1 日
 週に 2～3 日
 週に 4～5 日
 1 か月に数日
 その他
 無回答

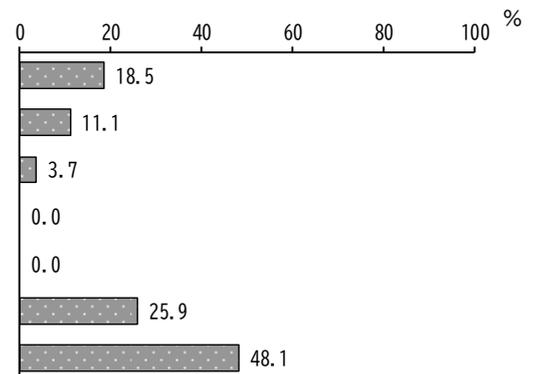


問 22 (問 19 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため」の割合が 18.5%と最も高く、次いで「親がきょうだいの面倒をみているため」の割合が 11.1%となっています。

回答者数 = 27

(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため
 親がきょうだいの面倒をみているため
 ひとり親家庭のため
 (18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため
 親に障がいがあるため
 その他
 無回答

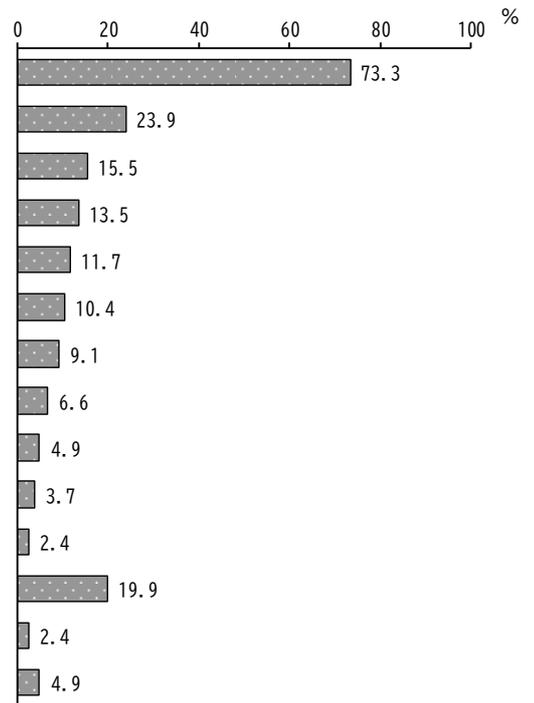


問 23 あなたが日常のことや困ったことを相談している人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が73.3%と最も高く、次いで「通所先の障害福祉サービス等事業者の職員」の割合が23.9%、「計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員」の割合が15.5%となっています。

回答者数 = 547

家族・親戚	73.3
通所先の障害福祉サービス等事業者の職員	23.9
計画相談・障害児相談支援事業所の相談支援専門員	15.5
友人・知人	13.5
障害者福祉課・たんぼぼセンター等の区の職員	11.7
勤務先の人	10.4
ホームヘルパー・保健師・訪問看護師	9.1
障害者相談員・民生委員・児童委員	6.6
荒川区障害者基幹相談支援センターの職員	4.9
ケアマネージャー	3.7
近所の人	2.4
その他	19.9
誰もいない	2.4
無回答	4.9

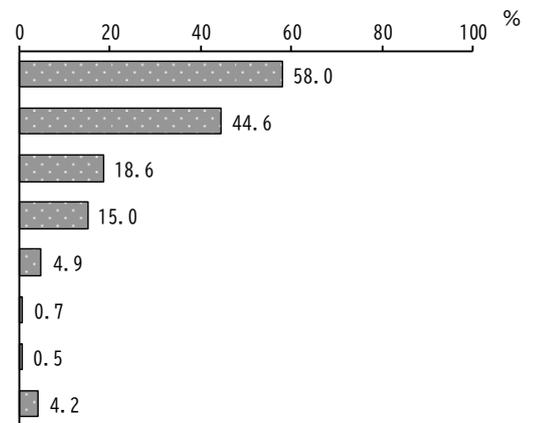


問 24 あなたは、病気等で病院に通っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「定期的に病院に通っている」の割合が58.0%と最も高く、次いで「毎日薬を飲んでいる」の割合が44.6%、「ほとんど病院には行かない」の割合が18.6%となっています。

回答者数 = 547

定期的に病院に通っている	58.0
毎日薬を飲んでいる	44.6
ほとんど病院には行かない	18.6
時々(不定期に)病院を受診している	15.0
訪問診療を受けている	4.9
病院に入院している	0.7
その他	0.5
無回答	4.2

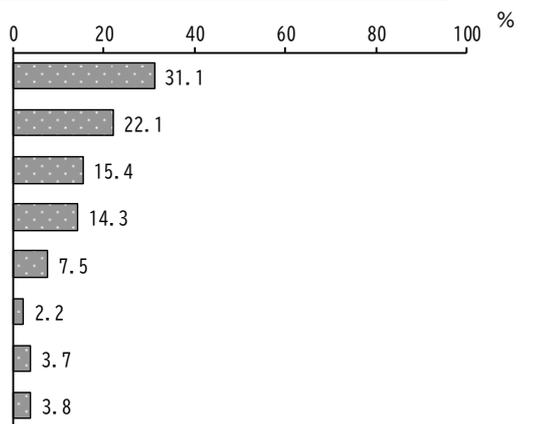


問 25 あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。(○は1つ)

「一戸建ての持ち家」の割合が31.1%と最も高く、次いで「分譲マンション」の割合が22.1%、「グループホーム」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 547

一戸建ての持ち家	31.1
分譲マンション	22.1
グループホーム	15.4
賃貸マンション・アパート	14.3
公営住宅	7.5
一戸建ての借家	2.2
その他	3.7
無回答	3.8

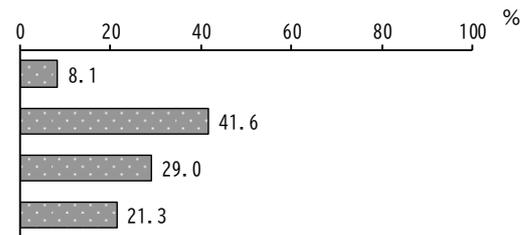


問 26 (問 25 で「グループホーム」以外に○をつけた方のみお答えください。) あなたは家族と離れて、グループホームに住んでみたいと思いますか。(○は1つ)

「思わない」の割合が 41.6% と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 29.0% となっています。

回答者数 = 442

思う
思わない
どちらともいえない
無回答

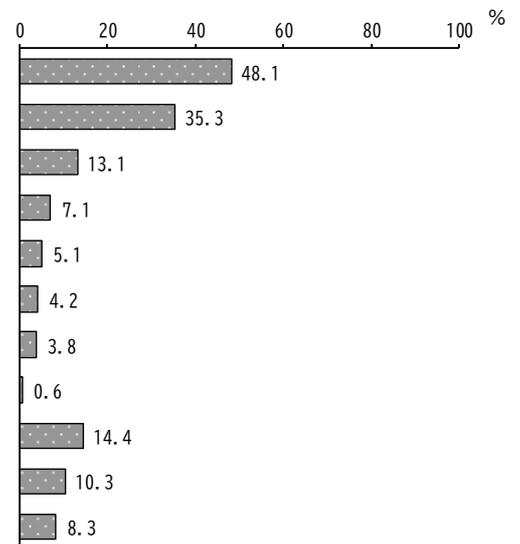


問 27 (問 26 で「思わない」か「どちらともいえない」に○をつけた方のみお答えください。) グループホームに住んでみたいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「自宅で生活がしたいため」の割合が 48.1% と最も高く、次いで「グループホームでの生活に不安があるため」の割合が 35.3%、「グループホームでの生活に興味がないため」の割合が 13.1% となっています。

回答者数 = 312

自宅で生活がしたいため
グループホームでの生活に不安があるため
グループホームでの生活に興味がないため
グループホームの受入れ先がないため
グループホーム入居後に援助してくれる者がいないため
周囲の理解や家族の理解が得られないため
アパート等を借りて、1人で生活したいため
日中に活動できる事業所の受入れ先がないため
その他
特に理由はない
無回答

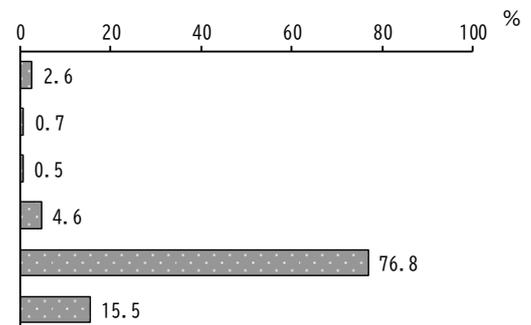


問 28 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がい理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「そのような経験はない」の割合が 76.8% と最も高くなっています。

回答者数 = 547

断られた経験がある
最終的には借りられたが難航した
退去を求められたことがある
その他
そのような経験はない
無回答

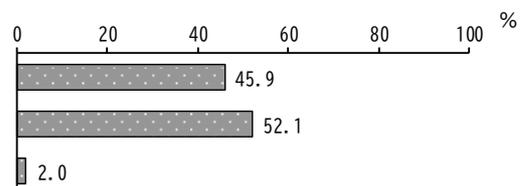


問 29 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

「働いている」の割合が 45.9%、「働いていない」の割合が 52.1% となっています。

回答者数 = 547

働いている
働いていない
無回答

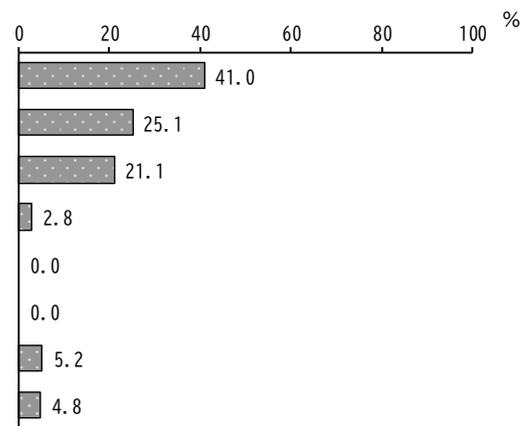


問30 (問29で「働いている」に○をつけた方のみお答えください。) それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

「就労継続支援B型」の割合が41.0%と最も高く、次いで「会社員・団体職員(フルタイム)」の割合が25.1%、「パートタイマー・アルバイト」の割合が21.1%となっています。

回答者数 = 251

就労継続支援B型	41.0
会社員・団体職員(フルタイム)	25.1
パートタイマー・アルバイト	21.1
就労継続支援A型	2.8
内職業	0.0
自営業	0.0
その他	5.2
無回答	4.8

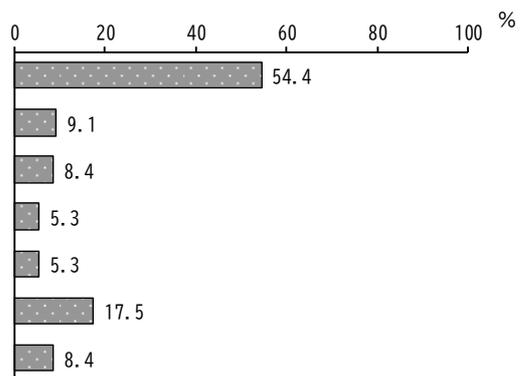


問31 (問29で「働いていない」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「仕事をする年齢ではない」の割合が54.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 285

仕事をする年齢ではない	54.4
生活訓練・職業訓練中である	9.1
自分に適した職業・職場がない	8.4
働きたいが仕事がない	5.3
仕事を探している	5.3
その他	17.5
無回答	8.4

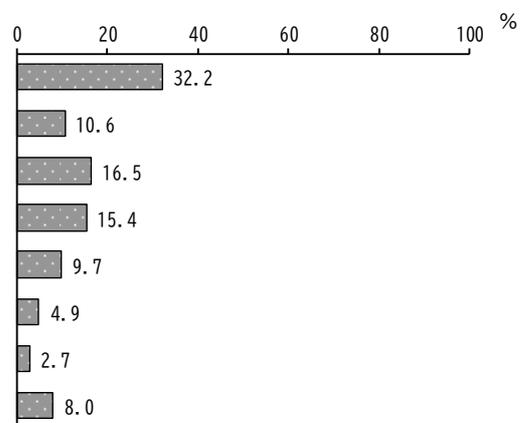


問32 あなたの令和3年中の年収(賃金・年金・手当等のすべての合計)は、税込みでいくらでしたか。(○は1つ)

「収入なし」の割合が32.2%と最も高く、次いで「50万円～100万円未満」の割合が16.5%、「100万円～150万円未満」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 547

収入なし	32.2
50万円未満	10.6
50万円～100万円未満	16.5
100万円～150万円未満	15.4
150万円～200万円未満	9.7
200万円～250万円未満	4.9
250万円以上	2.7
無回答	8.0

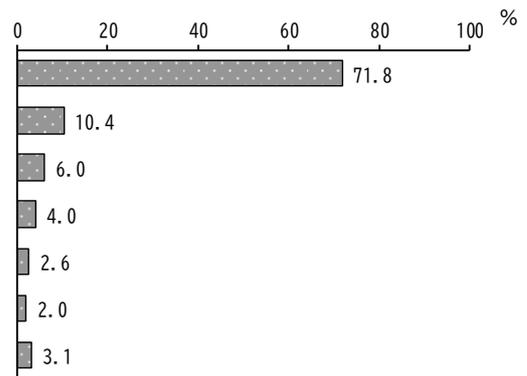


問 33 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出) (○は1つ)

「ほぼ毎日」の割合が 71.8%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が 10.4%となっています。

回答者数 = 547

- ほぼ毎日
- 週に2～3回
- 週に1回くらい
- 月に1～2回くらい
- 年に数回くらい
- まったく外出しない
- 無回答

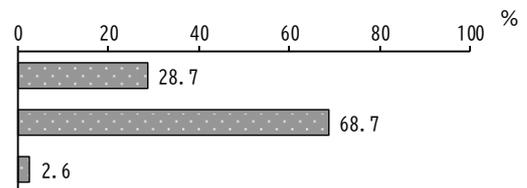


問 34 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。(○は1つ)

「できる」の割合が 28.7%、「できない」の割合が 68.7%となっています。

回答者数 = 547

- できる
- できない
- 無回答

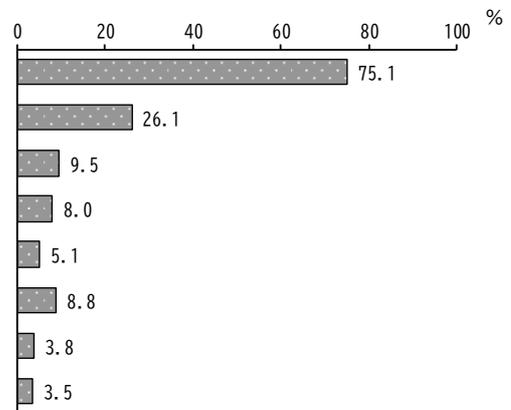


問 35 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「福祉サービス事業所等の関係者」の割合が 26.1%となっています。

回答者数 = 547

- 家族
- 福祉サービス事業所等の関係者
- 親戚
- 近所の人
- 友人・知人
- その他
- 特にいない
- 無回答



問 36 知的障がい者に関するサービス、施設等の利用状況について、お伺いします。項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～40について各々○は1つ)

『4 計画相談支援(サービス等利用計画の作成)』で「現在利用している」の割合が、『26 たんぽぽセンター(心身障害者福祉センター)』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない	無回答
1 ホームヘルプサービス	547	4.2	4.6	27.6	48.4	15.2
2 ガイドヘルパーの派遣	547	11.5	7.1	21.8	46.1	13.5
3 ショートステイ(短期入所)	547	5.3	12.4	37.1	32.9	12.2
4 計画相談支援(サービス等利用計画の作成)	547	39.1	5.7	14.4	29.4	11.3
5 地域移行支援(入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援)	547	1.8	1.6	17.6	65.4	13.5
6 地域定着支援(地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	547	1.3	0.4	19.0	65.1	14.3
7 児童発達支援	547	6.8	13.9	15.5	49.2	14.6
8 医療型児童発達支援	547	0.2	2.6	13.7	67.5	16.1
9 放課後等デイサービス	547	16.3	8.0	22.1	39.5	14.1
10 保育所等訪問支援	547	0.7	2.9	15.4	64.9	16.1
11 居宅訪問型児童発達支援	547	-	0.9	13.7	68.0	17.4
12 障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	547	11.0	6.2	16.8	49.5	16.5
13 デイサービス	547	4.0	4.9	41.7	34.7	14.6
14 緊急一時保護	547	0.4	3.7	33.5	47.7	14.8
15 日中一時支援サービス	547	4.6	4.0	24.7	51.4	15.4
16 施設入浴	547	2.7	3.8	28.7	50.6	14.1
17 日常生活用具の給付	547	0.7	1.1	22.9	60.5	14.8
18 補装具の交付、修理	547	3.1	2.9	21.0	58.9	14.1
19 紙おむつ等の給付	547	7.7	1.6	23.9	52.8	13.9
20 避難行動要支援者登録事業(避難行動要支援者個別支援計画等)	547	5.1	1.8	28.0	50.1	15.0

(次のページへ)

単位：%

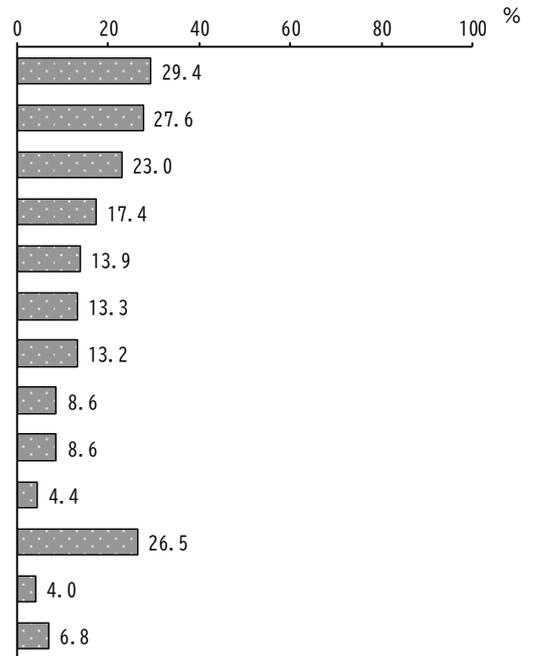
区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っている	知らない	無回答
21 就学相談・教育相談	547	4.0	23.6	21.8	36.2	14.4
22 成年後見人制度	547	2.6	0.4	42.2	41.9	13.0
23 地域福祉権利擁護事業（あんしんサポート）	547	2.0	2.7	21.8	58.7	14.8
24 コミュニティバス乗車券の支給	547	14.3	6.6	23.0	42.0	14.1
25 アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	547	10.6	19.6	33.8	24.5	11.5
26 たんぽぽセンター（心身障害者福祉センター）	547	4.2	31.4	28.5	24.5	11.3
27 地域活動支援センター（スクラムあらかわ）	547	7.7	9.0	27.4	43.3	12.6
28 精神障害者地域生活支援センター・アゼリア	547	0.4	3.1	21.0	61.4	14.1
29 荒川区精神障がい者相談支援事業所・コンパス	547	0.2	0.5	11.9	73.7	13.7
30 荒川区障害者基幹相談支援センター	547	1.1	0.7	13.5	69.1	15.5
31 グループホーム	547	13.2	1.5	43.0	30.9	11.5
32 荒川区保健所	547	4.0	26.7	42.2	14.1	13.0
33 就労移行支援・就労継続支援（福祉作業所）	547	14.4	6.6	38.2	28.0	12.8
34 生活介護施設（生活実習所等）	547	8.6	1.3	34.6	41.7	13.9
35 東京都心身障害者福祉センター	547	1.6	11.0	34.6	39.3	13.5
36 東京都障害者総合スポーツセンター	547	1.8	15.2	28.7	40.8	13.5
37 ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	547	1.1	11.3	36.0	38.6	13.0
38 じょぶあらかわ（就労支援センター）	547	7.7	8.6	28.3	42.4	13.0
39 東京都障害者休養ホーム	547	0.5	2.0	10.2	73.9	13.3
40 荒川区子ども家庭総合センター	547	2.0	8.4	19.6	56.7	13.3

問 37 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「スポーツ・運動」の割合が29.4%と最も高く、次いで「旅行」の割合が27.6%、「特になし」の割合が26.5%となっています。

回答者数 = 547

- スポーツ・運動
- 旅行
- 映画やコンサート等の鑑賞
- 障がい者団体等の活動
- 習い事や学習活動
- 絵画や音楽等の芸術活動
- 料理
- 区が主催するイベント等
- その他のイベント等
- その他
- 特になし
- 活動をしたいと思わない
- 無回答

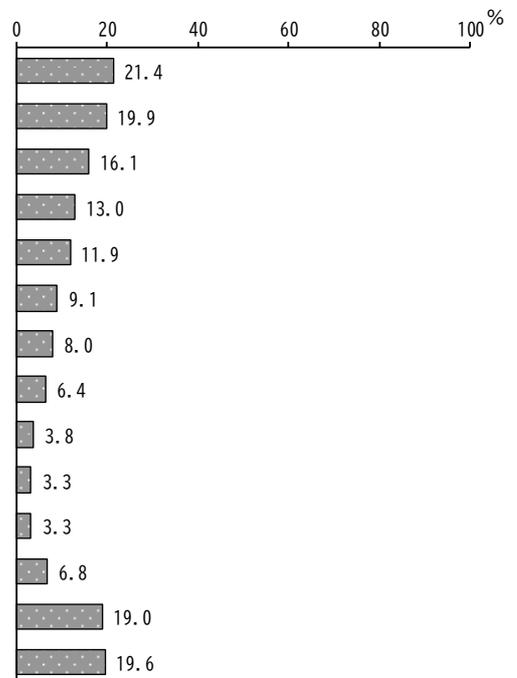


問 38 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「興味を感じる活動が少ない」の割合が21.4%と最も高く、次いで「参加できるような活動が少ない」の割合が19.9%、「活動しにくいと感じない」の割合が19.0%となっています。

回答者数 = 547

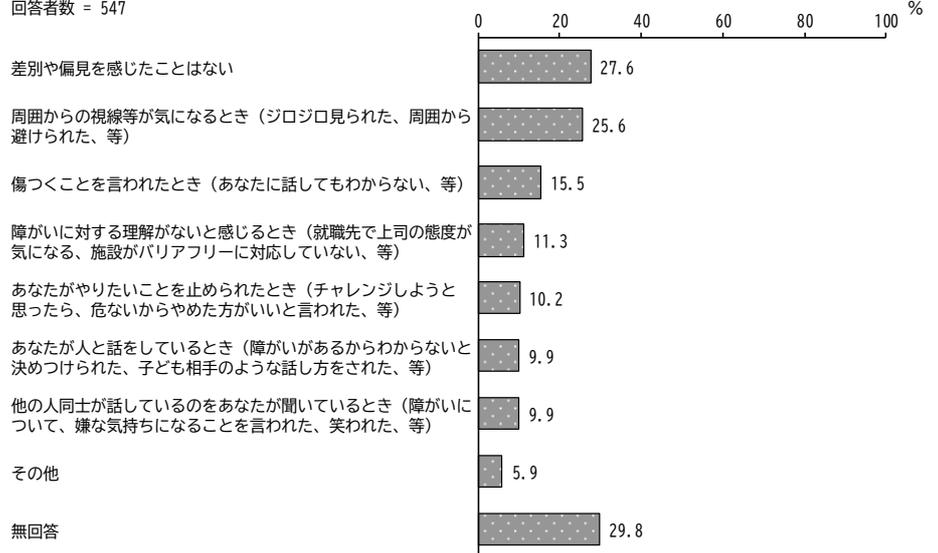
- 興味を感じる活動が少ない
- 参加できるような活動が少ない
- お知らせや案内等を知らない
- 付き合ってくれる人が少ない
- 電車やバスなどの利用が不便
- 障がい等に対する理解や配慮がない
- 障がい等が重く、活動が困難
- 参加しやすい時間に行われたい
- 建物や施設の設備の利用が不便
- 移動する方法がない
- 経済的理由により、活動が困難
- その他
- 活動しにくいと感じない
- 無回答



問 39 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。)(○はいくつでも) また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が27.6%と最も高く、次いで「周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)」の割合が25.6%、「傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)」の割合が15.5%となっています。

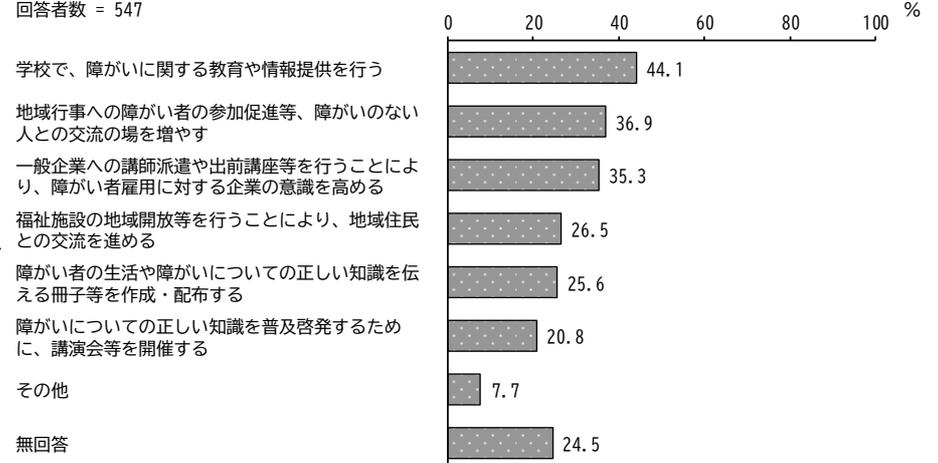
回答者数 = 547



問 40 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が44.1%と最も高く、次いで「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が36.9%、「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が35.3%、「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」の割合が25.6%、「障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する」の割合が20.8%となっています。

回答者数 = 547



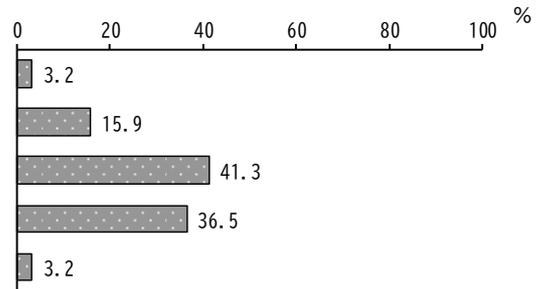
3 知的障がい者（施設入所者）調査の結果

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。（○は1つ）

「家族以外の介助者」の割合が41.3%と最も高く、次いで「家族」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 63

本人
家族
家族以外の介助者
その他
無回答

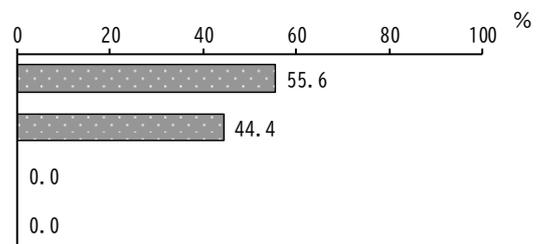


問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

「男性」の割合が55.6%と最も高く、次いで「女性」の割合が44.4%となっています。

回答者数 = 63

男性
女性
回答しない
無回答

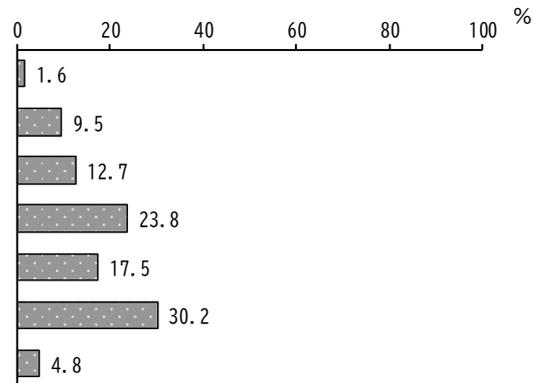


問3 あなたの年齢は令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「65歳以上」の割合が30.2%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が23.8%、「60～64歳」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 63

18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
無回答

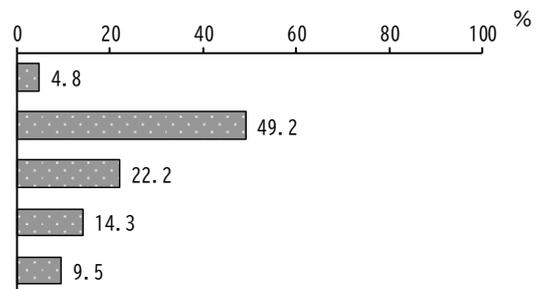


問4 あなたの「愛の手帳」に記載されている障がいの程度は、何度ですか。（○は1つ）

「2度」の割合が49.2%と最も高く、次いで「3度」の割合が22.2%、「4度」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 63

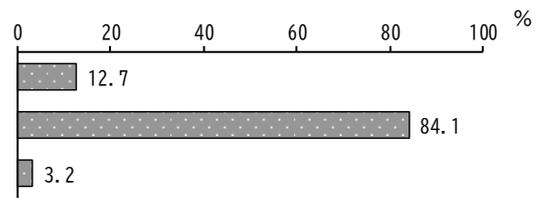
1度
2度
3度
4度
無回答



問5 あなたは「身体障害者手帳」を持っていますか。（○は1つ）

「持っている」の割合が12.7%、「持っていない」の割合が84.1%となっています。

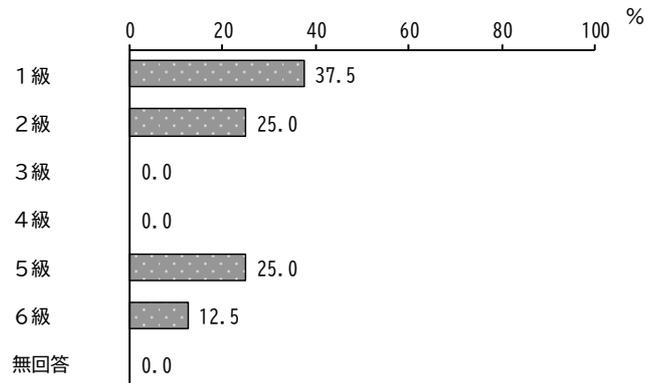
回答者数 = 63
 持っている
 持っていない
 無回答



問6 （問5で「1 持っている」に○をつけた方は次の設問の該当するものに○をつけてください。）あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障がいの程度は総合等級の何級ですか。（○は1つ）

「1級」が3件となっています。「2級」、「5級」が2件となっています。

回答者数 = 8

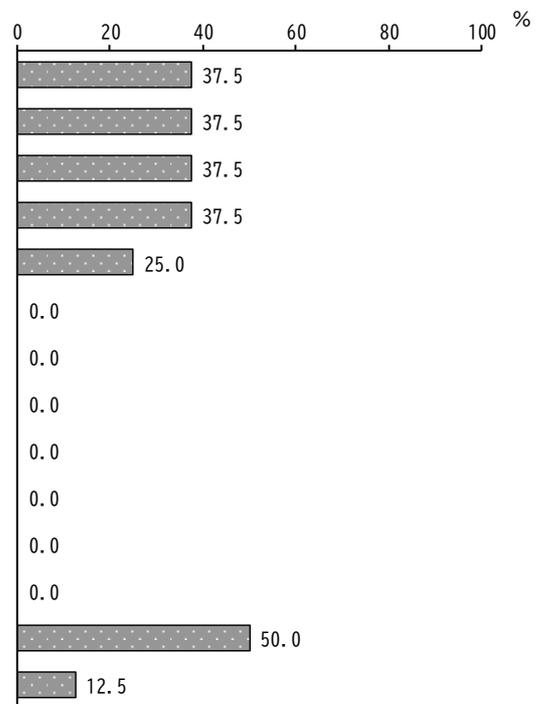


問7 あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「視覚」、「音声・言語」、「上肢機能」、「下肢機能」が3件となっています。

回答者数 = 8

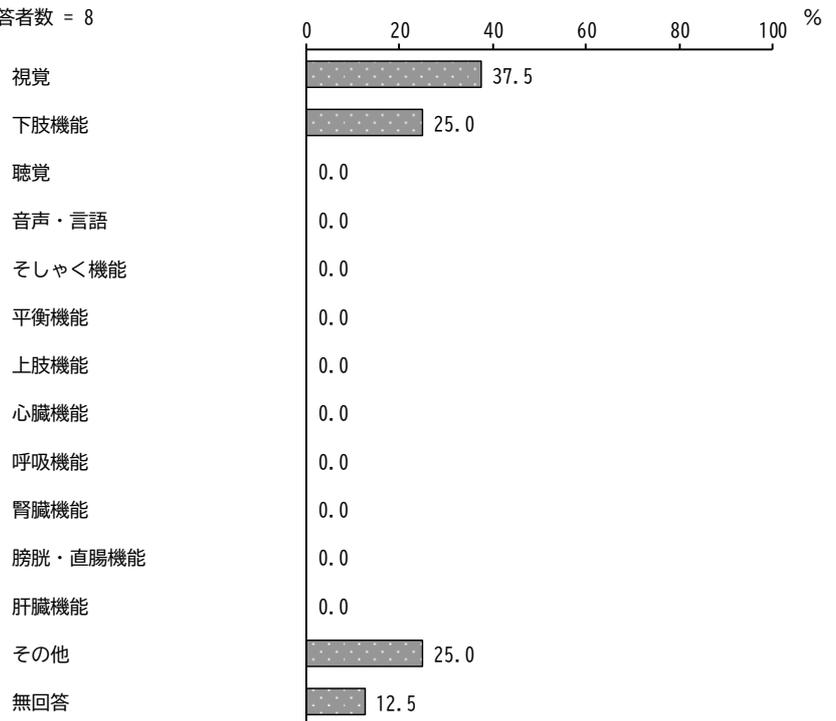
視覚
 音声・言語
 上肢機能
 下肢機能
 平衡機能
 聴覚
 そしゃく機能
 心臓機能
 呼吸機能
 腎臓機能
 膀胱・直腸機能
 肝臓機能
 その他
 無回答



問8 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なもの1つお答えください。（あてはまる番号を問7から1つご記入ください）

「視覚」が3件となっており、「下肢機能」が2件となっています。

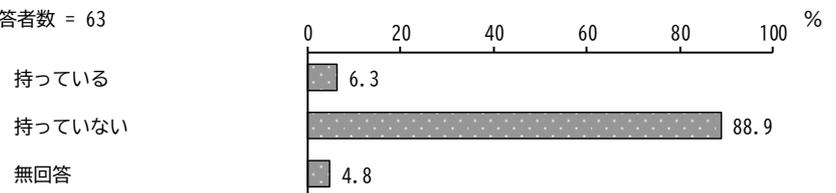
回答者数 = 8



問9 あなたは、「精神障害者保健福祉手帳」を持っていますか。（○は1つ）

「持っている」の割合が6.3%、「持っていない」の割合が88.9%となっています。

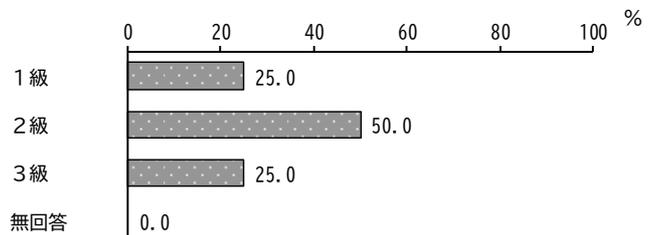
回答者数 = 63



問10 （問9で「1 持っている」に○をつけた方のみお答えください。）
障がいの程度は、何級ですか。（○は1つ）

「2級」が2件となっており、「1級」、「3級」が1件となっています。

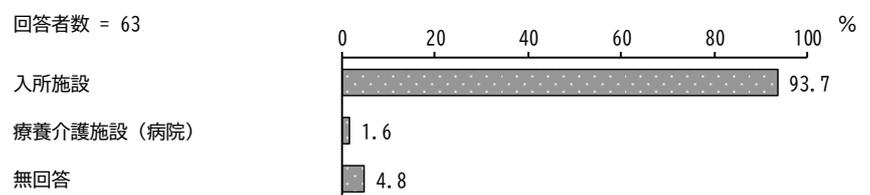
回答者数 = 4



問11 あなたが利用しているのは、どの施設ですか。（○は1つ）

「入所施設」の割合が93.7%、「療養介護施設（病院）」の割合が1.6%となっています。

回答者数 = 63

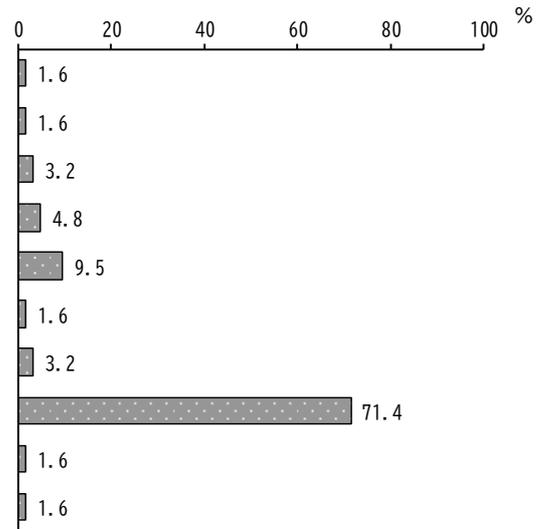


問 12 あなたがその施設を利用している年数は、どのくらいですか。（〇は1つ）

「13年以上」の割合が71.4%
と最も高くなっています。

回答者数 = 63

- 1年未満
- 1年以上3年未満
- 3年以上5年未満
- 5年以上7年未満
- 7年以上9年未満
- 9年以上11年未満
- 11年以上13年未満
- 13年以上
- その他
- 無回答

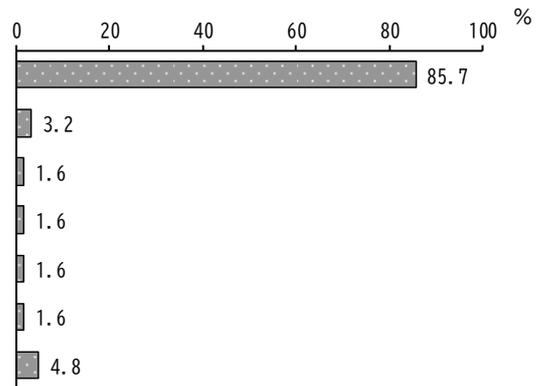


問 13 あなたが日中帯に利用しているのは、どのサービスですか。（〇は1つ）

「生活介護」の割合が85.7%
と最も高くなっています。

回答者数 = 63

- 生活介護
- 就労移行支援
- 療養介護
- 自立訓練（機能訓練・生活訓練）
- 就労継続支援B型
- その他
- 無回答

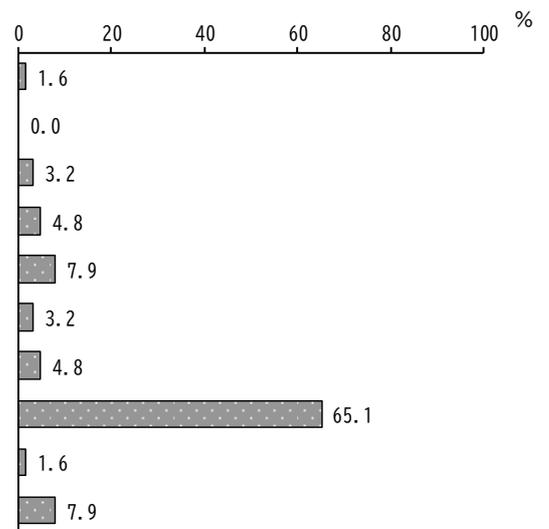


問 14 あなたが、その日中帯のサービスを利用している年数は、どのくらいですか。（〇は1つ）

「13年以上」の割合が65.1%
と最も高くなっています。

回答者数 = 63

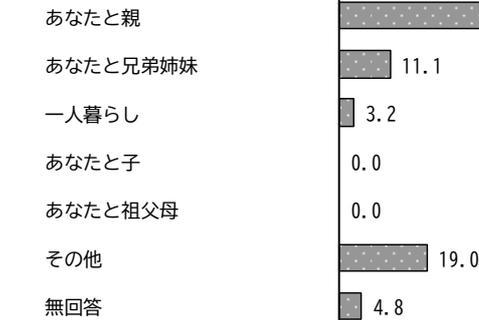
- 1年未満
- 1年以上3年未満
- 3年以上5年未満
- 5年以上7年未満
- 7年以上9年未満
- 9年以上11年未満
- 11年以上13年未満
- 13年以上
- その他
- 無回答



問 15 あなたが施設入所前に一緒に暮らしていた家族構成をお答えください。（○は1つ）

「あなたと親」の割合が61.9%と最も高く、次いで「あなたと兄弟姉妹」の割合が11.1%となっています。

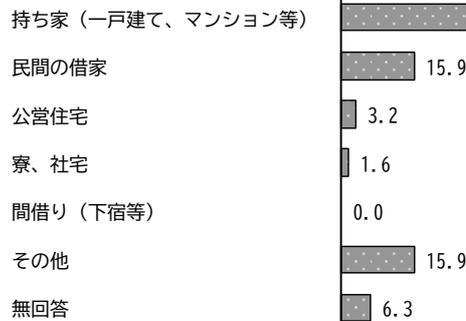
回答者数 = 63



問 16 あなたが施設入所前に暮らしていた住居形態をお答えください。（○は1つ）

「持ち家（一戸建て、マンション等）」の割合が57.1%と最も高く、次いで「民間の借家」の割合が15.9%となっています。

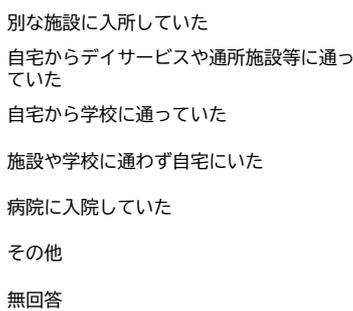
回答者数 = 63



問 17 あなたが施設入所前に過ごしていた場所をお答えください。（○は1つ）

「別な施設に入所していた」の割合が31.7%と最も高く、次いで「自宅からデイサービスや通所施設等に通っていた」の割合が25.4%、「自宅から学校に通っていた」の割合が14.3%、「自宅から学校に通っていた」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 63



問 18 あなたの施設入所を決めた方は誰ですか。（○は1つ）

「あなた」の割合が3.2%、「あなた以外の方」の割合が93.7%となっています。

回答者数 = 63

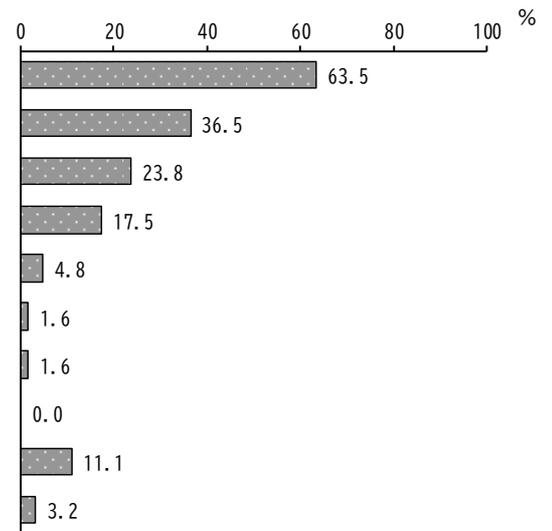


問 19 あなたが施設入所を決めた理由は何ですか。（〇はいくつでも）

「家族による介助が困難」の割合が63.5%と最も高く、次いで「家族に勧められた（または家族が決めた）」の割合が36.5%、「施設は生活が保障されている」の割合が23.8%となっています。

回答者数 = 63

家族による介助が困難
 家族に勧められた（または家族が決めた）
 施設は生活が保障されている
 将来が不安
 施設は仲間がいるので安心
 住む場所がない
 医療的ケアが必要だから
 心身機能の低下が著しく進んだため
 その他
 無回答

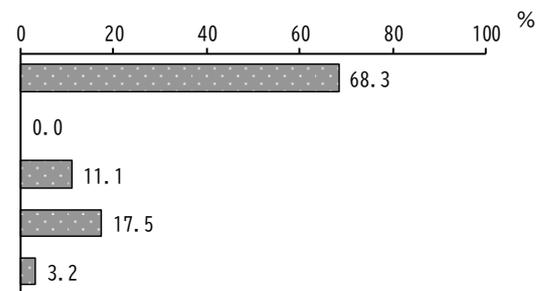


問 20 施設では安心して生活できていますか。（〇は1つ）

「はい」の割合が68.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.5%、「どちらともいえない」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 63

はい
 いいえ
 どちらともいえない
 わからない
 無回答

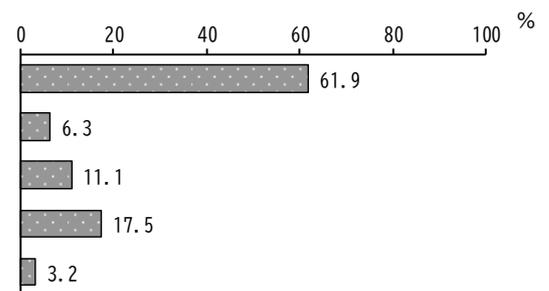


問 21 施設では、利用者のプライバシーは守られていると思いますか。（〇は1つ）

「はい」の割合が61.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.5%、「どちらともいえない」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 63

はい
 いいえ
 どちらともいえない
 わからない
 無回答

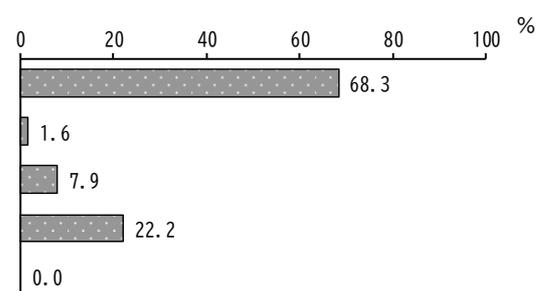


問 22 施設の職員の対応は丁寧ですか。（〇は1つ）

「はい」の割合が68.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が22.2%となっています。

回答者数 = 63

はい
 いいえ
 どちらともいえない
 わからない
 無回答

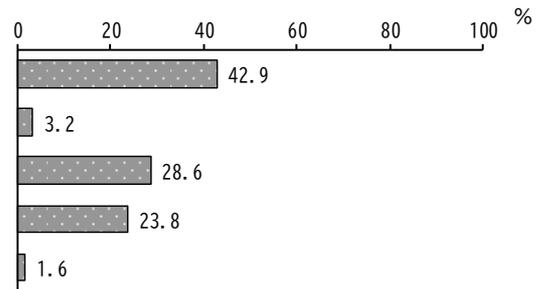


問 23 施設に対する不満や要望を施設に言いやすいですか。（○は1つ）

「はい」の割合が42.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が28.6%、「わからない」の割合が23.8%となっています。

回答者数 = 63

- はい
- いいえ
- どちらともいえない
- わからない
- 無回答

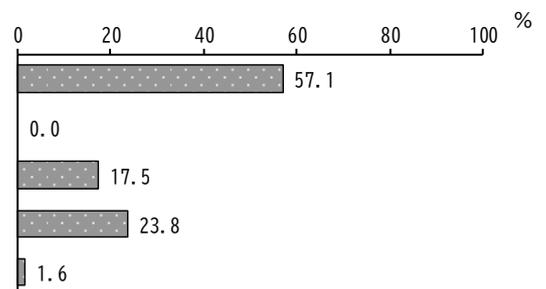


問 24 施設の職員はあなたの不満や要望に対してきちんと対応していますか。（○は1つ）

「はい」の割合が57.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.8%、「どちらともいえない」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 63

- はい
- いいえ
- どちらともいえない
- わからない
- 無回答

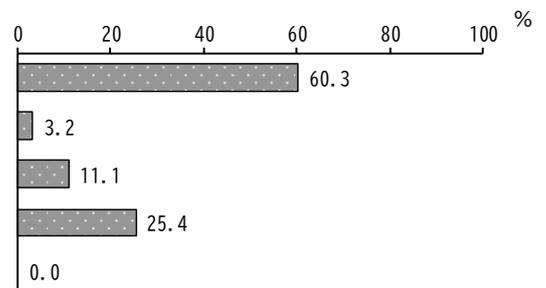


問 25 施設の設備は安心して使えますか。（○は1つ）

「はい」の割合が60.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が25.4%、「どちらともいえない」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 63

- はい
- いいえ
- どちらともいえない
- わからない
- 無回答

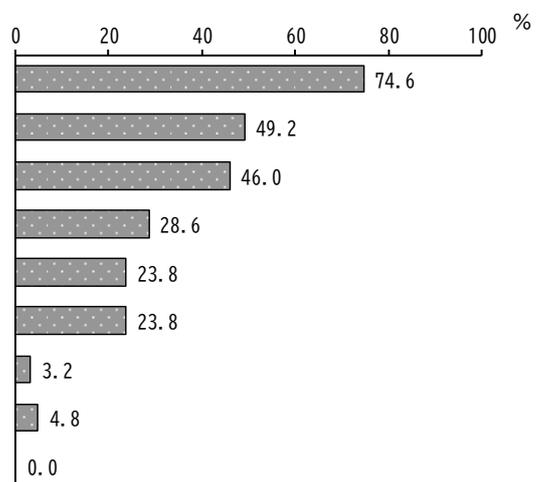


問 26 あなたは施設での生活のなかで楽しみにしていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「食事」の割合が74.6%と最も高く、次いで「入浴」の割合が49.2%、「外出時間」の割合が46.0%となっています。

回答者数 = 63

- 食事
- 入浴
- 外出時間
- 職員や仲間と話す時間
- 自由時間
- 文化・芸術・余暇活動等
- わからない
- その他
- 無回答

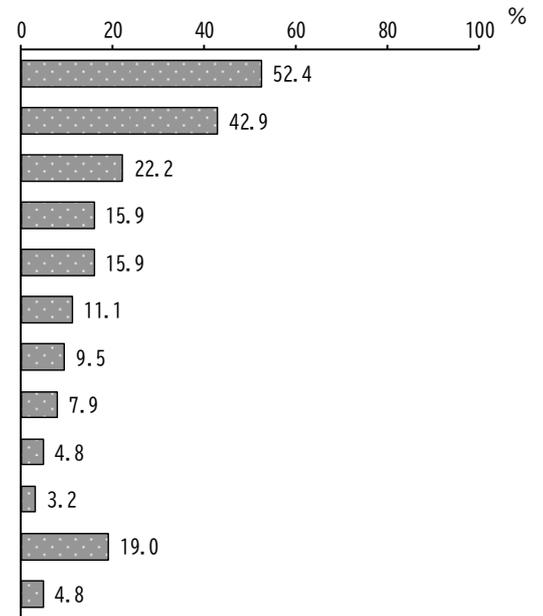


問 27 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「散歩等の外での活動」の割合が52.4%と最も高く、次いで「上記以外で施設が主催するイベント等」の割合が42.9%、「映画やコンサート等の鑑賞」の割合が22.2%となっています。

回答者数 = 63

- 散歩等の外での活動
- 上記以外で施設が主催するイベント等
- 映画やコンサート等の鑑賞
- 絵画や音楽等の芸術活動
- スポーツ・運動
- 特になし
- 料理
- 自治体が主催するイベント等
- 習い事や学習活動
- 活動をしたいと思わない
- その他
- 無回答

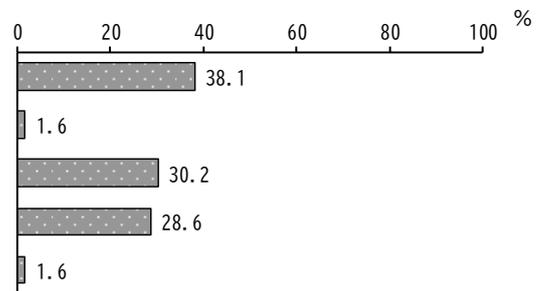


問 28 施設では、あなたの希望に沿った文化・芸術・余暇活動等は行えていますか。（○は1つ）

「はい」の割合が38.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が30.2%、「わからない」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 63

- はい
- いいえ
- どちらともいえない
- わからない
- 無回答

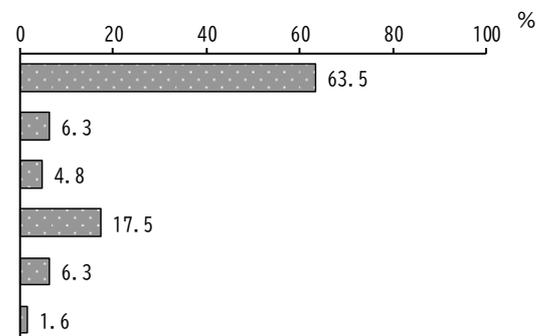


問 29 今後生活したい場所はどこですか。（○は1つ）

「現在の施設」の割合が63.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 63

- 現在の施設
- 施設を出て地域で暮らしたい
- 別の施設
- わからない
- その他
- 無回答

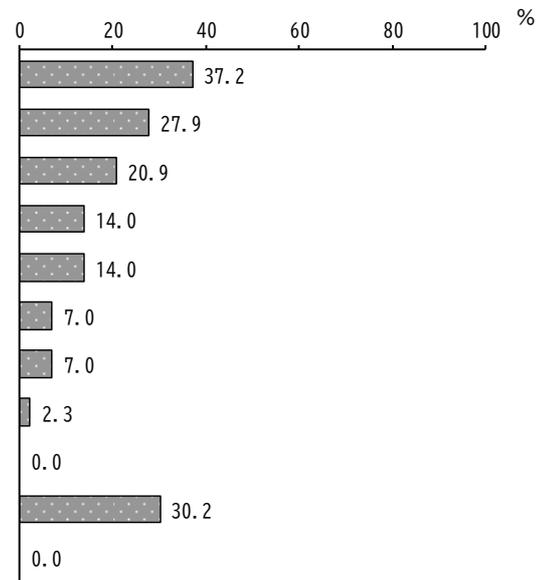


問 30 （問 29 で「1 現在の施設」か「2 別の施設」を選択した方にお聞きします。）施設での生活を希望される理由は何ですか。（○はいくつでも）

「施設を出た後で援助してくれる者がいないため」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「健康面等で不安があるため」の割合が 27.9%、「今の在宅サービス基盤では自立した生活ができないため」の割合が 20.9%となっています。

回答者数 = 43

- 施設を出た後で援助してくれる者がいないため
- 健康面等で不安があるため
- 今の在宅サービス基盤では自立した生活ができないため
- 十分な在宅サービスがないため
- 周囲の理解や家族の理解が得られないため
- 住環境が悪く、自宅等に戻っても生活ができないため
- 日中に活動できる事業所の受入れ先がないため
- 一緒に生活している者に遠慮があるため
- 居住の場であるグループホームの受入れ先がないため
- その他
- 無回答

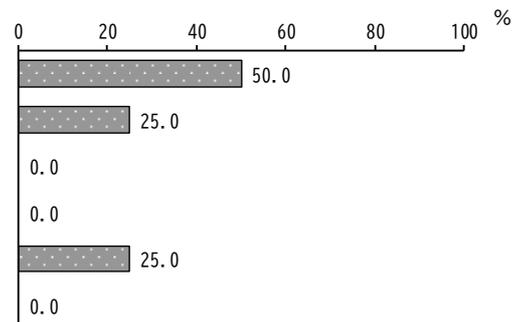


問 31 （問 29 で「3 施設を出て地域で暮らしたい」を選択された方にお聞きします。）施設を退所した後に生活したい場所はどこですか。（○は1つ）

「自宅に帰って生活したい」が 2 件となっています。「グループホーム等で少人数の共同生活をしたい」が 1 件となっています。

回答者数 = 4

- 自宅に帰って生活したい
- グループホーム等で少人数の共同生活をしたい
- アパート等を借りて、1人で生活したい
- わからない
- その他
- 無回答

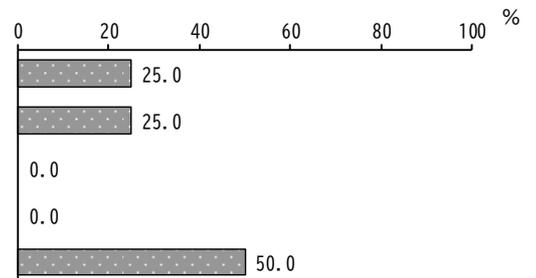


問 32 （問 29 で「3 施設を出て地域で暮らしたい」を選択された方にお聞きします。）施設退所後に希望する生活についてお答えください。（○は1つ）

「家族やヘルパーから支援を受けて生活したい」、「働いて自立した生活をしたい」が 1 件となっています。

回答者数 = 4

- 家族やヘルパーから支援を受けて生活したい
- 働いて自立した生活をしたい
- 通所施設等に通いながら生活したい
- その他
- 無回答

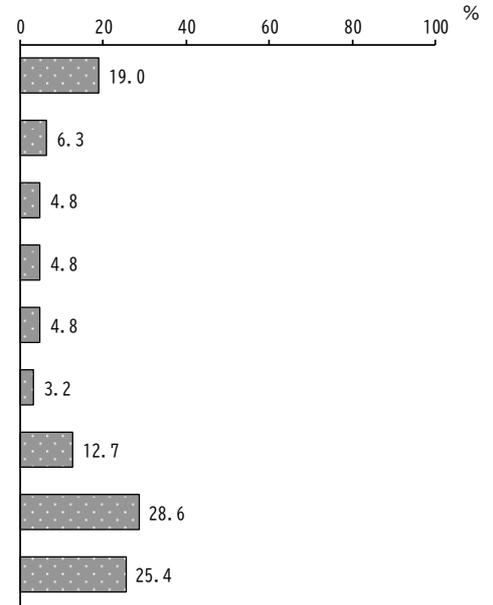


問 33 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。）
（〇はいくつでも）

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」の割合が 19.0%となっています。

回答者数 = 63

- 周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等） 19.0
- あなたが人と話しているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等） 6.3
- あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等） 4.8
- 障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等） 4.8
- 傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等） 4.8
- 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等） 3.2
- その他 12.7
- 差別や偏見を感じたことはない 28.6
- 無回答 25.4

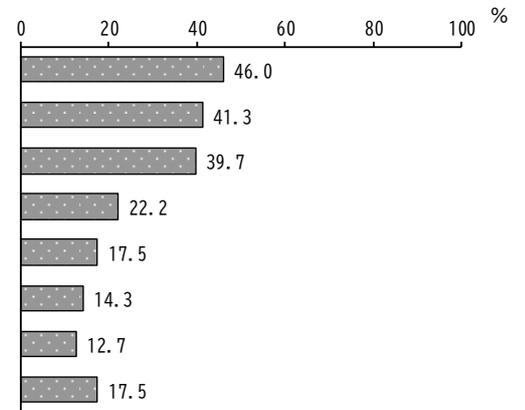


問 34 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が 41.3%、「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 39.7%となっています。

回答者数 = 63

- 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める 46.0
- 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす 41.3
- 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う 39.7
- 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する 22.2
- 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する 17.5
- 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める 14.3
- その他 12.7
- 無回答 17.5



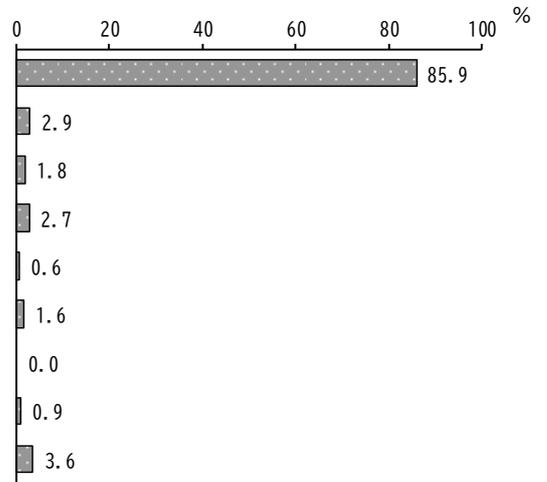
4 精神障がい者調査の結果

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が85.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 788

- 本人
- 配偶者
- 父
- 母
- 子（配偶者の子を含む）
- 兄弟姉妹
- その他の親族
- その他
- 無回答

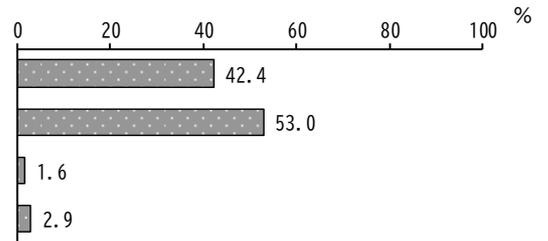


問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が42.4%、「女性」の割合が53.0%となっています。

回答者数 = 788

- 男性
- 女性
- 回答しない
- 無回答

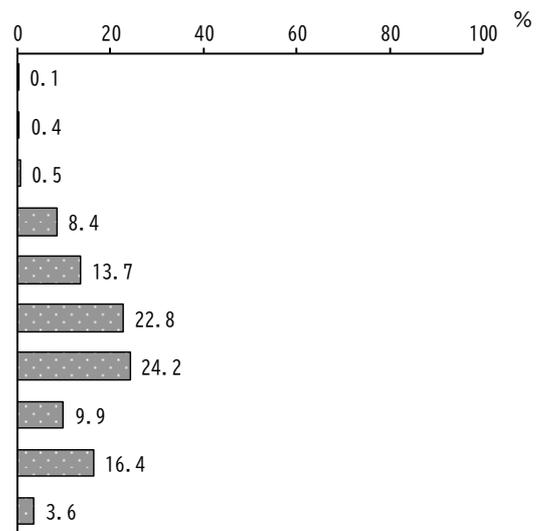


問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「50～59歳」の割合が24.2%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が22.8%、「65歳以上」の割合が16.4%となっています。

回答者数 = 788

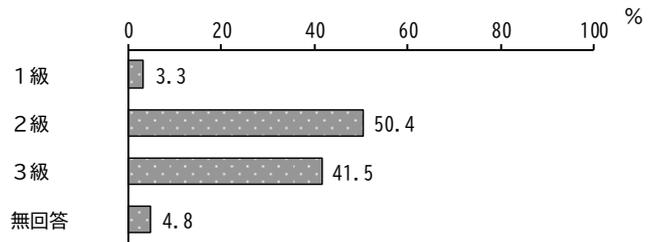
- 0～5歳
- 6～14歳
- 15～17歳
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65歳以上
- 無回答



問4 あなたの「精神障害者保健福祉手帳」に記載されている障害の程度は、何級ですか。(〇は1つ)

「2級」の割合が50.4%と最も高く、次いで「3級」の割合が41.5%となっています。

回答者数 = 788

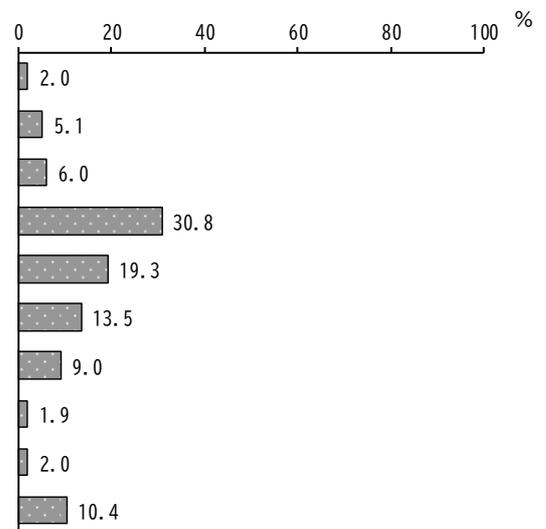


問5 あなたまたは家族の方が、最初に障がいに気がついたのはいつ頃ですか。そのときのあなたの年齢をお書きください。

「18～29歳」の割合が30.8%と最も高く、次いで「30～39歳」の割合が19.3%、「40～49歳」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 788

- 0～5歳
- 6～14歳
- 15～17歳
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65歳以上
- 無回答

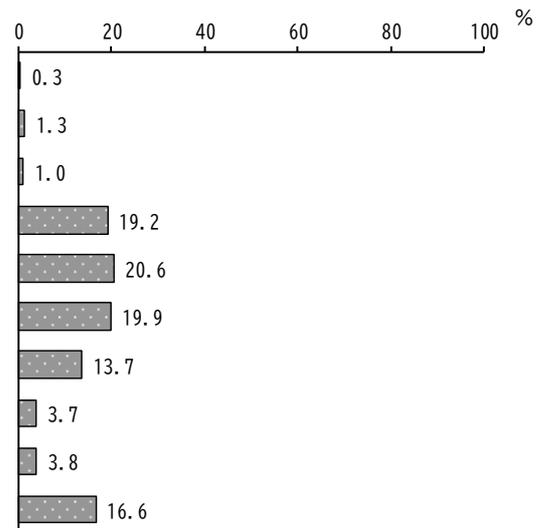


問6 「精神障害者保健福祉手帳」は、何歳の時に取りましたか。

「30～39歳」の割合が20.6%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が19.9%、「18～29歳」の割合が19.2%となっています。

回答者数 = 788

- 0～5歳
- 6～14歳
- 15～17歳
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65歳以上
- 無回答

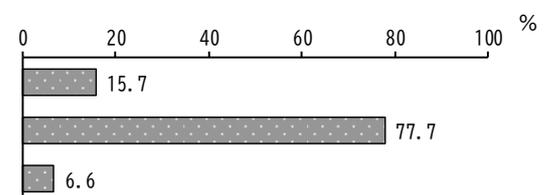


問7 あなたは、「身体障害者手帳」を持っていますか。(〇は1つ)

「持っている」の割合が15.7%、「持っていない」の割合が77.7%となっています。

回答者数 = 788

- 持っている
- 持っていない
- 無回答

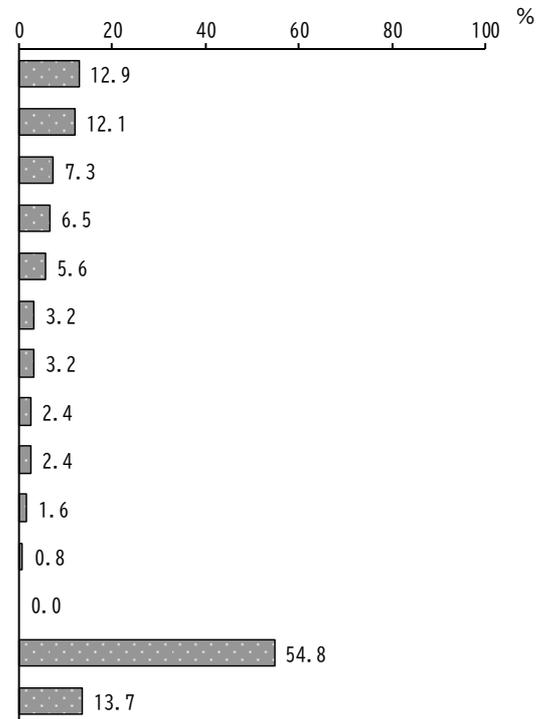


問8 (問7で「1 持っている」に○をつけた方のみお答えください。) あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「下肢機能」の割合が12.9%と最も高く、次いで「音声・言語」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 124

- 下肢機能
- 音声・言語
- 聴覚
- 上肢機能
- 視覚
- 呼吸機能
- 腎臓機能
- 平衡機能
- 心臓機能
- 肝臓機能
- 膀胱・直腸機能
- そしゃく機能
- その他
- 無回答

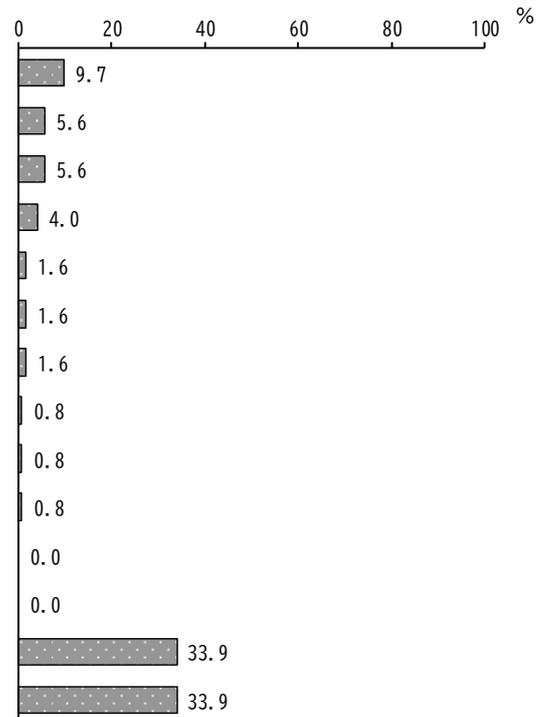


問9 (問8で○をつけた方のみお答えください。) あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。(あてはまる番号を問8から1つご記入ください)

「下肢機能」の割合が9.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 124

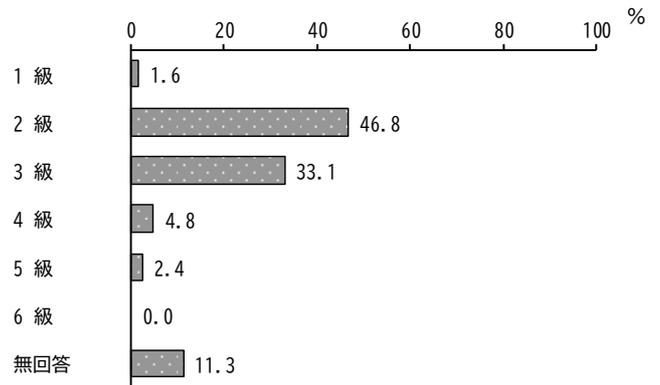
- 下肢機能
- 聴覚
- 音声・言語
- 視覚
- 心臓機能
- 呼吸機能
- 肝臓機能
- 上肢機能
- 腎臓機能
- 膀胱・直腸機能
- そしゃく機能
- 平衡機能
- その他
- 無回答



問10 (問7で「1 持っている」に○をつけた方のみお答えください。)「身体障害者手帳」に記載されている障害の程度は、何級ですか。(○は1つ)

「2級」の割合が46.8%と最も高く、次いで「3級」の割合が33.1%となっています。

回答者数 = 124

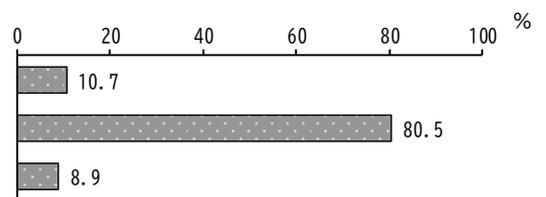


問11 あなたは、現在、難病と診断されていますか。(○は1つ)

「診断されている」の割合が10.7%、「診断されていない」の割合が80.5%となっています。

回答者数 = 788

診断されている
診断されていない
無回答

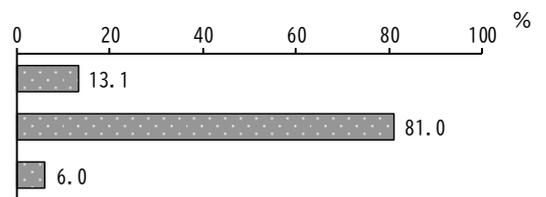


問12 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。(○は1つ)

「利用している」の割合が13.1%、「利用していない」の割合が81.0%となっています。

回答者数 = 788

利用している
利用していない
無回答

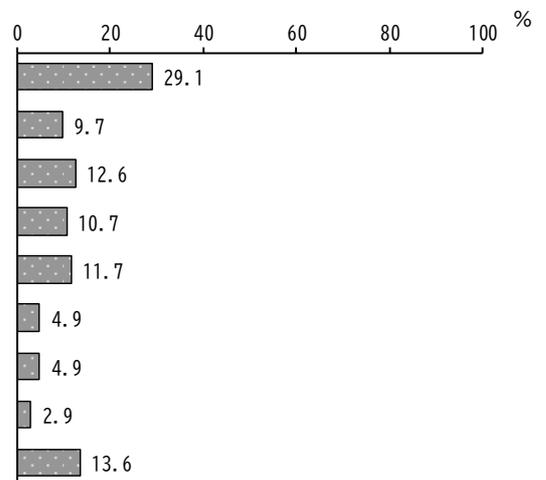


問13 (問12で「1 利用している」に○をつけた方のみお答えください。)該当する要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

「非該当」の割合が29.1%と最も高く、次いで「要支援2」の割合が12.6%、「要介護2」の割合が11.7%となっています。

回答者数 = 103

非該当
要支援1
要支援2
要介護1
要介護2
要介護3
要介護4
要介護5
無回答

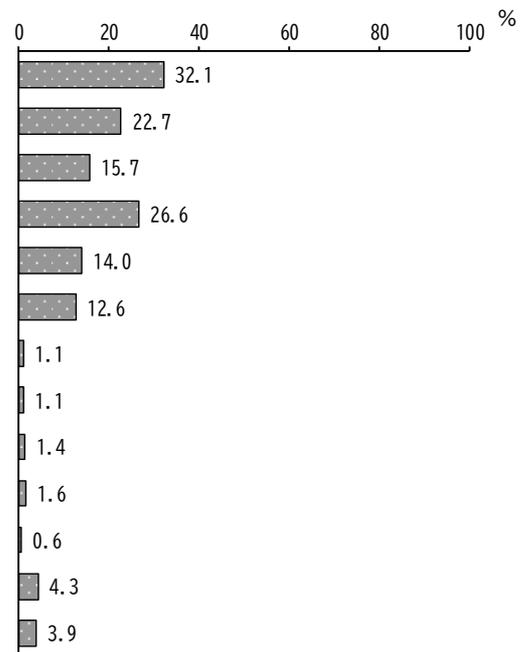


問 14 あなたは、現在、どなたかと一緒に生活していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「一人暮らし」の割合が32.1%と最も高く、次いで「母」の割合が26.6%、「配偶者」の割合が22.7%となっています。

回答者数 = 788

- 一人暮らし
- 配偶者
- 父
- 母
- 子供（その配偶者も含む）
- 兄弟姉妹（その配偶者も含む）
- 祖父・祖母
- 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族
- 友人
- グループホームの職員
- 福祉ホームの職員
- その他
- 無回答

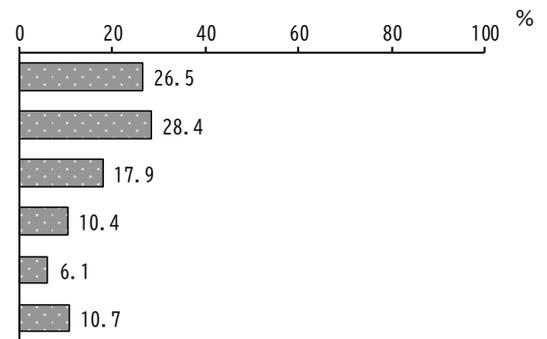


問 15 一緒に生活している方は、あなたを含めて合計で何人ですか。(○は1つ)

「2人」の割合が28.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が26.5%、「3人」の割合が17.9%となっています。

回答者数 = 788

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上
- 無回答



問 16 毎日の生活の中で、次のことがひとりでできますか。

それぞれの項目について、あてはまる欄の番号に○をつけてください。

『10 指示されたとおり服薬すること』で「自分でできる」の割合が、『2 身のまわりの掃除・整理整頓をすること』で「一部に手助けが必要」の割合が高くなっています。また、『12 近所づきあいをすること』で「全部に手助けが必要」の割合が高くなっています。

単位：％

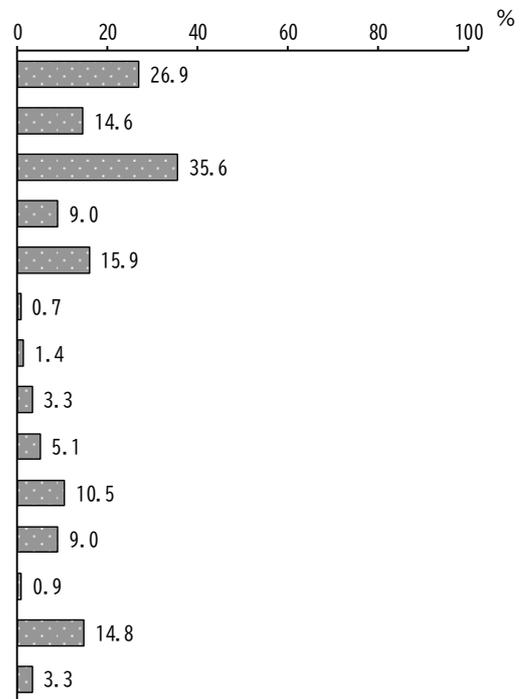
区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無回 答
1 食事の支度やあと片付けをすること	788	53.7	33.1	9.4	3.8
2 身のまわりの掃除・整理整頓をすること	788	46.3	39.0	11.2	3.6
3 ごみ出しをすること	788	64.2	20.7	11.0	4.1
4 洗濯をすること	788	64.0	20.8	10.7	4.6
5 日常の買い物をする事	788	58.9	27.0	10.2	3.9
6 清潔や身だしなみに気をつけること	788	63.1	27.5	5.2	4.2
7 お金の管理をすること	788	54.8	28.8	11.7	4.7
8 バス・電車等を利用すること	788	70.1	17.9	7.6	4.4
9 定期的に通院すること	788	68.4	18.0	9.0	4.6
10 指示されたとおり服薬すること	788	72.6	17.3	5.8	4.3
11 銀行・郵便局等を利用すること	788	67.5	18.7	9.5	4.3
12 近所づきあいをすること	788	43.0	31.3	19.5	6.1

問17 (問16で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「母」の割合が35.6%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が26.9%、「兄弟姉妹(その配偶者も含む)」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 553

- 配偶者
- 父
- 母
- 子供(その配偶者も含む)
- 兄弟姉妹(その配偶者も含む)
- 祖父・祖母
- 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族
- グループホームの職員
- 福祉ホームの職員
- 友人
- ホームヘルパー
- ボランティア
- その他
- 無回答

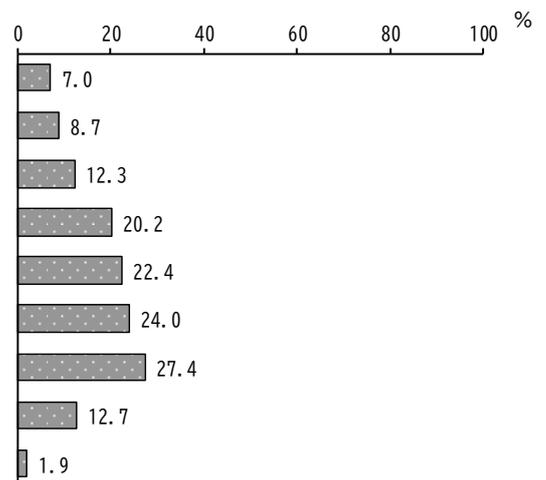


問18 (問17で「1 配偶者」～「7 「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。

「70～79歳」の割合が27.4%と最も高く、次いで「60～69歳」の割合が24.0%、「50～59歳」の割合が22.4%となっています。

回答者数 = 416

- 18歳未満
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70～79歳
- 80歳以上
- 無回答



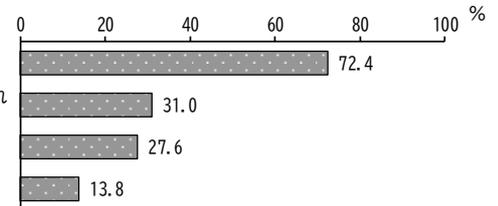
問19 (問18で「ア」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている18歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」の割合が72.4%と最も高く、次いで「金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている」の割合が31.0%、「身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている」の割合が27.6%となっています。

回答者数 = 29

家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている
 金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
 身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている
 無回答

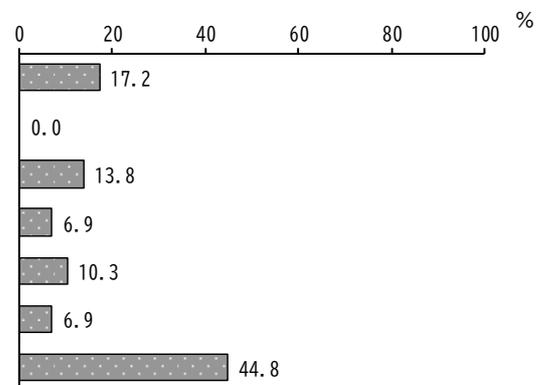


問20 (問18で「ア 18歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「毎日」の割合が17.2%と最も高く、次いで「週に2~3日」の割合が13.8%、「1か月に数日」の割合が10.3%となっています。

回答者数 = 29

毎日
 週に1日
 週に2~3日
 週に4~5日
 1か月に数日
 その他
 無回答

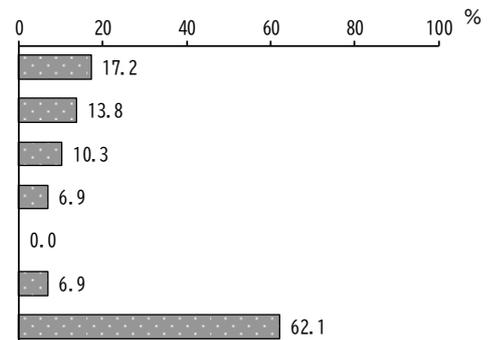


問21 (問18で「ア 18歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「親に障がいがあるため」の割合が17.2%と最も高く、次いで「(18歳未満の人からみた)親が病気であるため」の割合が13.8%、「ひとり親家庭のため」の割合が10.3%となっています。

回答者数 = 29

親に障がいがあるため
 (18歳未満の人からみた)親が病気であるため
 ひとり親家庭のため
 (18歳未満の人からみた)親が仕事で忙しいため
 親がさょうだいの面倒をみているため
 その他
 無回答

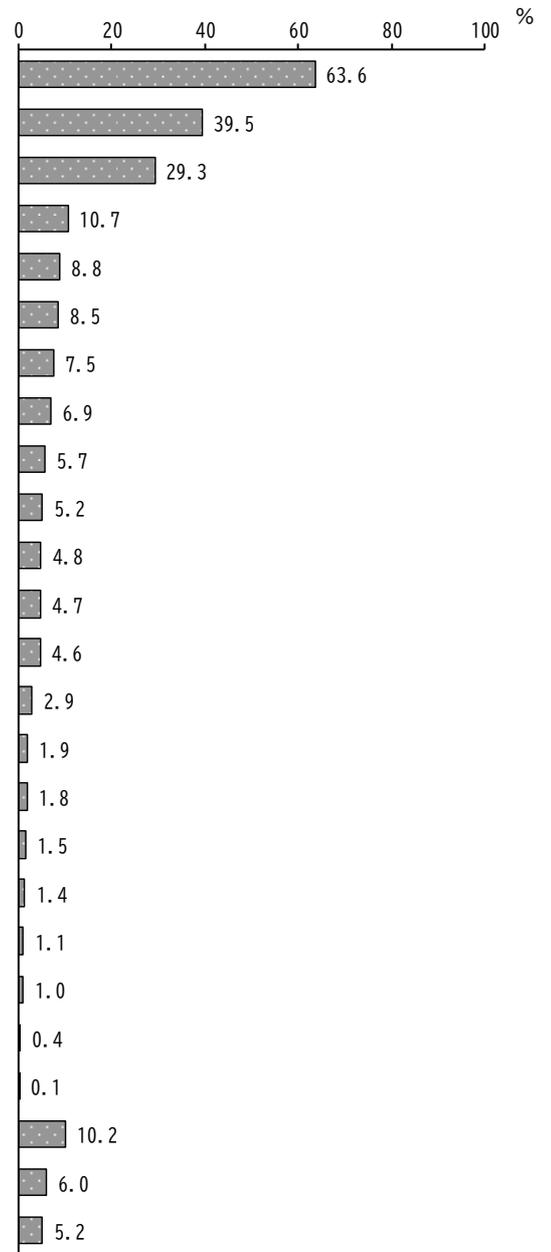


問 22 日常のことで、現在あなたが相談している人はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が63.6%と最も高く、次いで「病院・診療所の医師・看護師等」の割合が39.5%、「友人・知人」の割合が29.3%となっています。

回答者数 = 788

- 家族・親戚
- 病院・診療所の医師・看護師等
- 友人・知人
- 訪問看護ステーションの看護師
- 精神障害者地域支援センター（アゼリア）の職員
- 生活福祉課の職員
- 障害者福祉課の職員
- 作業所の職員
- 保健所の保健師
- 社会福祉協議会（じよぶ・あらかわ等）の職員
- ケアマネージャー
- グループホームや福祉ホームの職員
- ホームヘルパー
- 近所の人
- 地域包括支援センターの職員
- 精神保健福祉センターの職員
- 荒川区障害者基幹相談支援センターの職員
- 荒川区精神障がい者相談支援事業所（コンパス）の職員
- 子ども家庭総合センターの職員
- 民生委員・児童委員
- 高齢者福祉課の職員
- 成年後見人
- その他
- 誰もいない
- 無回答

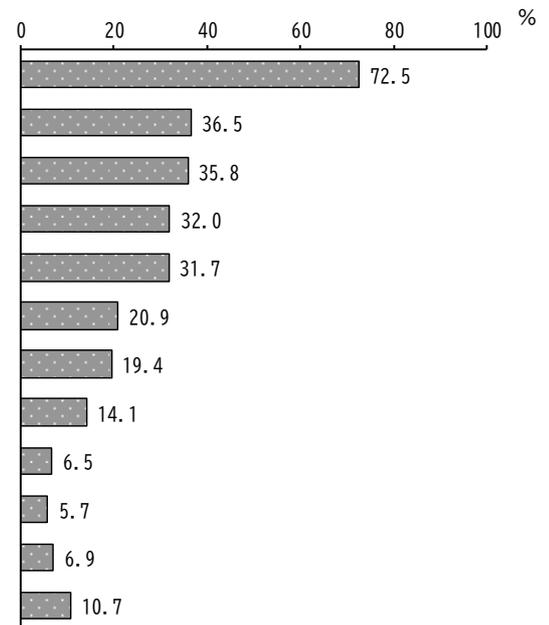


問 23 あなたが現在相談している内容は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「病気のこと・身体のこと」の割合が72.5%と最も高く、次いで「仕事のこと」の割合が36.5%、「人間関係(家族・友人・隣人等)のこと」の割合が35.8%となっています。

回答者数 = 788

- 病気のこと・身体のこと
- 仕事のこと
- 人間関係(家族・友人・隣人等)のこと
- 将来について
- お金のこと(収入・管理・財産・年金等)
- 食事のこと
- 薬の管理のこと
- 住居のこと
- 親の介護のこと
- 異性・結婚のこと
- その他
- 無回答

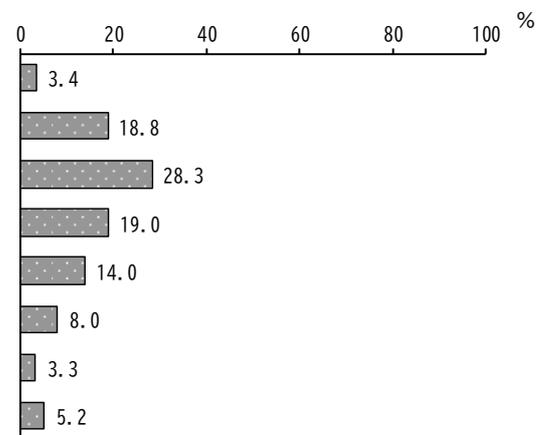


問 24 あなたが初めて精神科(神経科・心療内科)で診察を受けたのは、何歳ごろですか(てんかんの場合は小児科・内科を含む)。(○は1つ)

「20~29歳」の割合が28.3%と最も高く、次いで「30~39歳」の割合が19.0%、「10~19歳」の割合が18.8%となっています。

回答者数 = 788

- 10歳未満
- 10~19歳
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60歳以上
- 無回答

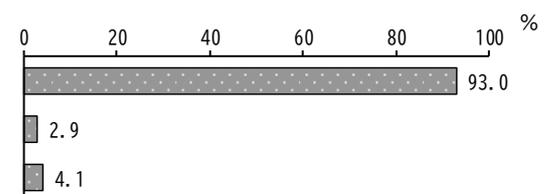


問 25 あなたは現在、精神障がいについて治療を継続していますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

「はい」の割合が93.0%、「治療を中断している」の割合が2.9%となっています。

回答者数 = 788

- はい
- 治療を中断している
- 無回答

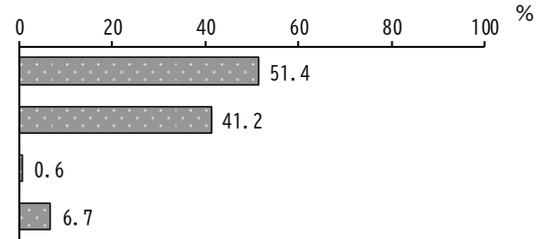


問 26 あなたは、これまでに精神科に入院したことがありますか。あてはまるものにつけてください。下線部には、入院の回数と、入院期間の合計を書き入れてください。(○は1つ)

「入院経験なし」の割合が51.4%と最も高く、次いで「入院経験あり」の割合が41.2%となっています。

回答者数 = 788

入院経験なし
入院経験あり
現在入院中
無回答

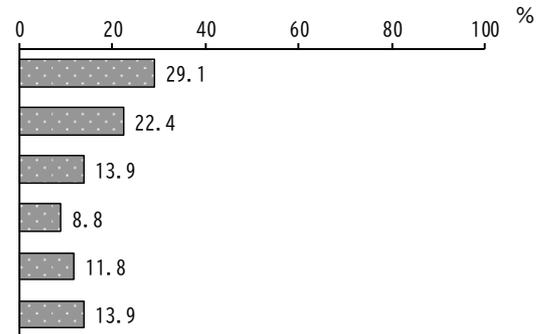


入院回数

「1回」の割合が29.1%と最も高く、次いで「2回」の割合が22.4%、「3回」の割合が13.9%となっています。

回答者数 = 330

1回
2回
3回
4回
5回以上
無回答

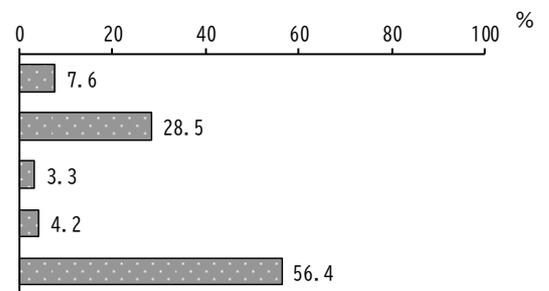


現在までの入院期間

「1年以上5年未満」の割合が28.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 330

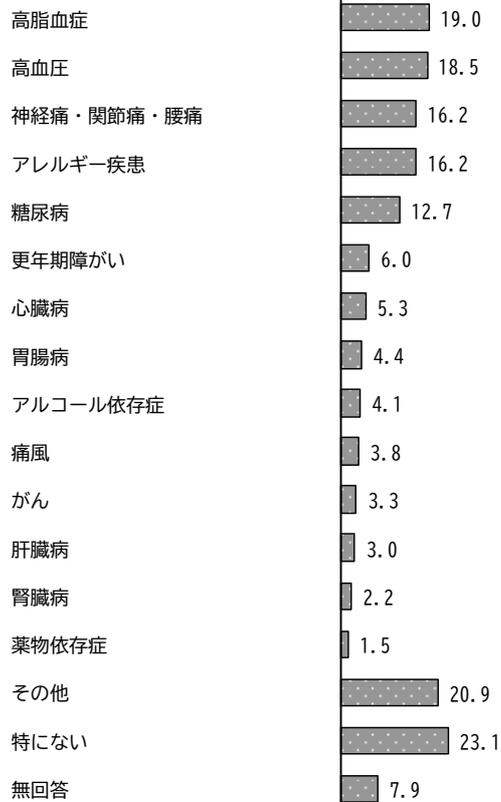
1年未満
1年以上5年未満
5年以上10年未満
10年以上
無回答



問 27 あなたは、現在、以下にあるような病気（医師から診断されたもの）がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「特にない」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「その他」の割合が 20.9%、「高脂血症」の割合が 19.0%となっています。

回答者数 = 788



問 28 問 27 の病気の治療を受けていますか。(それぞれの項目の番号のどちらかに○をつけてください。)

『更年期障がい』で「治療していない」の割合が高くなっています。

単位：%

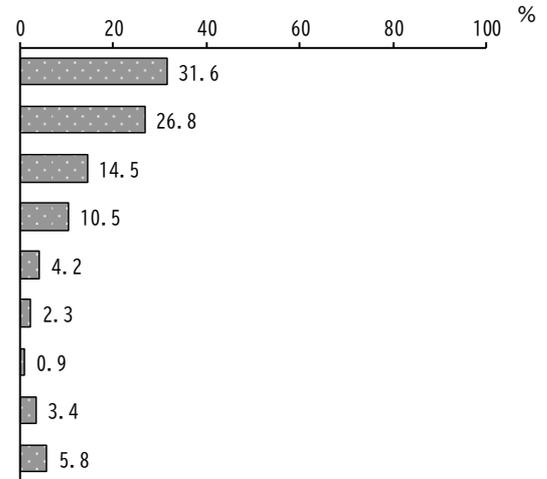
区分	回答者数 (件)	治療している	治療していない	無回答
心臓病	42	64.3	23.8	11.9
高血圧	146	80.1	9.6	10.3
高脂血症（高コレステロール等）	150	70.7	18.7	10.7
糖尿病	100	82.0	11.0	7.0
胃腸病	35	77.1	20.0	2.9
肝臓病	24	41.7	25.0	33.3
腎臓病	17	58.8	23.5	17.6
アルコール依存症	32	46.9	25.0	28.1
薬物依存症	12	83.3	8.3	8.3
痛風	30	70.0	20.0	10.0
神経痛・関節痛・腰痛	128	60.9	22.7	16.4
アレルギー疾患	128	68.0	22.7	9.4
更年期障がい	47	55.3	38.3	6.4
がん	26	73.1	19.2	7.7
その他	165	72.1	10.3	17.6

問 29 あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。(○は1つ)

「賃貸マンション・アパート」の割合が31.6%と最も高く、次いで「一戸建ての持ち家」の割合が26.8%、「分譲マンション」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 788

- 賃貸マンション・アパート
- 一戸建ての持ち家
- 分譲マンション
- 公営住宅
- 一戸建ての借家
- グループホーム
- 福祉ホーム
- その他
- 無回答

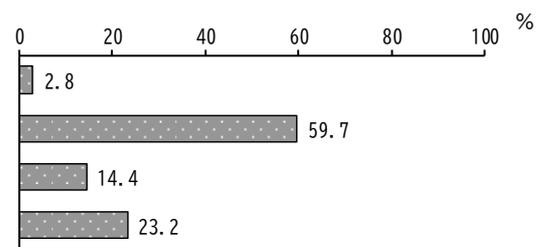


問 30 問 29 で「6 グループホーム」以外に○をつけた方にお聞きします。あなたはご家族と離れて、グループホームに住んでみたいと思いますか。(○は1つ)

「思わない」の割合が59.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が14.4%となっています。

回答者数 = 724

- 思う
- 思わない
- どちらともいえない
- 無回答

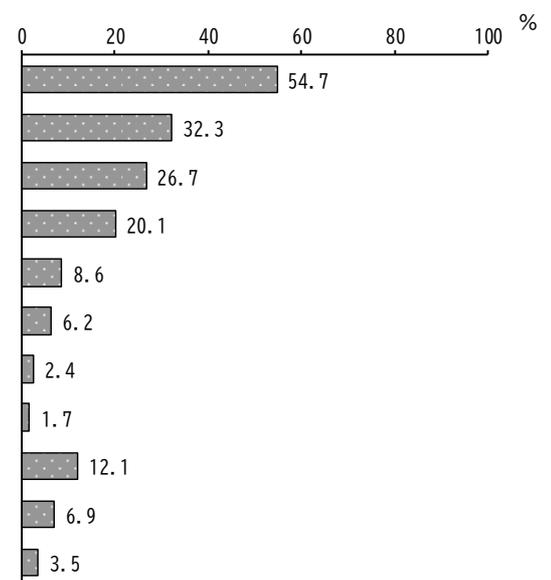


問 31 (問 30 で「2 思わない」か「3 どちらともいえない」に○をつけた方のみお答えください。) グループホームに住んでみたいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「自宅で生活がしたいため」の割合が54.7%と最も高く、次いで「グループホームでの生活に不安があるため」の割合が32.3%、「グループホームでの生活に興味がないため」の割合が26.7%となっています。

回答者数 = 536

- 自宅で生活がしたいため
- グループホームでの生活に不安があるため
- グループホームでの生活に興味がないため
- アパート等を借りて、1人で生活したいため
- グループホーム入居後に援助してくれる者がいないため
- 周囲の理解や家族の理解が得られないため
- グループホームの受け入れ先がないため
- 日中に活動できる事業所の受け入れ先がないため
- その他
- 特に理由はない
- 無回答

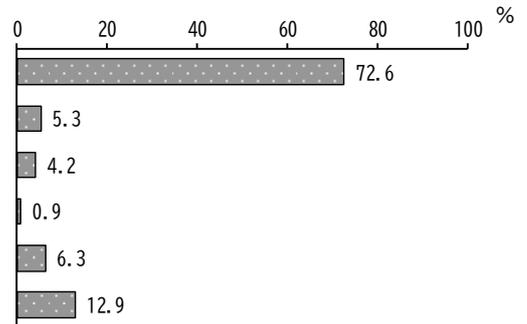


問 32 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいを理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「そのような経験はない」の割合が 72.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 788

そのような経験はない
断られた経験がある
最終的には借りられたが難航した
退去を求められたことがある
その他
無回答

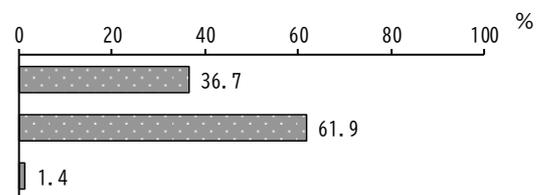


問 33 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

「働いている」の割合が 36.7%、「働いていない」の割合が 61.9%となっています。

回答者数 = 788

働いている
働いていない
無回答

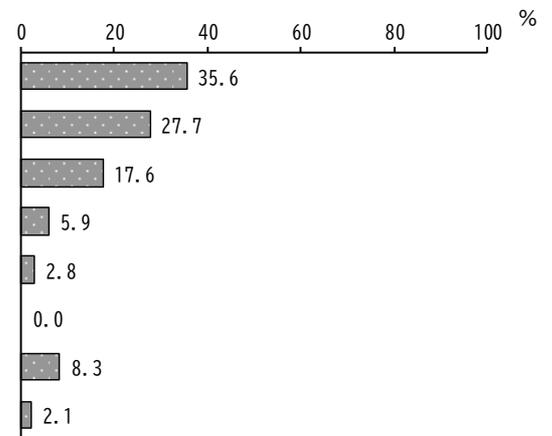


問 34 (問 33 で「1 働いている」に○をつけた方のみお答えください。) それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

「パートタイマー・アルバイト」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「常勤の社員・職員」の割合が 27.7%、「就労継続支援 B 型」の割合が 17.6%となっています。

回答者数 = 289

パートタイマー・アルバイト
常勤の社員・職員
就労継続支援 B 型
自営業
就労継続支援 A 型
社会適応訓練への通所
その他
無回答



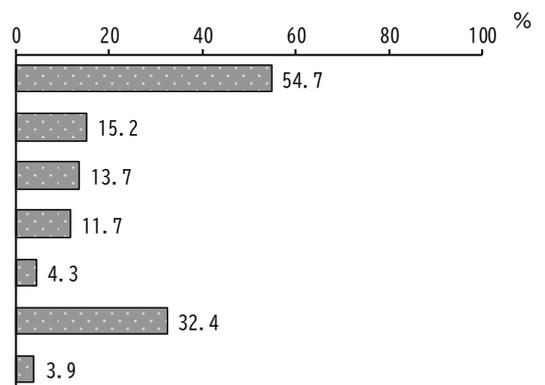
問 35 (問 33 で「2 働いていない」に○をつけた方のみお答え下さい。) あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「仕事をする体力、気力がな

い」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「自分に適した職業・職場がない」の割合が 15.2%、「仕事を探している」の割合が 13.7%となっています。

回答者数 = 488

仕事をする体力、気力がな
い
自分に適した職業・職場がない
仕事を探している
仕事をしたいが雇用されない
学校・職業訓練校に通っている
その他
無回答

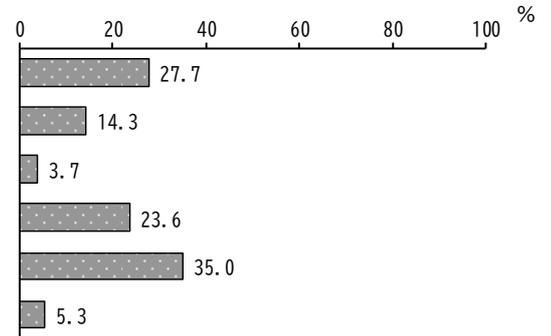


問 36 (問 33 で「2 働いていない」に○をつけた方のみお答えください。あなたは、日常どのように過ごしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「特に何もしていない」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「家事を手伝っている」の割合が 27.7%、「デイケアに通っている」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 488

- 家事を手伝っている
- デイケアに通っている
- 精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用している
- その他
- 特に何もしていない
- 無回答

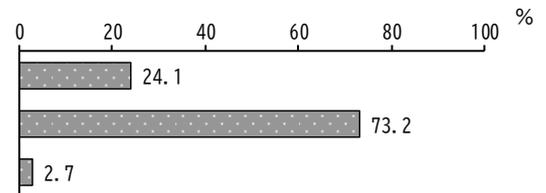


問 37 あなたは精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用（来所、電話を含む。）したことがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が 24.1%、「ない」の割合が 73.2%となっています。

回答者数 = 788

- ある
- ない
- 無回答

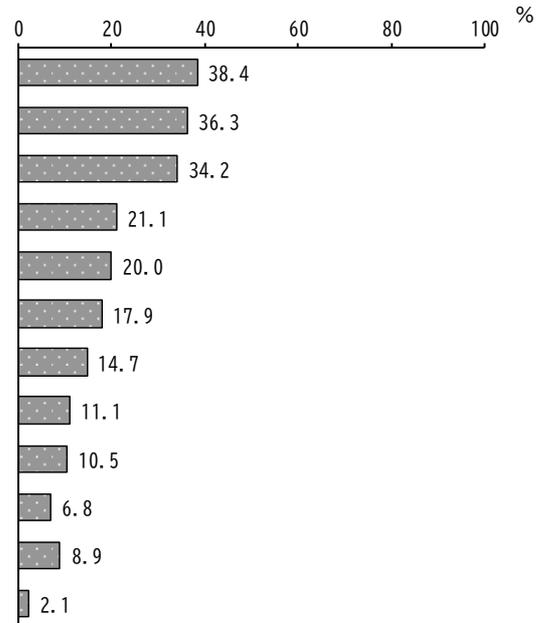


問 38 (問 37 で「1 ある」に○をつけた方のみお答えください。) 精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用する目的は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「生活相談」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「職員に話を聞いてもらう」の割合が 36.3%、「プログラムに参加」の割合が 34.2%となっています。

回答者数 = 190

- 生活相談
- 職員に話を聞いてもらう
- プログラムに参加
- 仲間との交流
- 日中の居場所として
- 計画相談
- 就労相談
- パソコンを利用
- 制度利用についての相談
- 喫茶「ほのぼの」を利用
- その他
- 無回答

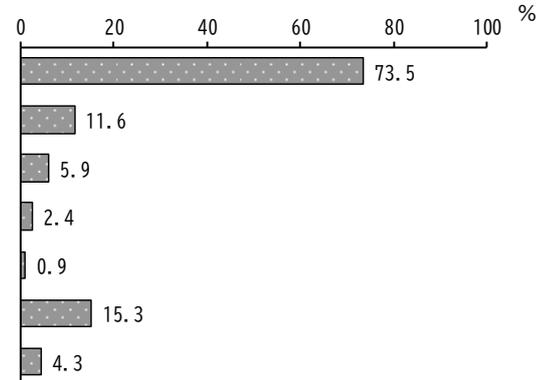


問 39 (問 37 で「2 ない」に○をつけた方のみお答えください。) 精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「アゼリアを知らない」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「相談がしにくい」の割合が 11.6%となっています。

回答者数 = 577

- アゼリアを知らない
- 相談がしにくい
- 場所が遠い
- 他区の地域生活支援センターを利用している
- 精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用している
- その他
- 無回答

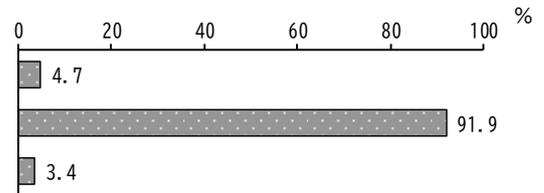


問 40 あなたは精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用（来所、電話を含む。）したことがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が 4.7%、「ない」の割合が 91.9%となっています。

回答者数 = 788

- ある
- ない
- 無回答

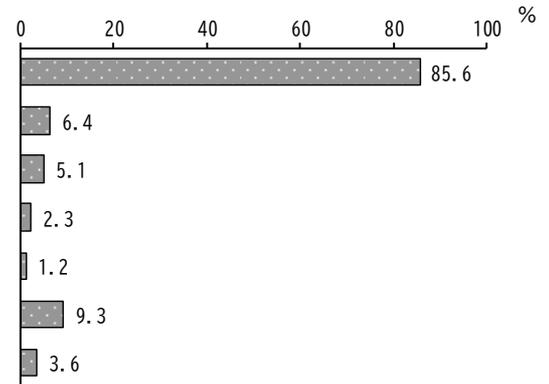


問 41 (問 40 で「2 ない」に○をつけた方のみお答えください。) 精神障がい者相談支援事業所「コンパス」を利用しない理由は何ですか。

「コンパスを知らない」の割合が 85.6%と最も高くなっています。

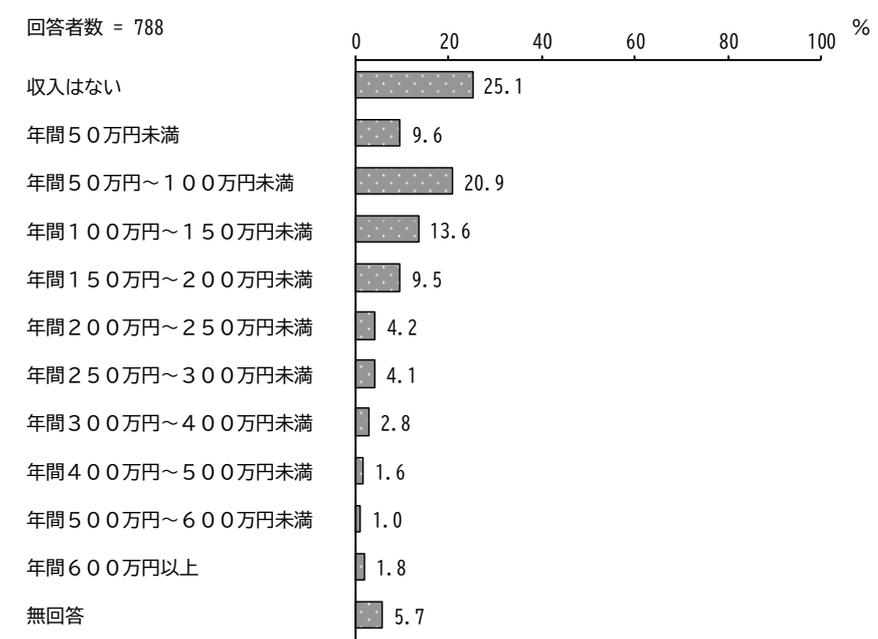
回答者数 = 724

- コンパスを知らない
- 精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」を利用している
- 相談がしにくい
- 場所が遠い
- 他区の地域生活支援センターを利用している
- その他
- 無回答



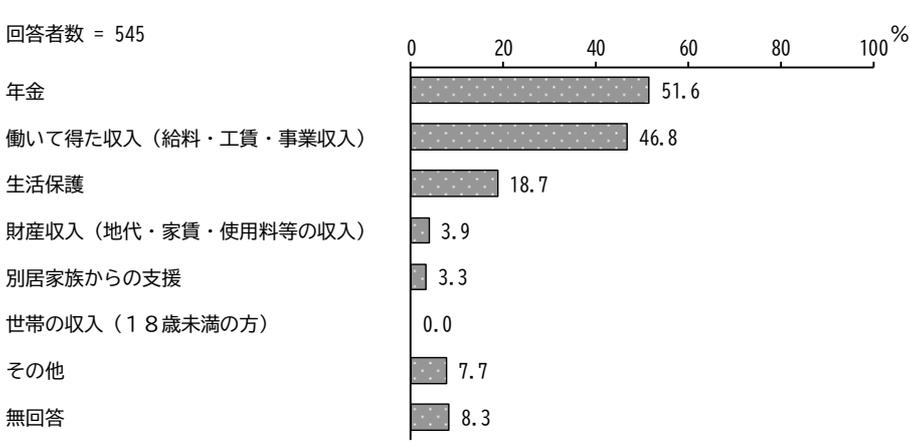
問 42 あなたの令和3年中の年収（働いた年収・年金・手当等の合計）は、税込みでいくらでしたか。（〇は1つ）

「収入はない」の割合が25.1%と最も高く、次いで「年間50万円～100万円未満」の割合が20.9%、「年間100万円～150万円未満」の割合が13.6%となっています。



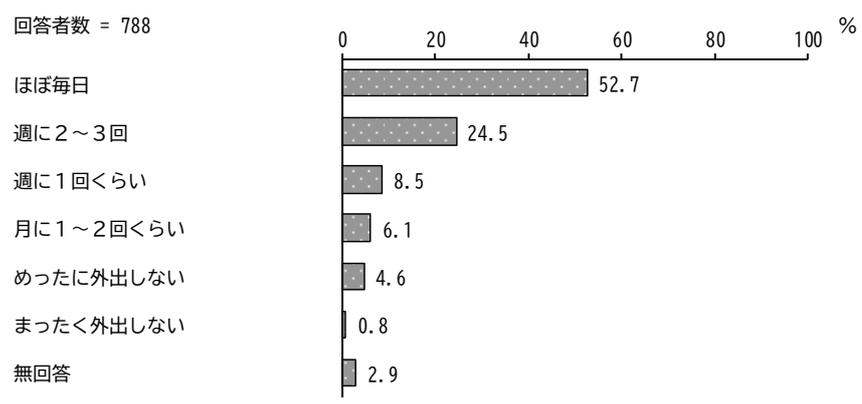
問 43 （問42で「2年間50万円未満」～「11年間600万円以上」に〇をつけた方のみお答えください。あなたの収入の種類はどれですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。（〇はいくつでも）

「年金」の割合が51.6%と最も高く、次いで「働いて得た収入（給料・工賃・事業収入）」の割合が46.8%、「生活保護」の割合が18.7%となっています。



問 44 あなたはどのくらい外出しますか。（通院、散歩等すべての外出）

「ほぼ毎日」の割合が52.7%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が24.5%となっています。



問 45 (問 44 で、「5 めったに外出しない」または「6 まったく外出しない」に○をつけた方のみお答えください。) あまり外出しない理由は何ですか。

「障がい・病気の具合が良くない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「交通機関を利用できない」の割合が 35.7%、「他人の視線が気になる」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 42

障がい・病気の具合が良くない

交通機関を利用できない

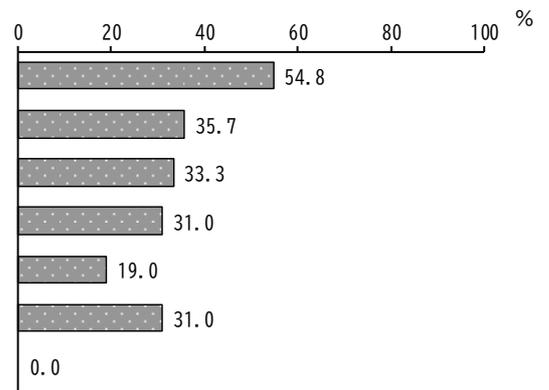
他人の視線が気になる

他人との会話がむずかしい

付き添ってくれる人がいない

その他

無回答



問 46 あなたは地震・火災等災害時に、ひとりで避難できますか。

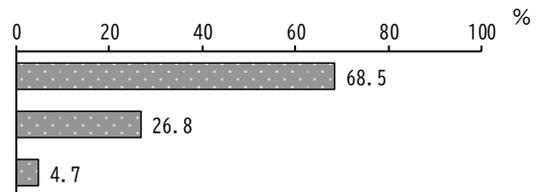
「できる」の割合が 68.5%、「できない」の割合が 26.8%となっています。

回答者数 = 788

できる

できない

無回答



問 47 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 28.3%、「友人・知人」の割合が 10.0%となっています。

回答者数 = 788

家族

友人・知人

近所の人

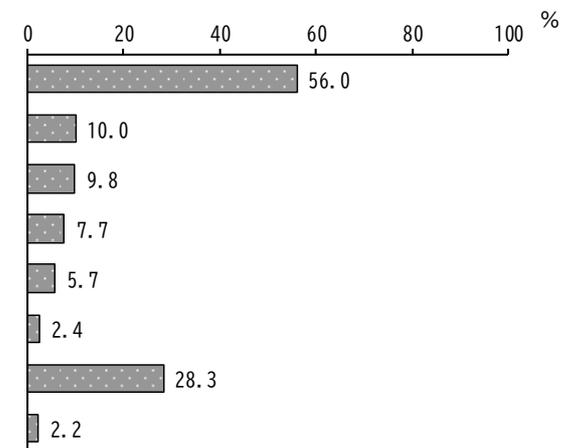
福祉サービス事業所等の関係者

親戚

その他

特にない

無回答



問 48 精神障がい者に関する施設・サービス等の利用状況について、お伺いします。項目ごとにあてはまる数字に○をつけてください。(1～33について各々○は1つ)

『医療費の公費負担』、『障害年金』や『都営交通無料乗車券』で「現在利用している」の割合が、『ハローワーク足立（足立公共職業安定所）』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	788	0.9	6.7	19.7	66.6	6.1
精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）	788	7.9	13.1	15.7	57.6	5.7
荒川区精神障がい者相談支援事業所（コンパス）	788	0.9	2.2	6.9	83.6	6.5
荒川区障害者基幹相談支援センター	788	1.4	0.4	6.2	84.8	7.2
就労移行・就労継続支援（作業所）	788	10.7	11.4	19.9	51.6	6.3
グループホーム	788	1.8	2.7	34.1	54.7	6.7
福祉ホーム	788	0.6	0.5	17.6	74.4	6.9
じょぶあらかわ（障害者就労支援センター）	788	4.6	11.2	16.8	60.4	7.1
東京都障害者総合スポーツセンター	788	0.8	5.8	13.7	72.6	7.1
ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	788	3.4	31.5	28.6	29.2	7.4
医療費の公費負担	788	54.7	7.9	4.3	25.6	7.5
成年後見人制度	788	0.9	0.5	38.3	52.7	7.6
あんしんサポート（地域福祉権利擁護事業）	788	1.0	0.3	10.3	80.1	8.4
障害年金	788	40.2	2.4	30.5	19.9	7.0
社会適応訓練	788	0.8	2.5	15.1	74.5	7.1
ホームヘルプサービス	788	5.3	1.1	20.4	66.1	7.0
移動支援サービス	788	1.5	1.0	14.1	75.0	8.4
ショートステイ	788	1.0	2.2	27.9	60.4	8.5
計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	788	14.6	4.9	8.8	63.7	8.0
地域移行支援 （入所・入院先を出て地域での生活に戻るための支援）	788	0.8	1.8	9.4	80.1	8.0

(次のページへ)

II 調査結果 精神障がい者

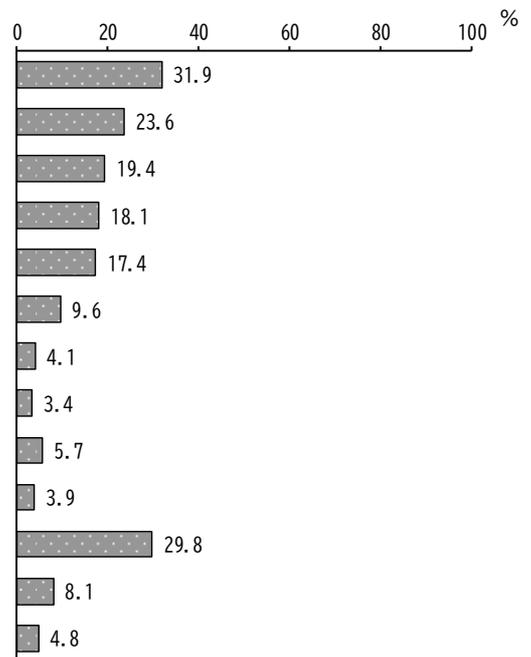
区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
地域定着支援 (地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援)	788	0.8	0.6	11.7	78.3	8.6
児童発達支援	788	0.3	0.6	9.3	80.5	9.4
放課後等デイサービス	788	0.6	0.3	16.1	73.1	9.9
障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	788	0.5	0.6	9.9	79.2	9.8
避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	788	3.9	1.9	17.4	67.8	9.0
保健所の保健師への相談	788	5.5	18.0	21.6	47.0	8.0
医療機関等のデイケア	788	8.2	10.7	25.4	46.6	9.1
訪問看護	788	13.3	4.1	35.5	38.6	8.5
こころの夜間電話相談	788	0.4	4.9	24.7	60.9	9.0
都営住宅の優先入居	788	4.9	2.5	32.6	50.5	9.4
都営交通無料乗車券	788	69.7	7.0	6.2	10.2	7.0
公立施設使用料の減額、免除	788	24.4	15.6	20.3	32.1	7.6
NHK受信料の減額、免除	788	27.7	4.6	26.0	35.7	6.1

問 49 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「映画やコンサート等の鑑賞」の割合が31.9%と最も高く、次いで「特になし」の割合が29.8%、「料理」の割合が23.6%となっています。

回答者数 = 788

- 映画やコンサート等の鑑賞
- 料理
- スポーツ・運動
- 絵画や音楽等の芸術活動
- 旅行
- 習い事や学習活動
- 区が主催するイベント等
- 障がい者団体等の活動
- その他
- その他のイベント等
- 特になし
- 活動をしたと思わない
- 無回答

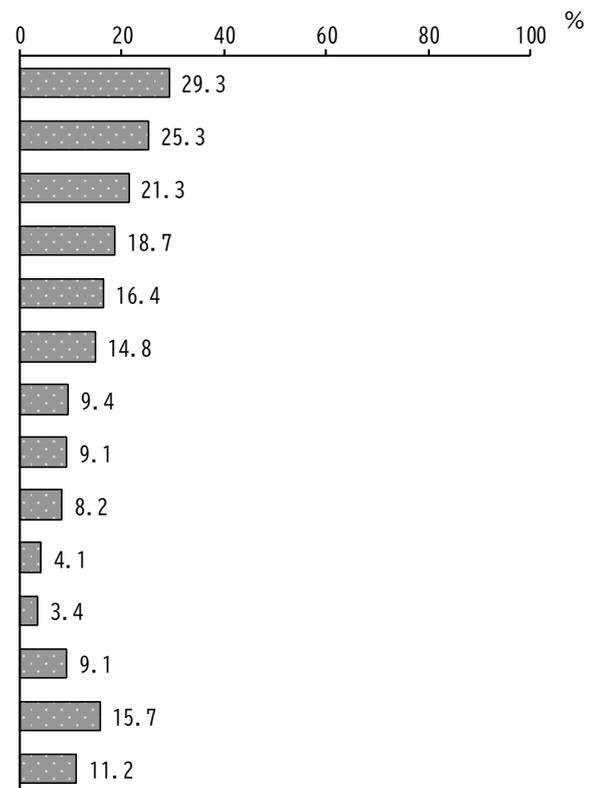


問 50 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「興味を感じる活動が少ない」の割合が29.3%と最も高く、次いで「お知らせや案内等を知らない」の割合が25.3%、「経済的理由により、活動が困難」の割合が21.3%となっています。

回答者数 = 788

- 興味を感じる活動が少ない
- お知らせや案内等を知らない
- 経済的理由により、活動が困難
- 付き合ってくれる人が少ない
- 電車やバスなどの利用が不便
- 参加できるような活動が少ない
- 参加しやすい時間に行われたい
- 障がい等が重く、活動が困難
- 障がい等に対する理解や配慮がない
- 建物や施設の設備の利用が不便
- 移動する方法がない
- その他
- 活動しにくいと感じない
- 無回答

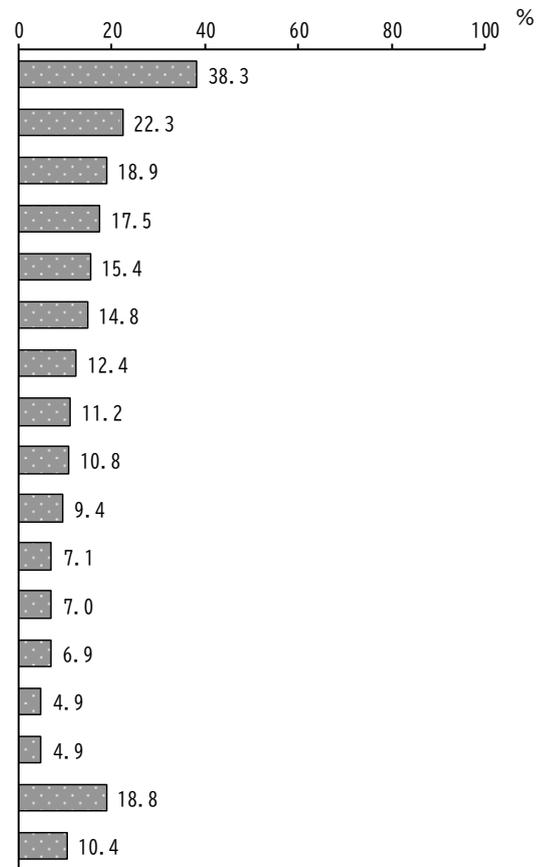


問 51 あなたが必要だと思う制度やサービス等（現在、利用しているものも含む。）は何ですか。（〇は5つまで）

「経済的な支援（手当等）」の割合が38.3%と最も高く、次いで「生活に関する相談、援助（健康、福祉等）」の割合が22.3%、「住宅に関する援助サービス（情報・相談等）」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 788

- 経済的な支援（手当等）
- 生活に関する相談、援助（健康、福祉等）
- 住宅に関する援助サービス（情報・相談等）
- 仕事に関する支援
- 趣味やスポーツができる場
- 食事の提供
- 掃除、洗濯、ごみ出し等のホームヘルプサービス
- 食事の支度、買い物等のホームヘルプサービス
- 仲間・当事者（ピア）と一緒に話せる場、いこいの場
- 休日や夜間に相談・受診できる医療サービス
- 一時的に休養できる場（ショートステイ）
- 受診の付添いサービス
- お金や財産の管理サービス（成年後見制度等）
- 結婚に関する相談
- その他
- 特になし
- 無回答

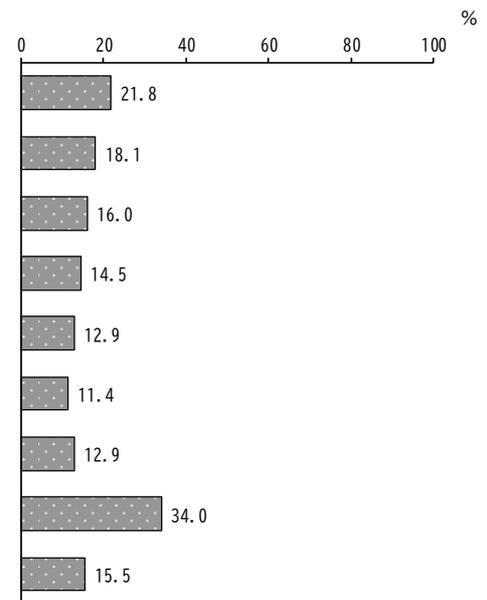


問 52 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。）（〇はいくつでも）

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が34.0%と最も高く、次いで「傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）」の割合が21.8%、「障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等）」の割合が18.1%となっています。

回答者数 = 788

- 傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）
- 障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等）
- 周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）
- あなたが人と話しているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）
- あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）
- 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）
- その他
- 差別や偏見を感じたことはない
- 無回答

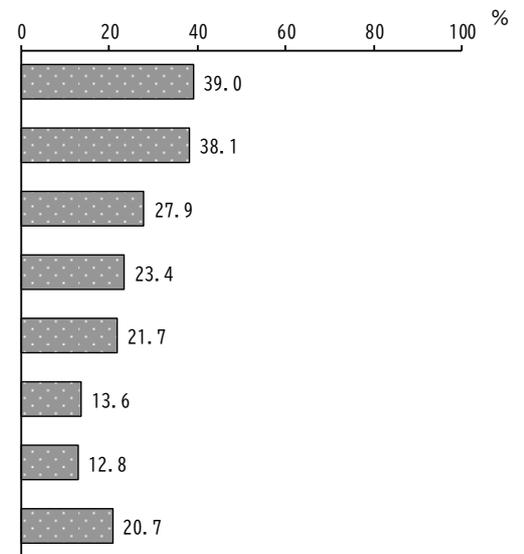


問 53 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が39.0%と最も高く、次いで「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が38.1%、「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」の割合が27.9%となっています。

回答者数 = 788

- 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う
- 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める
- 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する
- 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する
- 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす
- 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める
- その他
- 無回答



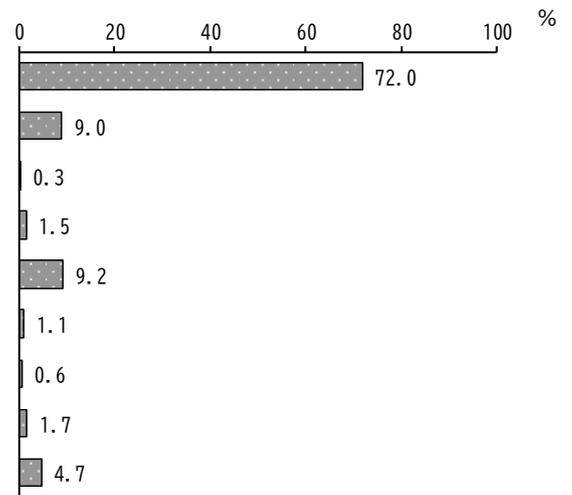
5 身体障がい者調査の結果

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が72.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 2,367

本人
配偶者
父
母
子（配偶者の子を含む）
兄弟姉妹
その他の親族
その他
無回答

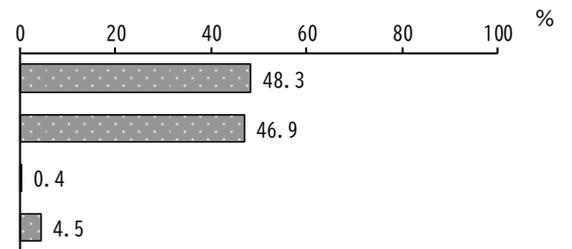


問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が48.3%と最も高く、次いで「女性」の割合が46.9%となっています。

回答者数 = 2,367

男性
女性
回答しない
無回答

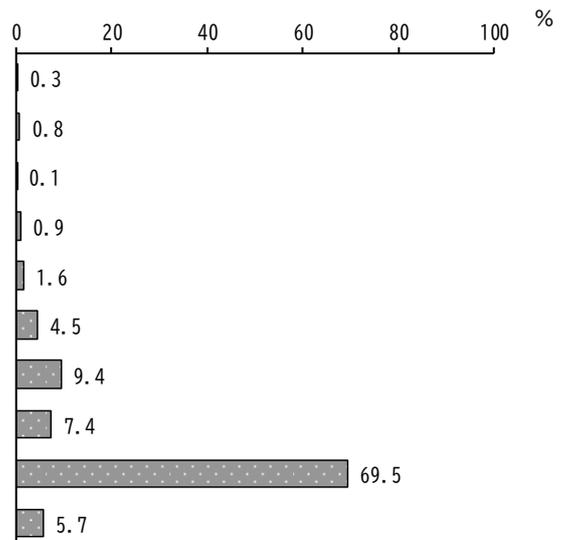


問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「65歳以上」の割合が69.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 2,367

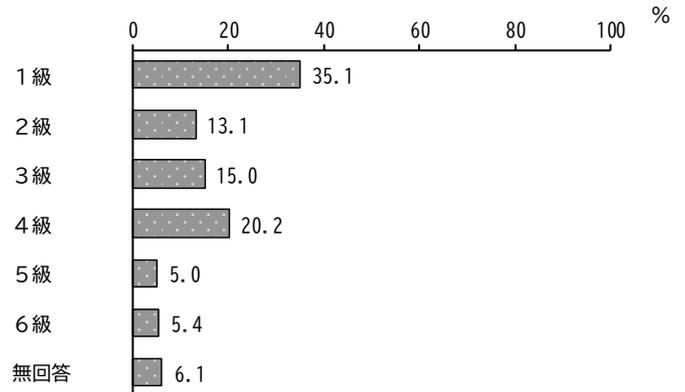
0～5歳
6歳～14歳
15～17歳
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
無回答



問4 あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障害の程度は、総合等級の何級ですか（○は1つ）

「1級」の割合が35.1%と最も高く、次いで「4級」の割合が20.2%、「3級」の割合が15.0%となっています。

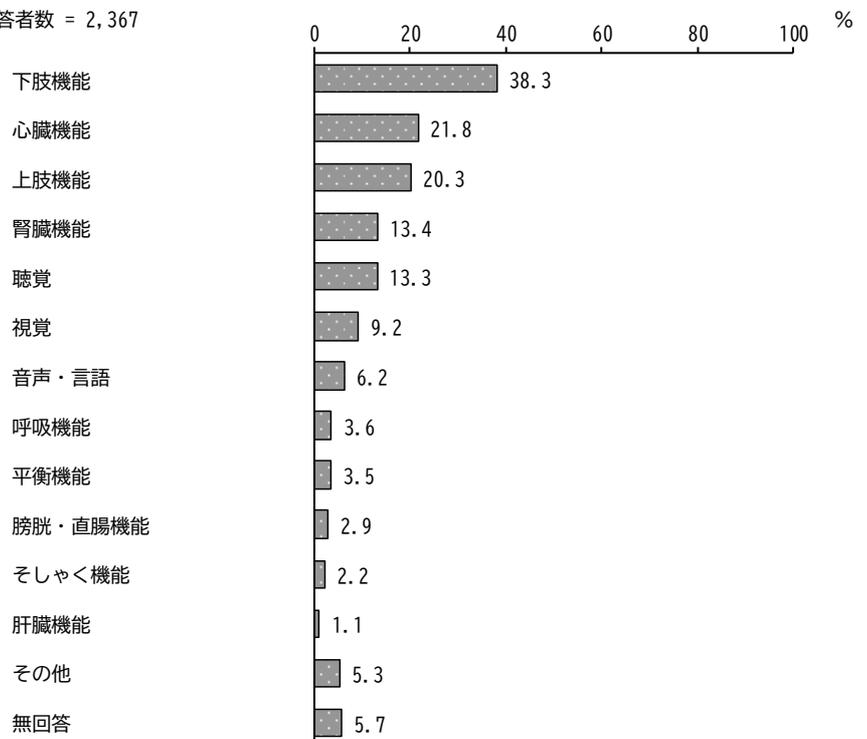
回答者数 = 2,367



問5 あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「下肢機能」の割合が38.3%と最も高く、次いで「心臓機能」の割合が21.8%、「上肢機能」の割合が20.3%となっています。

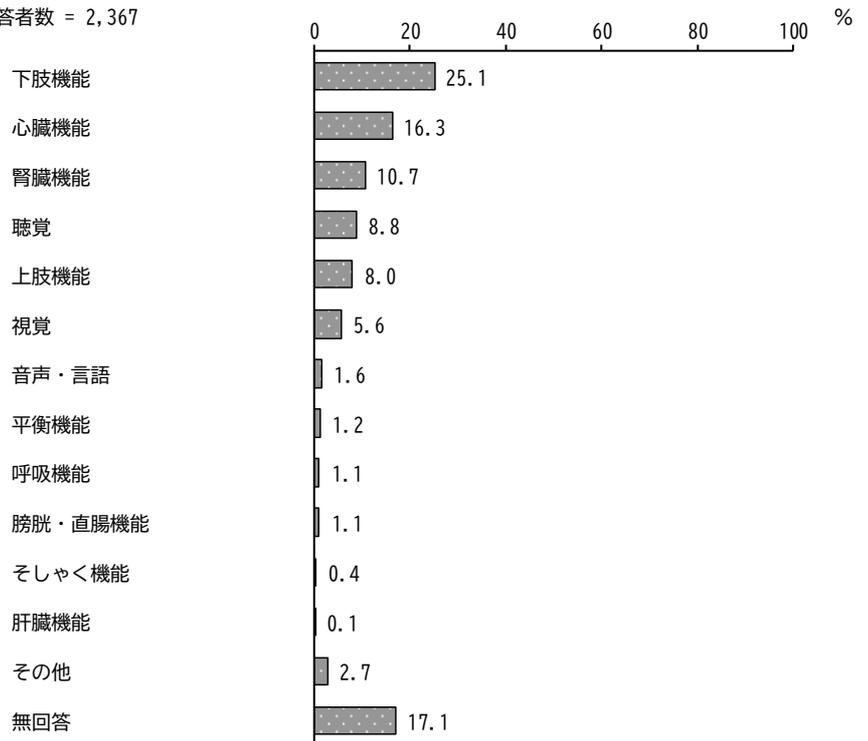
回答者数 = 2,367



問6 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。(あてはまる番号を1つご記入ください。)

「下肢機能」の割合が25.1%と最も高く、次いで「心臓機能」の割合が16.3%、「腎臓機能」の割合が10.7%となっています。

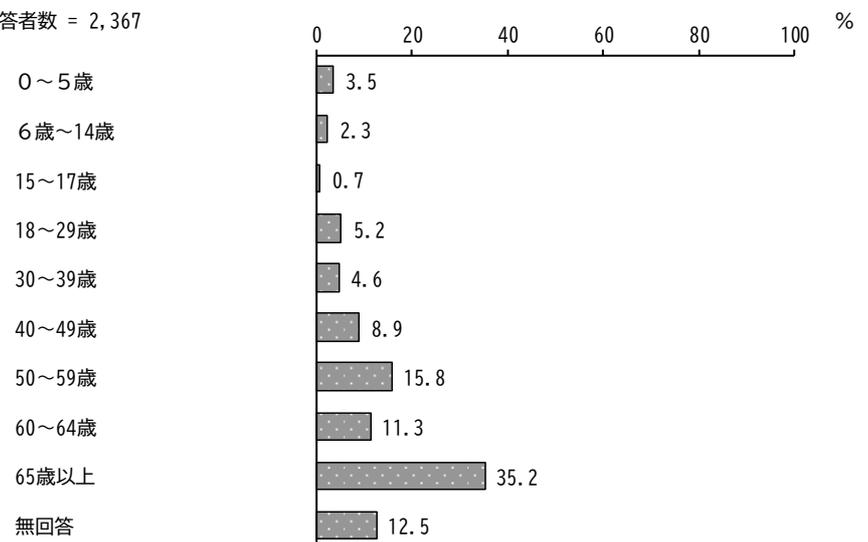
回答者数 = 2,367



問7 「身体障害者手帳」は、何歳の時に取得しましたか。

「65歳以上」の割合が35.2%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が15.8%、「60～64歳」の割合が11.3%となっています。

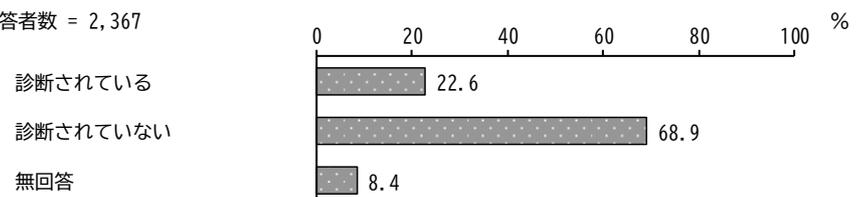
回答者数 = 2,367



問8 あなたは、現在、難病と診断されていますか。(○は1つ)

「診断されている」の割合が22.6%、「診断されていない」の割合が68.9%となっています。

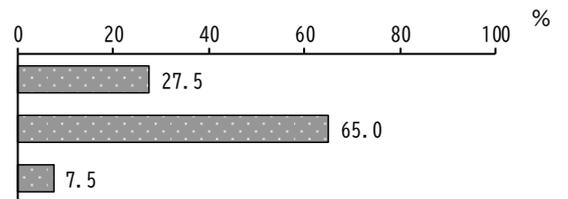
回答者数 = 2,367



問9 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。（○は1つ）

「利用している」の割合が 27.5%、「利用していない」の割合が 65.0%となっています。

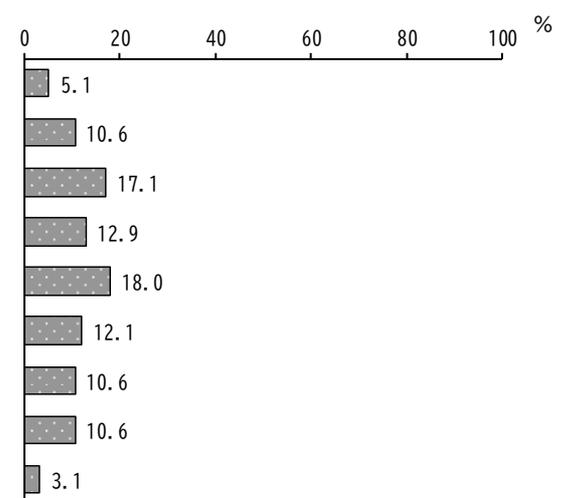
回答者数 = 2,367
 利用している
 利用していない
 無回答



問10 （問9で「1 利用している」に○をつけた方のみお答えください。）該当する要介護度に○をつけてください。（○は1つ）

「要介護2」の割合が 18.0%と最も高く、次いで「要支援2」の割合が 17.1%、「要介護1」の割合が 12.9%となっています。

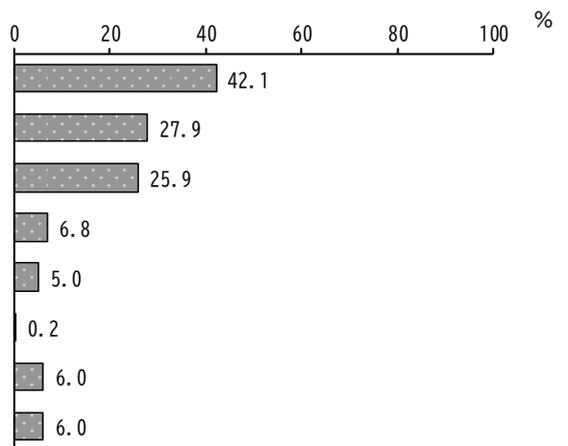
回答者数 = 651
 非該当
 要支援1
 要支援2
 要介護1
 要介護2
 要介護3
 要介護4
 要介護5
 無回答



問11 あなたは、現在、どなたかと一緒に生活していますか。（○はいくつでも）

「配偶者」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「子（配偶者の子を含む）」の割合が 27.9%、「一人暮らし」の割合が 25.9%となっています。

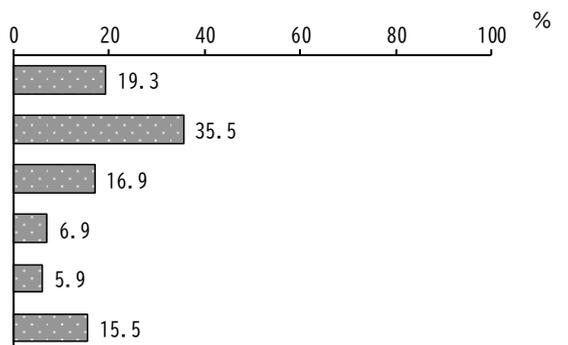
回答者数 = 2,367
 配偶者
 子（配偶者の子を含む）
 一人暮らし
 親（父・母）
 兄弟姉妹
 祖父・祖母
 その他
 無回答



問12 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。（○は1つ）

「2人」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が 19.3%、「3人」の割合が 16.9%となっています。

回答者数 = 2,367
 1人
 2人
 3人
 4人
 5人以上
 無回答



問 13 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～15について各々○は1つ)

「自分でできる」では『2 食事をすること』の割合が高くなっています。

「一部に手助けが必要」では『8 室内の掃除・整理整頓をすること』の割合が高くなっています。

「全部に手助けが必要」では『10 布団を干すこと』の割合が高くなっています。

単位：%

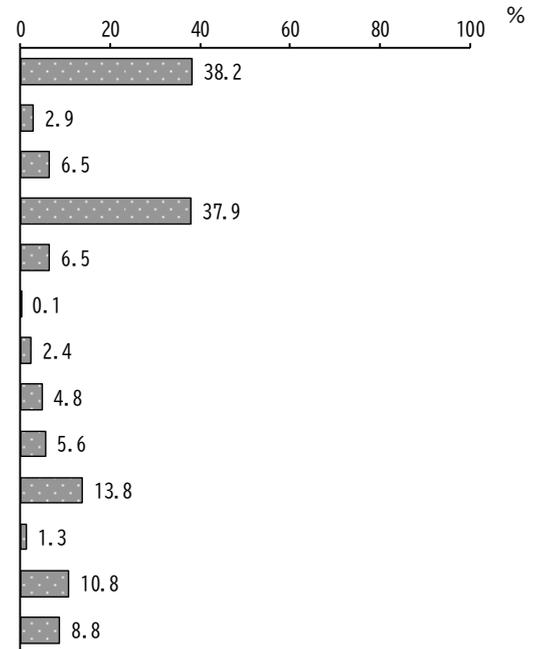
区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無回 答
1 歩くこと	2367	64.9	19.2	11.1	4.8
2 食事をすること	2367	82.5	9.3	3.7	4.6
3 食事の支度や後片付けをすること	2367	61.8	15.2	17.7	5.4
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	2367	75.1	12.6	7.7	4.6
5 トイレで用を足し、後始末をすること	2367	80.2	8.3	7.0	4.5
6 入浴し、身体や髪を洗うこと	2367	71.9	11.4	12.3	4.4
7 歯磨き・洗顔等をすること	2367	82.3	7.4	5.5	4.9
8 室内の掃除・整理整頓をすること	2367	54.0	21.6	18.8	5.6
9 洗濯をし、干し、たたむこと	2367	58.3	14.7	21.3	5.6
10 布団を干すこと	2367	46.0	17.0	29.8	7.1
11 電話を受けたり、かけたりすること	2367	68.7	12.1	14.1	5.1
12 規則的な服薬をすること	2367	74.1	10.2	10.2	5.5
13 病院に行くこと	2367	57.6	16.4	20.8	5.2
14 近所に日常の買い物に行くこと	2367	56.1	15.8	22.7	5.4
15 バス・都電・電車を利用すること	2367	56.7	14.7	23.0	5.6

問 14 (問 13 で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「子供(その配偶者も含む)」の割合が 37.9%、「ホームヘルパー」の割合が 13.8%となっています。

回答者数 = 1,424

配偶者
父
母
子供(その配偶者も含む)
兄弟姉妹(その配偶者も含む)
祖父・祖母
「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族
グループホームの職員
友人
ホームヘルパー
ボランティア
その他
無回答

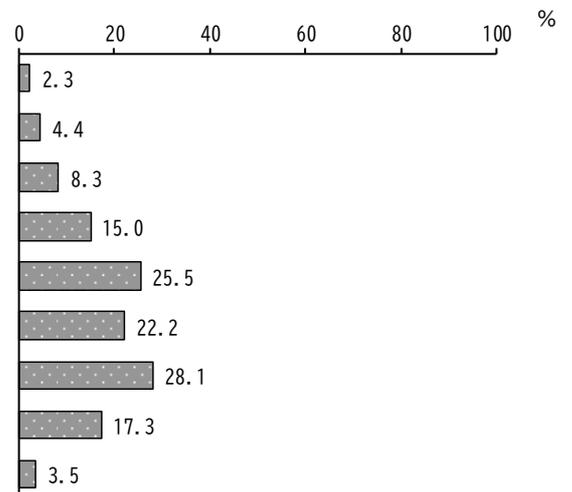


問 15 (問 14 で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。あてはまるものに○をつけてください。(問 14 で「1」～「7」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「70～79歳」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が 25.5%、「60～69歳」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 1,056

18歳未満
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70～79歳
80歳以上
無回答



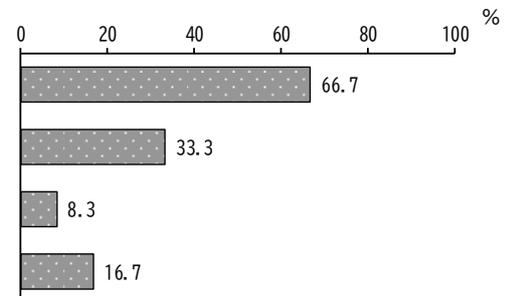
問 16 (問 15 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている 18 歳未満の人 (※) は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 24

家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている
身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている
金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
無回答

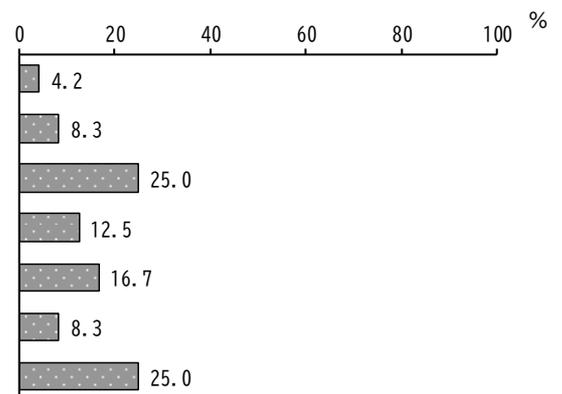


問 17 (問 15 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「週に 2～3 日」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「1 か月に数日」の割合が 16.7%、「週に 4～5 日」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 24

毎日
週に 1 日
週に 2～3 日
週に 4～5 日
1 か月に数日
その他
無回答

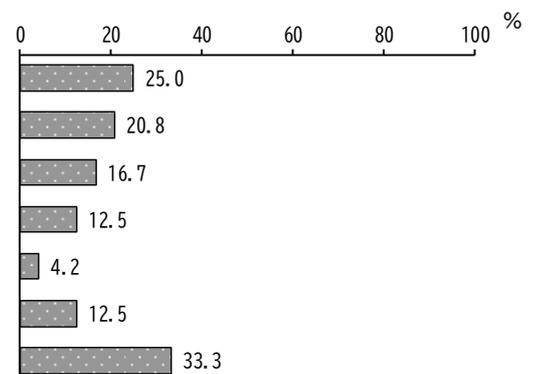


問 18 (問 15 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「親に障がいがあるため」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため」の割合が 20.8%、「(18 歳未満の人からみた) 親が病気であるため」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 24

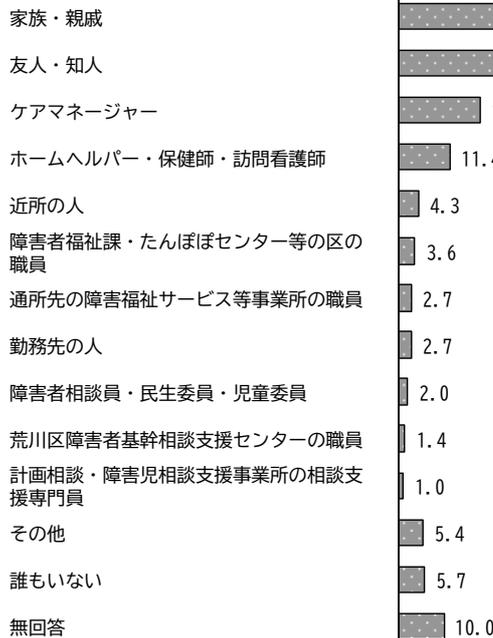
親に障がいがあるため
(18歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため
(18歳未満の人からみた) 親が病気であるため
ひとり親家庭のため
親がきょうだいの面倒をみているため
その他
無回答



問 19 あなたが日常のことや困ったことを相談している人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が70.4%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が23.6%、「ケアマネージャー」の割合が18.1%となっています。

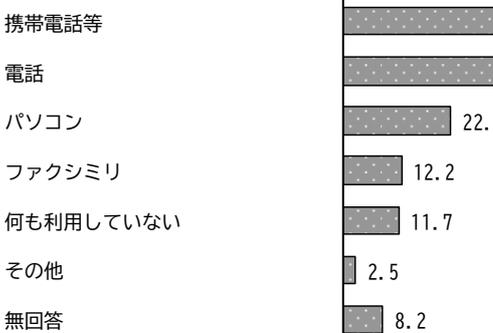
回答者数 = 2,367



問 20 あなたは、日常生活で次のような機器を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「携帯電話等」の割合が66.1%と最も高く、次いで「電話」の割合が49.6%、「パソコン」の割合が22.5%となっています。

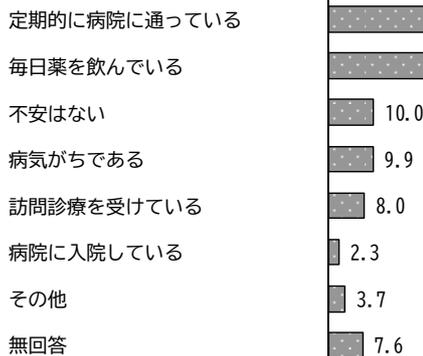
回答者数 = 2,367



問 21 あなたは、病院に通う等、健康に不安がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

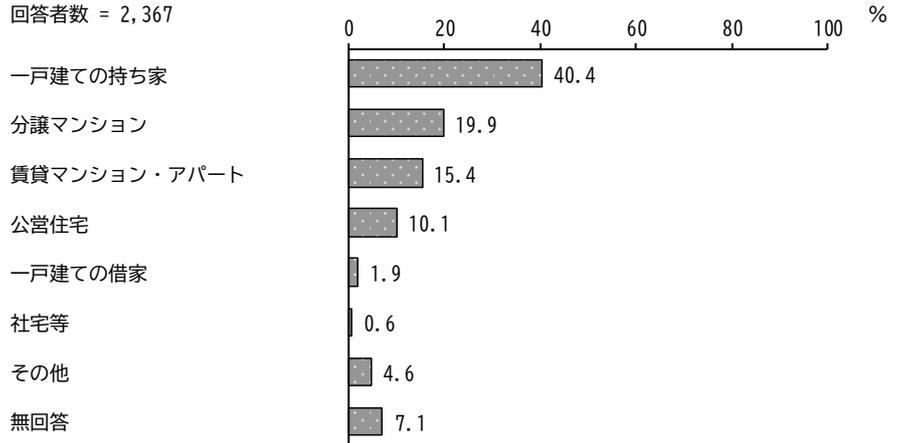
「定期的に病院に通っている」の割合が73.6%と最も高く、次いで「毎日薬を飲んでいる」の割合が68.1%、「不安はない」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 2,367



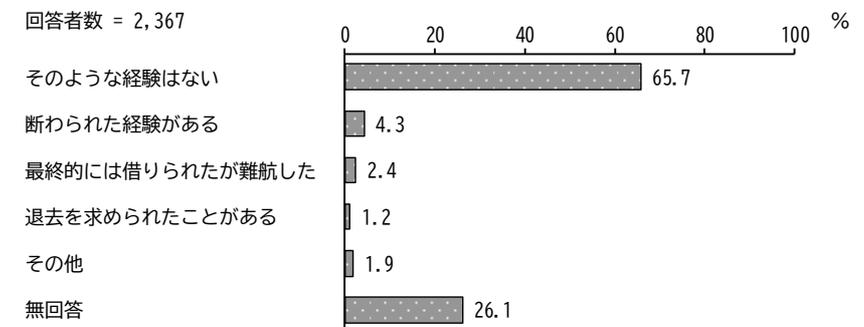
問 22 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

「一戸建ての持ち家」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「分譲マンション」の割合が 19.9%、「賃貸マンション・アパート」の割合が 15.4%となっています。



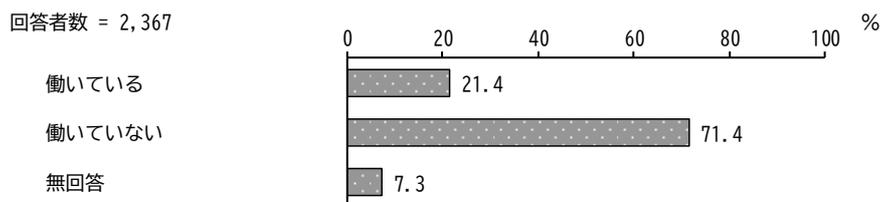
問 23 あなた（または家族の方）がアパートやマンションを借りようとしたとき断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「そのような経験はない」の割合が 65.7%と最も高くなっています。



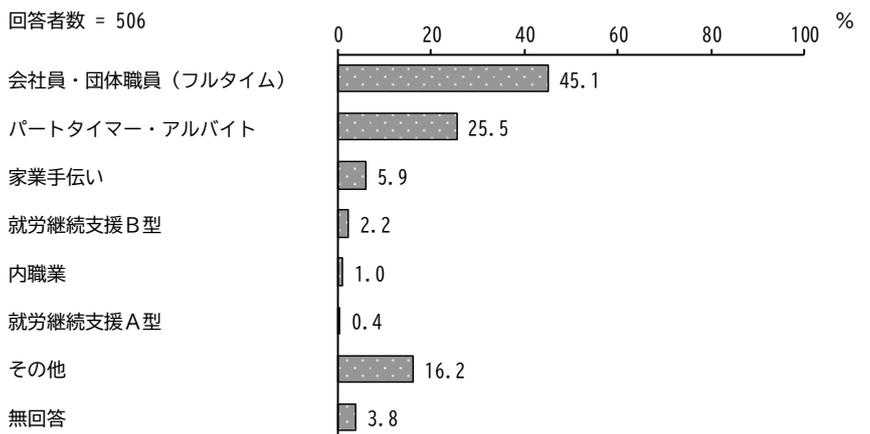
問 24 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

「働いている」の割合が 21.4%、「働いていない」の割合が 71.4%となっています。



問 25 (問 24 で「働いている」に○をつけた方のみお答えください。) それは次のうちのどの仕事ですか。(○は1つ)

「会社員・団体職員(フルタイム)」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト」の割合が 25.5%となっています。

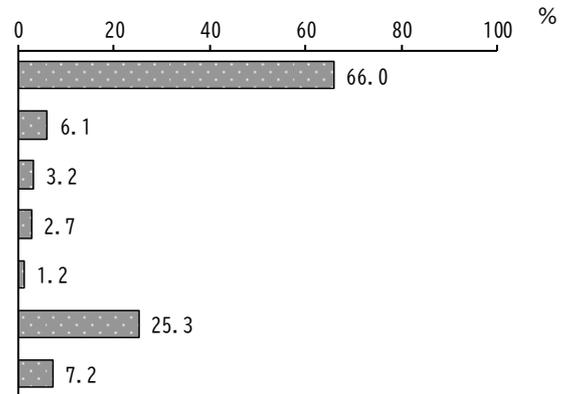


問 26 (問 24 で「働いていない」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「仕事をする年齢ではない」の割合が 66.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,689

- 仕事をする年齢ではない
- 自分に適した職業・職場がない
- 仕事を探したが雇用されない
- 仕事を探している
- 生活訓練・職業訓練中である
- その他
- 無回答

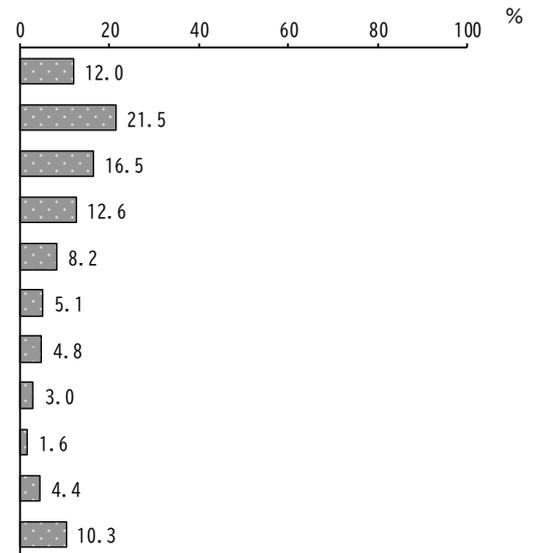


問 27 あなたの令和3年中の年収（賃金・年金・手当等全ての合計）は、税込みでいくらでしたか。(○は1つ)

「年間 50 万円～100 万円未満」の割合が 21.5%と最も高く、次いで「年間 100 万円～150 万円未満」の割合が 16.5%、「年間 150 万円～200 万円未満」の割合が 12.6%となっています。

回答者数 = 2,367

- 年間50万円未満
- 年間50万円～100万円未満
- 年間100万円～150万円未満
- 年間150万円～200万円未満
- 年間200万円～250万円未満
- 年間250万円～300万円未満
- 年間300万円～400万円未満
- 年間400万円～500万円未満
- 年間500万円～600万円未満
- 年間600万円以上
- 無回答

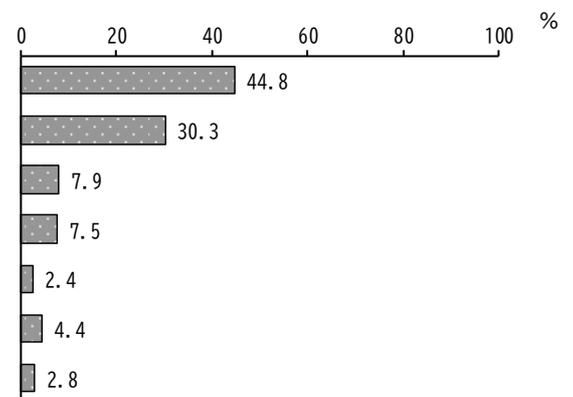


問 28 あなたはどのくらい外出しますか。(通院、散歩等すべての外出) (○は1つ)

「ほぼ毎日」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が 30.3%となっています。

回答者数 = 2,367

- ほぼ毎日
- 週に2～3回
- 週に1回くらい
- 月に1～2回くらい
- 年に数回くらい
- まったく外出しない
- 無回答

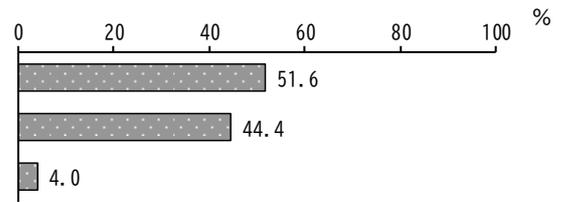


問 29 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。(○は1つ)

「できる」の割合が 51.6%、
「できない」の割合が 44.4%と
なっています。

回答者数 = 2,367

できる
できない
無回答

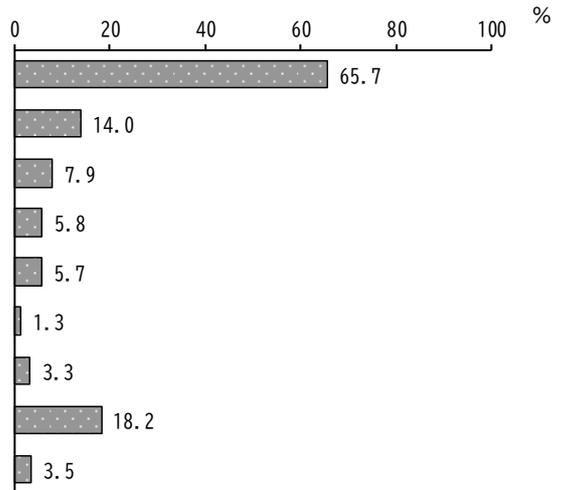


問 30 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください (○はいくつでも)

「家族」の割合が 65.7%と最
も高く、次いで「特にな
い」の割合が 18.2%、「近
所の人」の割合が 14.0%
となっています。

回答者数 = 2,367

家族
近所の人
友人・知人
親戚
福祉サービス事業所等の関係者
訪問看護師
その他
特にな
い
無回答



問 31 身体障がい者に関するサービスの利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～35について各々○は1つ)

『13 デイサービス』で「知っているが利用していない」の割合が、『22 留守番看護師の派遣』で「知らない」の割合が高くなっています。また、『16 福祉タクシー券の支給』で「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
1 ホームヘルプサービス	2367	9.1	3.0	46.7	24.7	16.5
2 ガイドヘルパー派遣事業	2367	1.6	0.8	31.6	46.5	19.5
3 ショートステイ（短期入所）	2367	2.4	4.2	49.6	25.3	18.5
4 計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	2367	10.8	3.6	26.6	39.7	19.3
5 地域移行支援 （入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援）	2367	1.0	1.5	25.9	51.9	19.7
6 地域定着支援 （地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	2367	3.2	1.2	27.4	48.8	19.4
7 児童発達支援	2367	0.3	0.2	17.2	57.0	25.2
8 医療型児童発達支援	2367	0.1	0.1	16.3	58.0	25.4
9 放課後等デイサービス	2367	0.5	0.4	21.5	52.2	25.4
10 保育所等訪問支援	2367	0.3	0.1	16.3	57.6	25.7
11 居宅訪問型児童発達支援	2367	0.1	0.1	15.3	58.7	25.8
12 障害児相談支援（障害児支援利用計画の作成）	2367	0.5	0.3	18.3	54.9	26.0
13 デイサービス	2367	11.7	4.1	51.8	15.6	16.9
14 緊急一時保護	2367	0.3	0.3	23.4	54.2	21.7
15 日中一時支援サービス	2367	0.8	0.5	21.4	54.9	22.4
16 福祉タクシー券の支給	2367	37.1	6.4	24.5	19.3	12.8
17 補装具の交付・修理	2367	12.5	8.5	29.7	30.4	18.9
18 日常生活用具の給付	2367	6.7	4.7	28.7	40.1	19.8
19 住宅設備改善の助成	2367	4.6	9.1	34.3	32.5	19.5
20 紙おむつ等の給付	2367	11.1	2.2	37.8	31.5	17.4

(次のページへ)

II 調査結果 身体障がい者

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
21 対面音訳者の派遣	2367	0.1	0.1	18.6	59.8	21.3
22 留守番看護師の派遣	2367	0.1	0.2	16.6	62.3	20.7
23 手話通訳者の派遣	2367	0.7	0.6	18.3	58.6	21.8
24 寝具乾燥消毒	2367	0.4	0.2	19.0	59.9	20.5
25 巡回入浴サービス・施設入浴	2367	3.8	1.0	47.4	28.9	19.0
26 理美容サービス	2367	2.1	1.3	31.9	45.2	19.4
27 電話料金の補助	2367	3.7	1.1	17.6	59.1	18.5
28 配食サービス	2367	2.1	2.4	32.2	46.9	16.5
29 避難行動要支援者登録事業 (避難行動要支援者個別支援計画等)	2367	3.0	0.9	25.8	51.6	18.6
30 緊急通報システムの設置	2367	4.7	0.9	25.3	51.0	18.0
31 補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)利用	2367	0.1	0.2	41.6	37.3	20.8
32 就学相談・教育相談	2367	0.3	0.9	23.4	51.5	23.9
33 成年後見人制度	2367	0.5	0.3	36.8	40.3	22.1
34 地域福祉権利擁護事業(あんしんサポート)	2367	1.4	0.8	24.9	52.5	20.4
35 コミュニティバス乗車券支給	2367	9.8	4.0	24.9	44.3	17.0

問 32 身体障がい者に関する施設の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～14について各々○は1つ)

『9 荒川区保健所』で「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

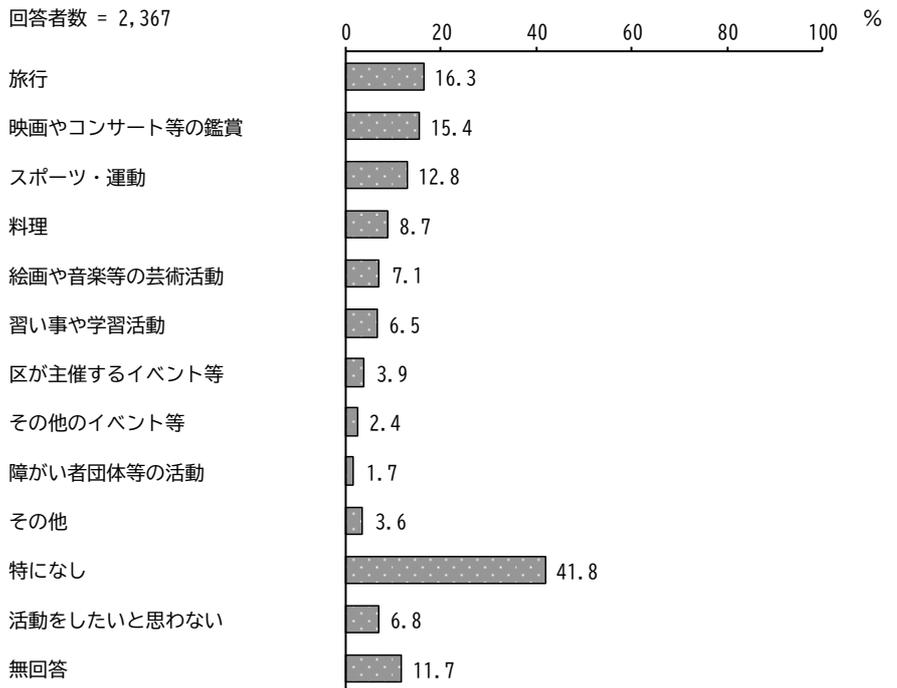
単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	無回答
1 アクロスあらかわ(障害者福祉会館)	2367	2.4	4.4	28.3	48.3	16.6
2 たんぽぽセンターの療育訓練	2367	0.6	2.8	21.8	56.8	18.0
3 荒川福祉作業所、荒川生活実習所	2367	0.2	0.4	24.9	56.2	18.3
4 希望の家(本所・分場)	2367	0.3	0.2	21.1	60.0	18.4
5 荒川区障害者基幹相談支援センター	2367	0.3	0.8	20.0	60.9	18.1
6 作業所(就労継続支援、就労移行支援事業所)	2367	0.6	0.5	20.7	59.4	18.8
7 グループホーム	2367	0.7	0.3	27.8	52.9	18.3
8 じょぶあらかわ(障害者就労支援センター)	2367	0.5	1.2	17.4	61.5	19.4
9 荒川区保健所	2367	1.6	13.6	46.1	20.3	18.3
10 東京都心身障害者福祉センター	2367	0.7	3.7	27.4	49.5	18.7
11 東京都障害者総合スポーツセンター	2367	0.7	3.9	24.5	51.8	19.0
12 ハローワーク足立(足立公共職業安定所)	2367	0.6	10.0	33.9	36.6	18.9
13 東京都障害者休養ホーム	2367	0.1	0.8	15.5	64.9	18.7
14 荒川区子ども家庭総合センター	2367	0.2	0.3	16.6	63.0	19.9

問 33 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「特になし」の割合が41.8%と最も高く、次いで「旅行」の割合が16.3%、「映画やコンサート等の鑑賞」の割合が15.4%となっています。

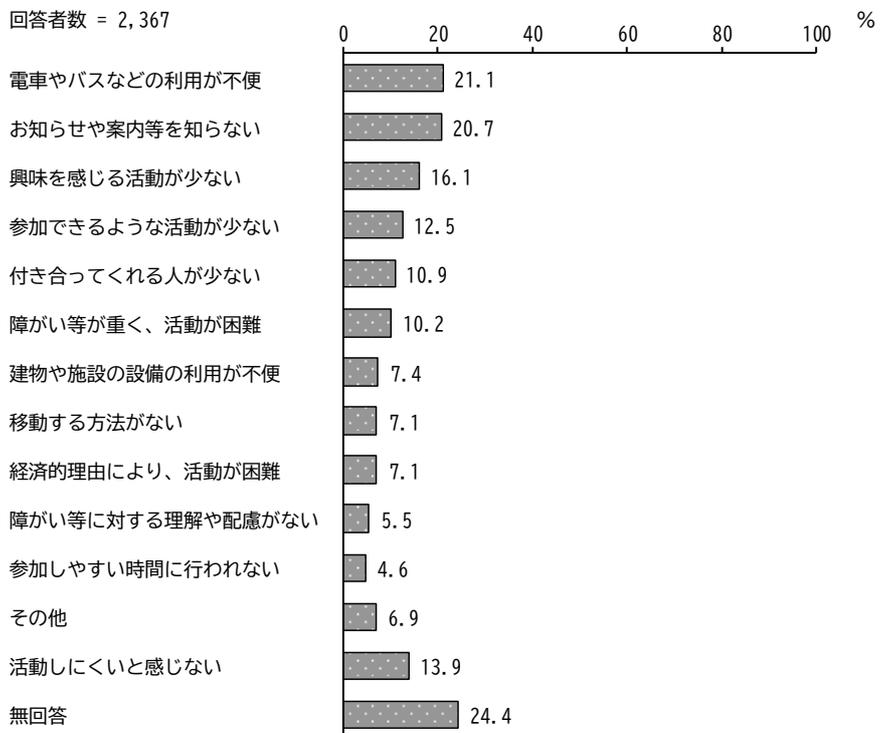
回答者数 = 2,367



問 34 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「電車やバスなどの利用が不便」の割合が21.1%と最も高く、次いで「お知らせや案内等を知らない」の割合が20.7%、「興味を感じる活動が少ない」の割合が16.1%となっています。

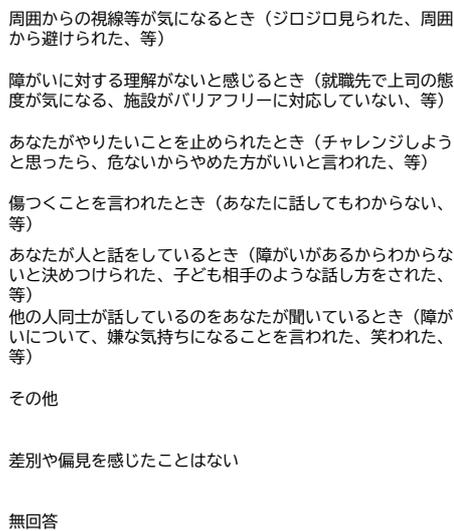
回答者数 = 2,367



問 35 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。)(○はいくつでも) また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が 48.9%と最も高くなっています。

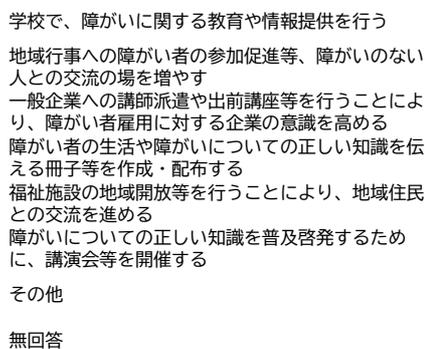
回答者数 = 2,367



問 36 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が 22.8%、「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が 19.0%と高くなっています。

回答者数 = 2,367



6 身体障がい者（施設入所者）調査の結果

※有効回答数は11件となっています。

問1 この調査票を記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

「本人」、「家族以外の介助者」が3件、「家族」が2件となっています。

問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

「男性」が8件、「女性」が3件となっています。

問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「65歳以上」が5件、「60～64歳」が4件、「50～59歳」が2件となっています。

問4 あなたの「身体障害者手帳」に記載されている障がいの程度は、総合等級の何級ですか。（○は1つ）

「1級」が6件、「2級」が2件、「4級」「5級」「6級」が1件となっています。

問5 あなたの身体障がいの部位・症状はどれですか。あてはまるものがあればすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「下肢機能」が7件、「上肢機能」が5件、「音声・言語」が4件、「視覚」が3件、「平衡機能」「呼吸機能」「膀胱・直腸機能」が1件となっています。

問6 あなたの身体障がいの部位・症状のなかで主なものを1つお答えください。（あてはまる番号を1つご記入ください。）

「下肢機能」が4件、「視覚」が3件、「上肢機能」「呼吸機能」が1件となっています。

問7 あなたが利用しているのは、どの施設ですか。（○は1つ）

「入所施設」が9件、「療養介護施設（病院）」が1件となっています。

問8 あなたがその施設を利用している年数は、どのくらいですか。（〇は1つ）

「13年以上」が6件、「1年未満」が2件、「1年以上3年未満」「5年以上7年未満」が1件となっています。

問9 あなたが日中帯に利用しているのは、どのサービスですか。（〇は1つ）

「生活介護」が8件、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が2件となっています。

問10 あなたが日中帯のサービスを利用している年数は、どのくらいですか。

「13年以上」が4件、「1年未満」、「1年以上3年未満」、「5年以上7年未満」が2件となっています。

問11 あなたが施設入所前に一緒に暮らしていた家族構成をお答えください。

「一人暮らし」が6件、「あなたと親」が3件となっています。

問12 あなたが施設入所前に暮らしていた住居形態をお答えください。（〇は1つ）

「持ち家（一戸建て、マンション等）」が4件、「民間の借家（一戸建て、マンション、アパート等）」が2件、「社宅等」「間借り（下宿等）」が1件となっています。

問13 あなたが施設入所前に暮らしていた住居で困っていたことはありましたか。

「玄関、家の中に段差や階段がある」、「トイレや風呂が使いにくい」、「ドアの開閉が困難（取手がかみにくい等）」が2件、「廊下が狭い」「廊下や階段に手すりがない」「台所が使いにくい」「スイッチやコンセントが使いにくい」「集合住宅の共用部分に階段や段差がある」が1件となっています。

問14 あなたが施設入所前に過ごしていた場所をお答えください。（〇は1つ）

「施設や学校に通わず自宅にいた」が4件、「自宅からデイサービスや通所施設等に通っていた」、「病院に入院していた」が2件となっています。

問 15 あなたの施設入所を決めた方は誰ですか。（○は1つ）

「あなた」が3件、「あなた以外の方」が6件となっています。

問 16 あなたが施設入所を決めた理由は何ですか。（○はいくつでも）

「家族による介助が困難」が4件、「家族に勧められた（又は家族が決めた）」、「住む場所がない」が3件、「施設は生活が保障されている」が2件、「心身機能の低下が著しく進んだため」「将来が不安」が1件となっています。

問 17 施設では安心して生活できていますか。（○は1つ）

「はい」が9件、「わからない」が1件となっています。

問 18 施設では、利用者のプライバシーは守られていると思いますか。（○は1つ）

「はい」が9件、「わからない」が1件となっています。

問 19 施設の職員の対応は丁寧ですか。（○は1つ）

「はい」が7件、「どちらともいえない」が2件、「わからない」が1件となっています。

問 20 施設に対する不満や要望を施設に言いやすいですか。（○は1つ）

「はい」が6件、「どちらともいえない」が1件、「わからない」が2件となっています。

問 21 施設の職員はあなたの不満や要望に対してきちんと対応していますか。

「はい」が8件、「どちらともいえない」が1件、「わからない」が1件となっています。

問 22 施設の設備は安心して使えますか。（○は1つ）

「はい」が9件となっています。

問 23 あなたが施設での生活のなかで楽しみにしていることは何ですか。

「食事」が5件、「入浴」、「文化・芸術・余暇活動等」が3件、「外出時間」「職員や仲間と話す時間」「わからない」が2件、「自由時間」が1件となっています。

問 24 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「散歩等の外での活動」が4件、「スポーツ・運動」が3件、「絵画や音楽等の芸術活動」、「習い事や学習活動」「上記以外で施設が主催するイベント等」が2件となっています。

問 25 施設では、あなたの希望に沿った文化・芸術・余暇活動等は行えていますか。（○は1つ）

「はい」が5件、「いいえ」、「どちらともいえない」が2件、「わからない」が1件となっています。

問 26 今後生活したい場所はどこですか。（○は1つ）

「現在の施設」が6件、「施設を出て地域で暮らしたい」が2件、「わからない」が1件となっています。

問 27 （問 26 で「1 現在の施設」か「2 別の施設」を選択した方にお聞きします。）施設での生活を希望される理由は何ですか。（○はいくつでも）

「健康面等で不安があるため」が4件となっています。「施設を出た後で援助してくれる者がいないため」が3件、「十分な在宅サービスがないため」、「周囲の理解や家族の理解が得られないため」が1件となっています。

問 28 （問 26 で「3 施設を出て地域で暮らしたい」を選択された方にお聞きします。）施設を退所した後に生活したい場所はどこですか。（○は1つ）

「自宅に帰って生活したい」、「グループホーム等で少人数の共同生活をしたい」が1件となっています。

問 29 （問 26 で「3 施設を出て地域で暮らしたい」を選択された方にお聞きします。）施設退所後に希望する生活についてお答えください。（○は1つ）

「働いて自立した生活をしたい」が1件となっています。

問 30 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。）（○はいくつでも）

「あなたが人と話をしているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等）」、「周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等）」が3件、「他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等）」、「差別や偏見を感じたことはない」が2件、「あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等）」「傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等）」が1件となっています。

問 31 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」が6件、「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」、「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」が4件、「福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める」「障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する」「障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する」が3件となっています。

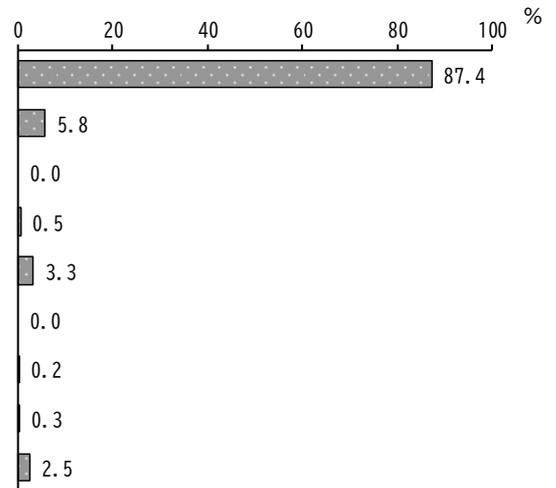
7 難病罹患者調査の結果

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が87.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 633

- 本人
- 配偶者
- 父
- 母
- 子（配偶者の子を含む）
- 兄弟姉妹
- その他の親族
- その他
- 無回答

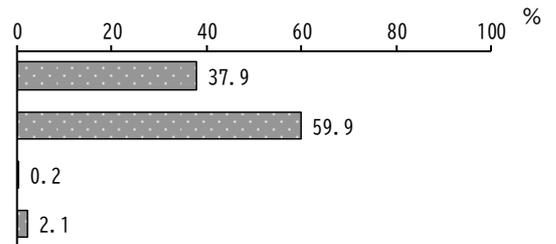


問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「女性」の割合が59.9%と最も高く、次いで「男性」の割合が37.9%となっています。

回答者数 = 633

- 男性
- 女性
- 回答しない
- 無回答

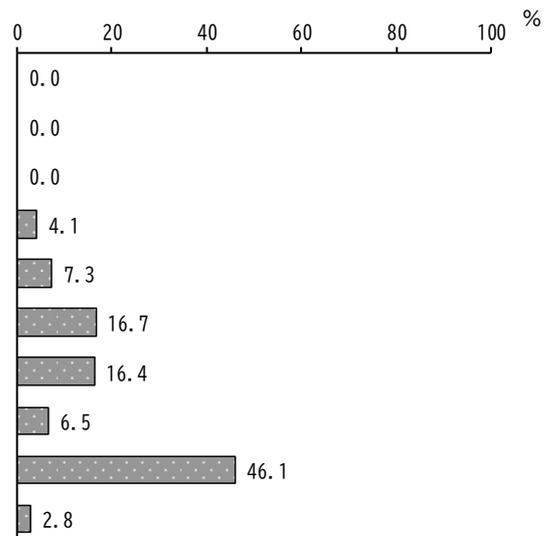


問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「65歳以上」の割合が46.1%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が16.7%、「50～59歳」の割合が16.4%となっています。

回答者数 = 633

- 0～5歳
- 6歳～14歳
- 15～17歳
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65歳以上
- 無回答



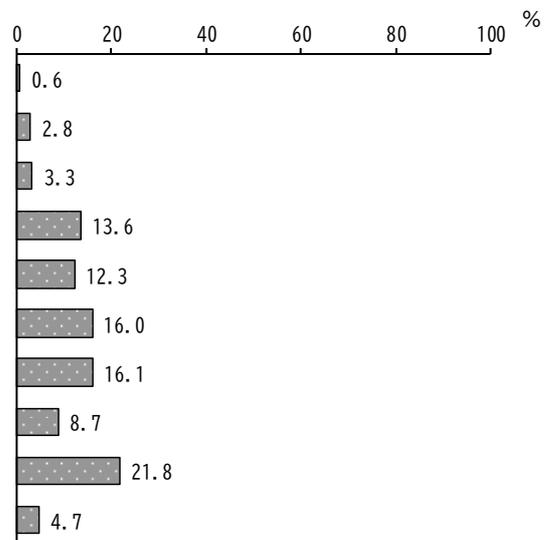
問4 あなたの難病医療費等助成制度の医療券もしくは診断書に記載されているご病名をお書きください。

主な病名	件数
潰瘍性大腸炎	79
パーキンソン病	70
全身性エリテマトーデス	33
クローン病	25
重症筋無力症	21
全身性強皮症	19
好酸球性副鼻腔炎	14
原発性胆汁性胆管炎	12
シェーグレン症候群	11
その他	213

問5 あなたが、問4で回答された病気になった（または病気であることを知った）のは何歳ごろですか。

「65歳以上」の割合が21.8% 回答者数 = 633
 と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が16.1%、「40～49歳」の割合が16.0%となっています。

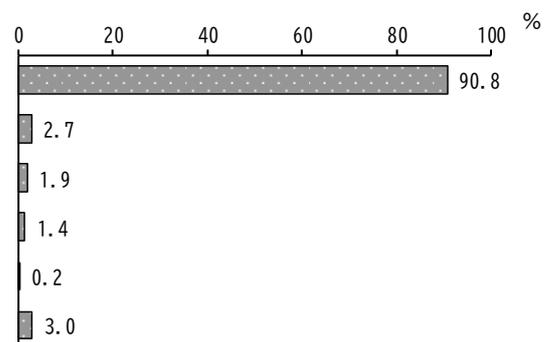
- 0～5歳
- 6歳～14歳
- 15～17歳
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65歳以上
- 無回答



問6 問4で回答された病気について、現在も継続的に医師の診察を受けていますか。(〇は1つ)

「通院している」の割合が90.8%と最も高くなっています。

- 通院している
- 往診してもらっている
- 通院と往診の両方をしている
- 入院している
- 診察を受けていない
- 無回答

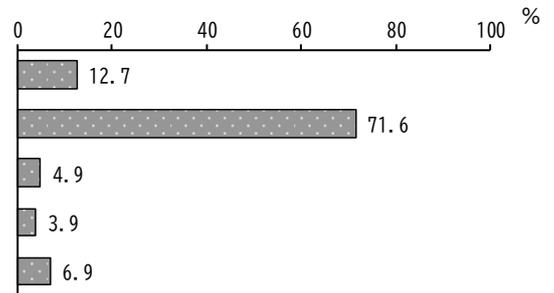


問7 (問6で「1 入院している」から「4 通院と往診の両方をしている」○をつけた方のみお答えください。) 問4で回答された病気のために診察を受けている医療機関はどこにありますか。(○は1つ)

「荒川区以外の都内区部」の割合が71.6%と最も高く、次いで「荒川区内」の割合が12.7%となっています。

回答者数 = 613

- 荒川区内
- 荒川区以外の都内区部
- 区部を除く都内
- 都外
- 無回答

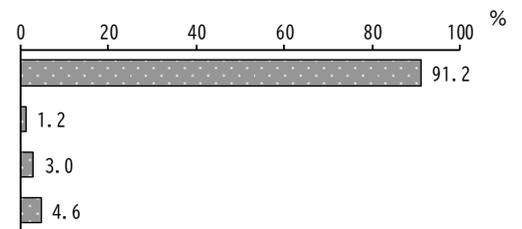


問8 (問6で「2 往診してもらっている」から「4 通院と往診の両方をしている」に○をつけた方のみお答えください。) 診療の頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

「()月に()回程度」の割合が91.2%と最も高くなっており、その中でも、2月に1回程度の回答が最も多くなっています。

回答者数 = 604

- ()月に()回程度
- 年に1回程度
- その他
- 無回答



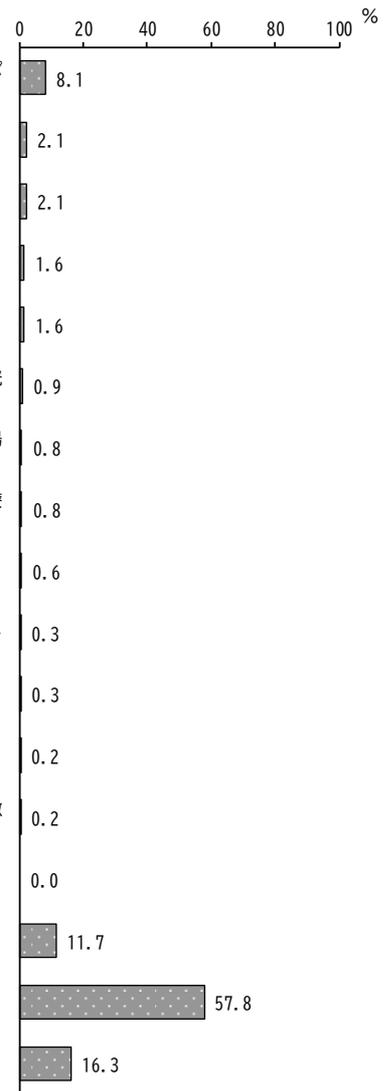
1月に1回程度	140件
1月に1.5回程度	5件
1月に2回程度	25件
1月に2.5回程度	1件
1月に3回程度	2件
1月に15回程度	1件
1.5月に1回程度	10件
2月に1回程度	213件
2月に1.5回程度	2件
2.5月に1回程度	12件
3月に1回程度	114件
3月に1.5回程度	1件
3月に2回程度	3件
3.5月に1回程度	1件
4月に1回程度	2件
4.5月に1回程度	2件
6月に1回程度	8件
10月に2回程度	1件
12月に2回程度	1件

問9 あなたが、現在必要とする医療的ケアはありますか。(〇はいくつでも)

「現在必要とする医療的ケアはない」の割合が57.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 633

- 皮下注射（インスリン、薬等の注射を含む、持続皮下注射ポンプの使用）
- 酸素療法
- 血糖管理測定（持続血糖測定器による血糖測定を含む。）、埋め込み式血糖測定器による血糖測定
- 吸引（口鼻腔内又は気管内吸引に限る。）
- 排便管理（消化管ストーマ、摘便、洗腸、浣腸）
- 導尿（間欠的導尿、持続的導尿（尿道留置カテーテル、膀胱ろう、腎ろう、尿路ストーマ））
- 経管栄養（経鼻胃管、胃ろう、経鼻腸管、経胃ろう腸管、腸ろう、食道ろう、持続経管注入ポンプ使用）
- 中心静脈カテーテルの管理（中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬等）
- ネブライザーの管理
- 人工呼吸器（鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置及び高頻度胸壁振動装置を含む。）の管理
- 鼻咽頭エアウェイの管理
- 気管切開の管理
- 痙攣時における座薬挿入、吸引、酸素投与又は迷走神経刺激装置の作動等の処置
- 継続的な透析（血液透析、腹膜透析）
- その他
- 現在必要とする医療的ケアはない
- 無回答

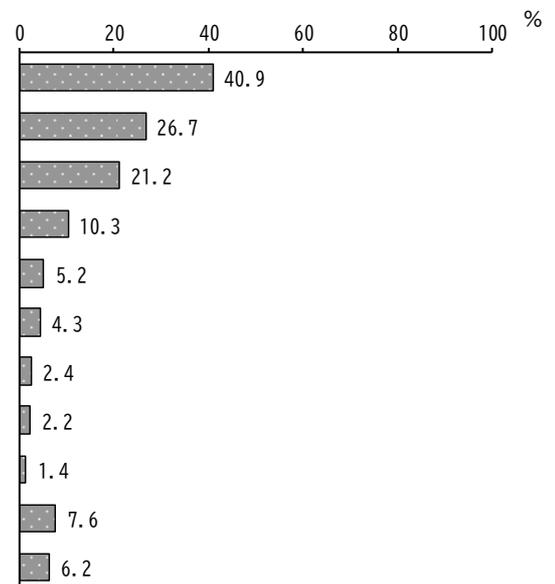


問10 あなたは、医療や健康管理について、困ったり不便に思ったことはありますか。(〇はいくつでも)

「特に困ったことはない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「医療費の負担が大きい」の割合が26.7%、「専門的な治療を行っている医療機関が近くにない」の割合が21.2%となっています。

回答者数 = 633

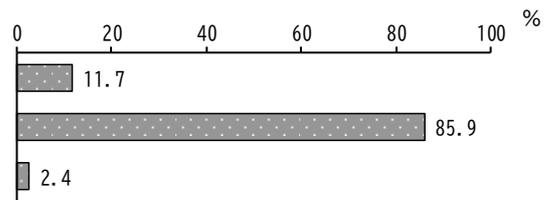
- 特に困ったことはない
- 医療費の負担が大きい
- 専門的な治療を行っている医療機関が近くにない
- 近所に診察してくれる医師がいない
- 往診を頼める医師がいない
- 通院する時に付き添ってくれる人がいない
- 受診にあたっての手続きや案内等の配慮が不十分
- 歯科診療を受けられない
- 定期的な健康診断を受けられない
- その他
- 無回答



問11 介護保険サービス（訪問介護・通所介護等）を利用していますか。（○は1つ）

「利用している」の割合が11.7%、「利用していない」の割合が85.9%となっています。

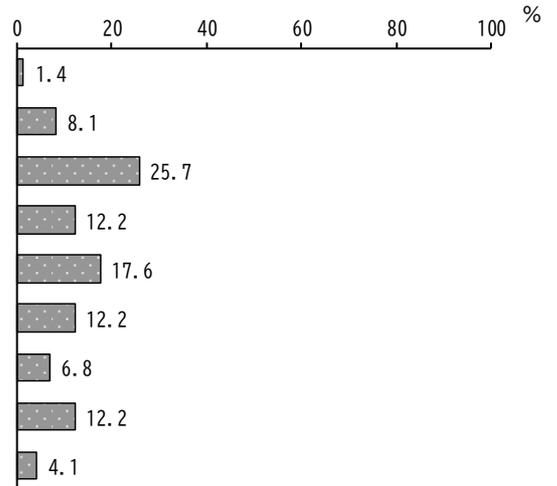
回答者数 = 633
 利用している
 利用していない
 無回答



問12 （問11で「1 利用している」に○をつけた方のみお答えください。）該当する要介護度に○をつけてください。（○は1つ）

「要支援2」の割合が25.7%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が17.6%、「要介護1」、「要介護3」の割合が12.2%となっています。

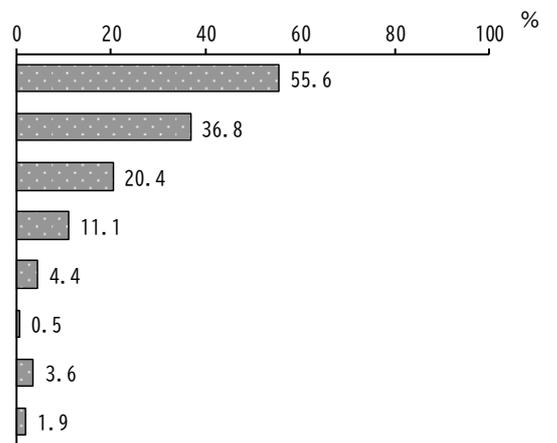
回答者数 = 74
 非該当
 要支援1
 要支援2
 要介護1
 要介護2
 要介護3
 要介護4
 要介護5
 無回答



問13 あなたは、現在、どなたかと一緒に生活していますか。（○はいくつでも）

「配偶者」の割合が55.6%と最も高く、次いで「子供（その配偶者も含む）」の割合が36.8%、「一人暮らし」の割合が20.4%となっています。

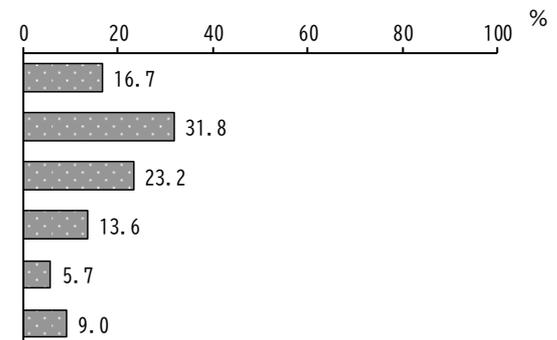
回答者数 = 633
 配偶者
 子供（その配偶者も含む）
 一人暮らし
 親（父・母）
 兄弟姉妹
 祖父・祖母
 その他
 無回答



問14 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。（○は1つ）

「2人」の割合が31.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が23.2%、「1人」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 633
 1人
 2人
 3人
 4人
 5人以上
 無回答



問 15 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。

「全部に手助けが必要」で『10 布団を干すこと』『13 病院に行くこと』『14 近所に日常の買い物に行くこと』『15 バス・都電・電車を利用すること』の割合が高くなっています。

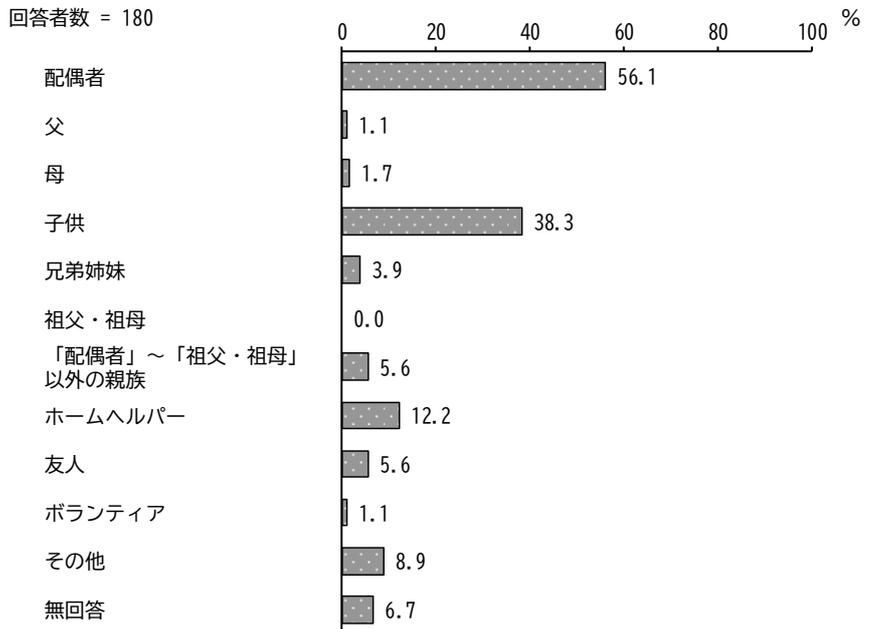
「一部に手助けが必要」で『8 室内の掃除・整理整頓をすること』『10 布団を干すこと』の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分で できる	一部に 手助けが 必要	全部に 手助けが 必要	無 回 答
1 歩くこと	633	85.6	8.4	3.8	2.2
2 食事をする	633	92.6	2.7	2.1	2.7
3 食事の支度や後片付けをする	633	83.1	8.5	5.8	2.5
4 シャツを着たり、ズボンやスカートをはく	633	89.1	6.2	2.7	2.1
5 トイレで用を足し、後始末をする	633	92.3	3.5	2.4	1.9
6 入浴し、身体や髪を洗う	633	89.6	4.6	4.1	1.7
7 歯磨き・洗顔等をする	633	92.9	2.1	3.0	2.1
8 室内の掃除・整理整頓をする	633	79.0	13.3	5.8	1.9
9 洗濯をし、干し、たたむ	633	81.4	9.3	6.8	2.5
10 布団を干す	633	75.2	10.3	11.7	2.8
11 電話を受けたり、かけたり	633	90.0	3.9	4.1	1.9
12 規則的な服薬をする	633	90.2	3.6	3.9	2.2
13 病院に行く	633	80.1	9.8	8.1	2.1
14 近所に日常の買い物に行く	633	80.1	8.7	9.0	2.2
15 バス・都電・電車を利用	633	81.0	8.2	8.4	2.4

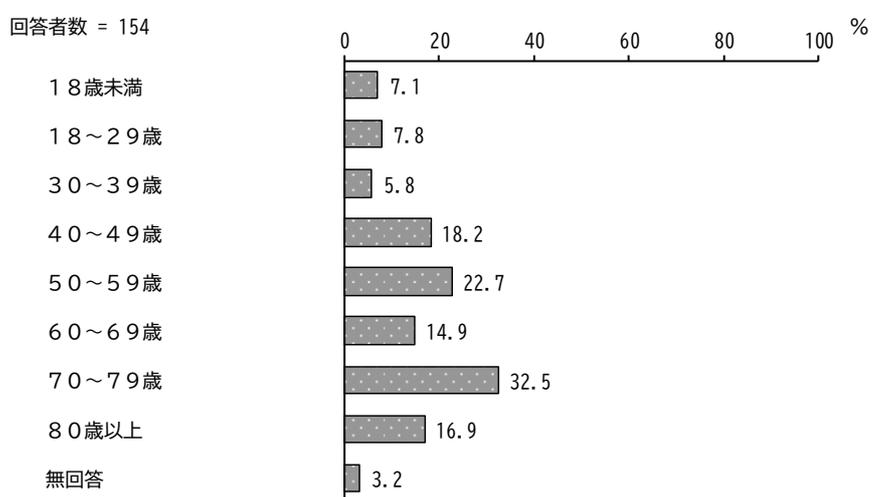
問 16 (問 15 で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「子供」の割合が 38.3%、「ホームヘルパー」の割合が 12.2%となっています。



問 17 (問 16 で「1 配偶者」～「7 「配偶者」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。(問 16 で「1」～「7」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「70～79歳」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が 22.7%、「40～49歳」の割合が 18.2%となっています。



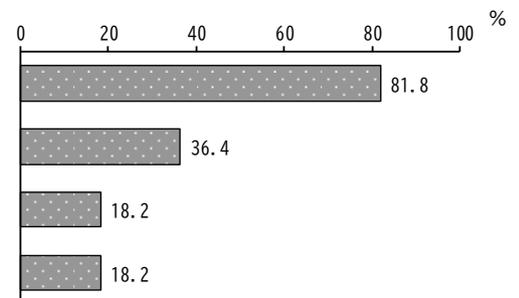
問 18 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている 18 歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている」の割合が 36.4%、「身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている」の割合が 18.2%となっています。

回答者数 = 11

家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている
 金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている
 身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている
 無回答

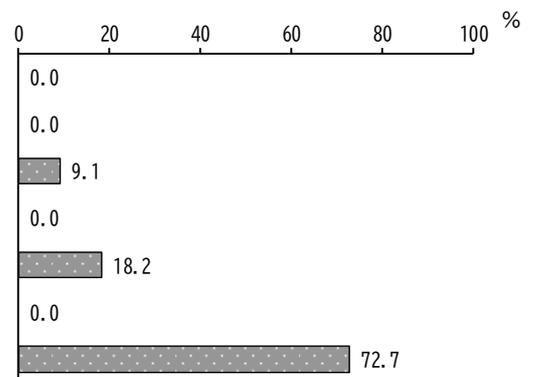


問 19 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「1か月に数日」の割合が 18.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 11

毎日
 週に1日
 週に2~3日
 週に4~5日
 1か月に数日
 その他
 無回答

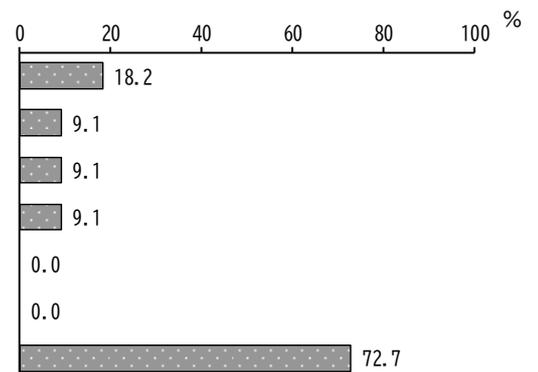


問 20 (問 17 で「ア 18 歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18 歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「(18 歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため」の割合が 18.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 11

(18歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため
 (18歳未満の人からみた) 親が病気であるため
 ひとり親家庭のため
 親に障がいがあるため
 親がきょうだいの面倒をみているため
 その他
 無回答

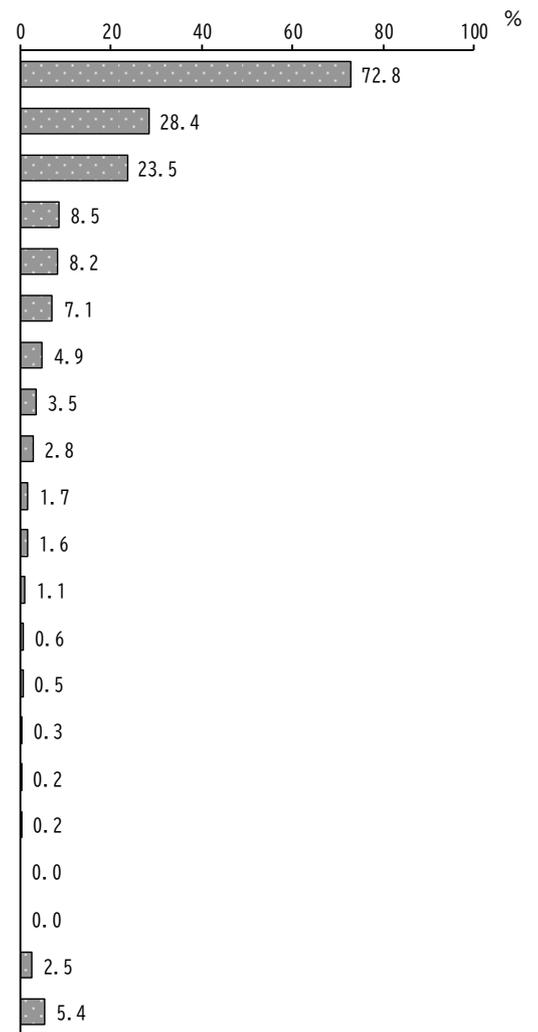


問 21 日常のことで、現在あなたが相談している人はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「家族・親戚」の割合が72.8%と最も高く、次いで「病院・診療所の医師・看護師等」の割合が28.4%、「友人・知人」の割合が23.5%となっています。

回答者数 = 633

家族・親戚	72.8
病院・診療所の医師・看護師等	28.4
友人・知人	23.5
誰もいない	8.5
ケアマネージャー	8.2
職場の人	7.1
地域包括支援センターの職員	4.9
訪問看護ステーションの看護師	3.5
近所の人	2.8
ホームヘルパー	1.7
障害者福祉課の職員	1.6
生活福祉課の職員	1.1
民生委員・児童委員	0.6
高齢者福祉課の職員	0.5
計画相談支援事業所の相談支援専門員	0.3
学校の先生	0.2
荒川区基幹相談支援センターの職員	0.2
保健所の保健師	0.0
子ども家庭総合センターの職員	0.0
その他	2.5
無回答	5.4

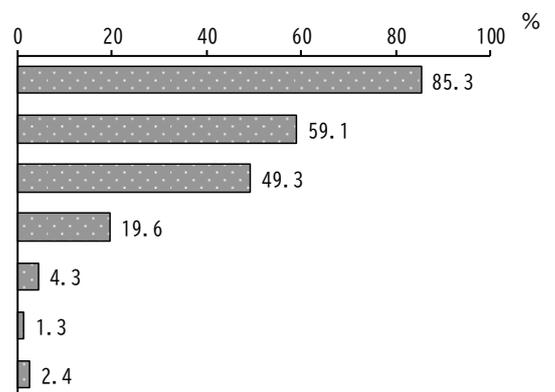


問 22 あなたは、日常生活で次のような機器を利用していますか。(○はいくつでも)

「携帯電話等」の割合が85.3%と最も高く、次いで「電話」の割合が59.1%、「パソコン」の割合が49.3%となっています。

回答者数 = 633

携帯電話等	85.3
電話	59.1
パソコン	49.3
ファクシミリ	19.6
何も利用していない	4.3
その他	1.3
無回答	2.4

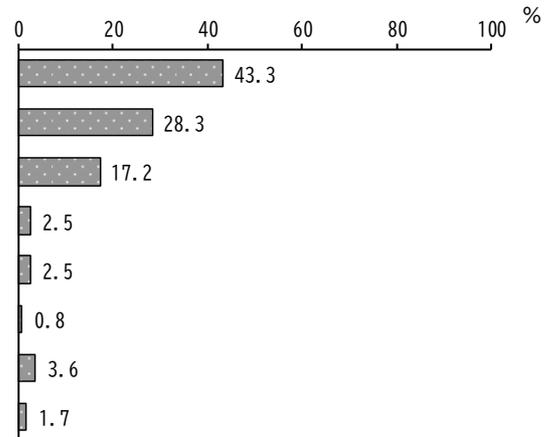


問23 あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまるもの○をつけてください。
(○は1つ)

「一戸建ての持ち家」の割合が43.3%と最も高く、次いで「分譲マンション」の割合が28.3%、「賃貸マンション・アパート」の割合が17.2%となっています。

回答者数 = 633

- 一戸建ての持ち家
- 分譲マンション
- 賃貸マンション・アパート
- 一戸建ての借家
- 公営住宅
- 社宅等
- その他
- 無回答

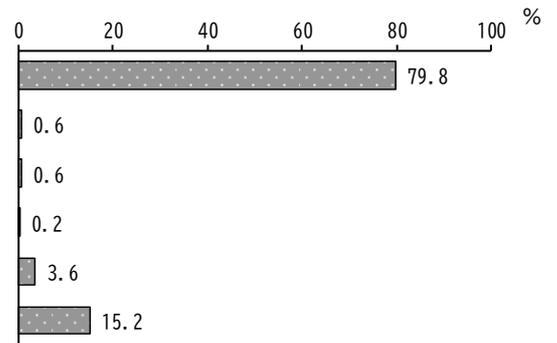


問24 あなた（または家族の方）がアパートやマンションを借りようとしたとき、難病を理由に断られたことがありますか。（○はいくつでも）

「そのような経験はない」の割合が79.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 633

- そのような経験はない
- 断われた経験がある
- 最終的には借りられたが難航した
- 退去を求められたことがある
- その他
- 無回答

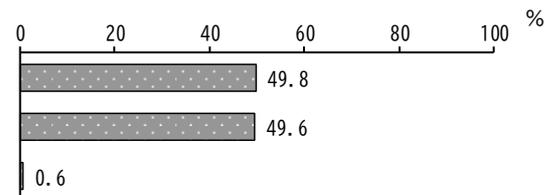


問25 あなたは、現在、働いていますか。（○は1つ）

「働いている」の割合が49.8%、「働いていない」の割合が49.6%となっています。

回答者数 = 633

- 働いている
- 働いていない
- 無回答

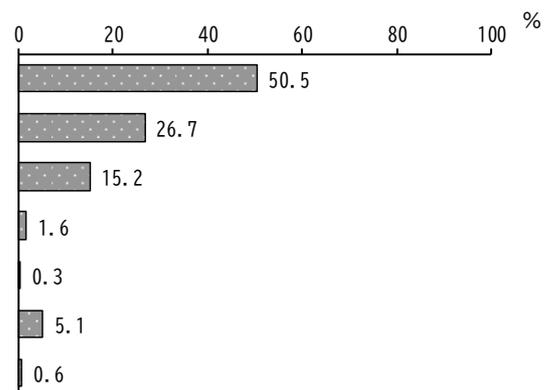


問26 （問25で「1 働いている」に○をつけた方のみお答えください。）それは次のうちのどの仕事ですか。（○は1つ）

「会社員・団体職員（フルタイム）」の割合が50.5%と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト」の割合が26.7%、「自営業」の割合が15.2%となっています。

回答者数 = 315

- 会社員・団体職員（フルタイム）
- パートタイマー・アルバイト
- 自営業
- 家業手伝い
- 内職業
- その他
- 無回答

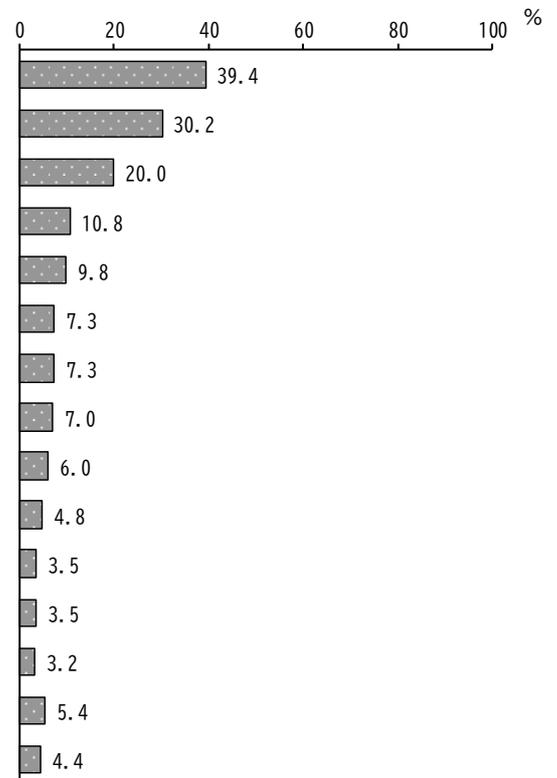


問 27 (問 25 で「1 働いている」に○をつけた方のみお答えください。) 仕事をする上で困っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「特に困っていることはない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「給料が少ない」の割合が 30.2%、「仕事がきつい」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 315

- 特に困っていることはない
- 給料が少ない
- 仕事がきつい
- 職場の人間関係が難しい
- 病気への理解がない
- 仕事が少ない
- 相談相手がいない
- 昇給や昇進が平等でない
- 職場での身分が不安定
- 自分に合った内容の仕事がない
- 仕事が難しい
- トイレ等の設備が使いにくい
- 通勤が困難
- その他
- 無回答

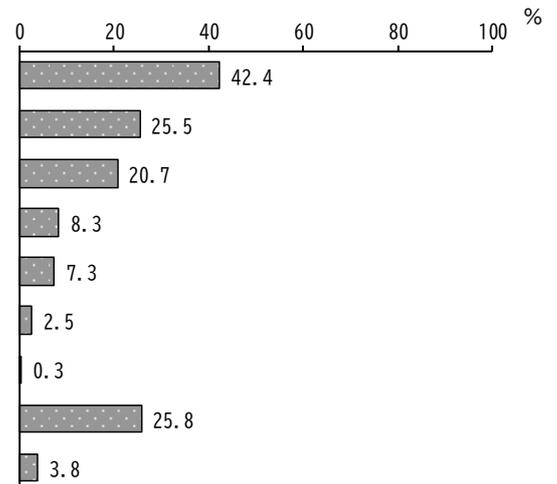


問 28 (問 25 で「2 働いていない」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが働いていないのは、どのような理由ですか。(○はいくつでも)

「仕事をする年齢ではない」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「長時間の勤務が難しい」の割合が 25.5%、「働く必要がない」の割合が 20.7%となっています。

回答者数 = 314

- 仕事をする年齢ではない
- 長時間の勤務が難しい
- 働く必要がない
- 自分に適した職業・職場がない
- 仕事を探している
- 仕事を探したが雇用されない
- 生活訓練・職業訓練中である
- その他
- 無回答

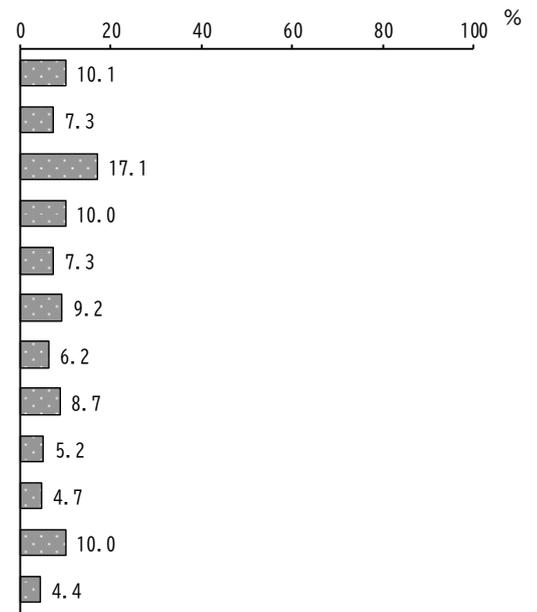


問 29 あなたの令和3年中の年収（賃金・年金・手当等全ての合計）は、税込みでいくらでしたか。（〇は1つ）

「年間 50 万円～100 万円未満」の割合が 17.1%と最も高く、次いで「収入はない」の割合が 10.1%、「年間 100 万円～150 万円未満」、「年間 600 万円以上」の割合が 10.0%となっています。

回答者数 = 633

- 収入はない
- 年間50万円未満
- 年間50万円～100 万円未満
- 年間100 万円～150 万円未満
- 年間150 万円～200 万円未満
- 年間200 万円～250 万円未満
- 年間250 万円～300 万円未満
- 年間300 万円～400 万円未満
- 年間400 万円～500 万円未満
- 年間500 万円～600 万円未満
- 年間600 万円以上
- 無回答

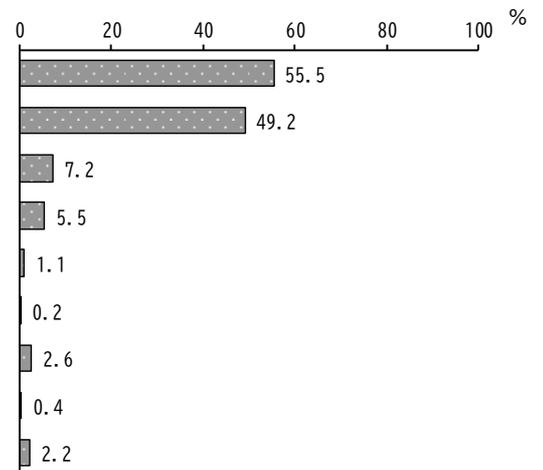


問 30 （問 29 で「2 年間 50 万円未満」～「11 年間 600 万円以上」に〇をつけた方のみお答えください）あなたの収入の種類はどれですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。（〇はいくつでも）

「年金」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「働いて得た収入（給料・工賃・事業収入）」の割合が 49.2%となっています。

回答者数 = 541

- 年金
- 働いて得た収入（給料・工賃・事業収入）
- 手当
- 財産収入（地代・家賃・使用料等の収入）
- 生活保護
- 別居家族からの支援
- その他
- 世帯の収入（18歳未満の方の場合）
- 無回答

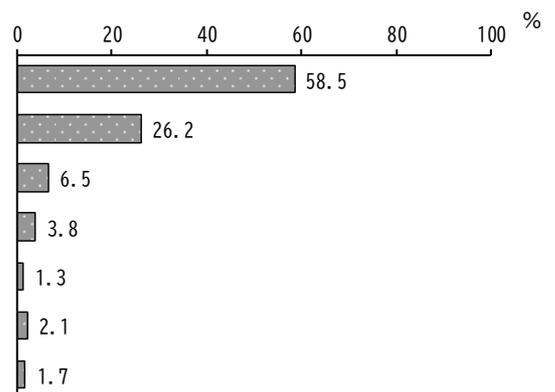


問 31 あなたはどのくらい外出しますか。（通院、散歩等すべての外出）（〇は1つ）

「ほぼ毎日」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が 26.2%となっています。

回答者数 = 633

- ほぼ毎日
- 週に2～3回
- 週に1回くらい
- 月に1～2回くらい
- 年に数回くらい
- まったく外出しない
- 無回答

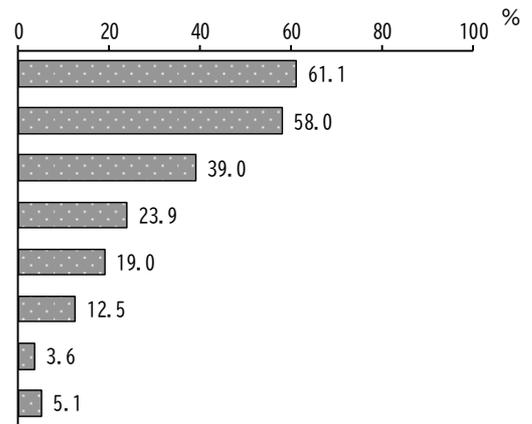


問 32 あなたがよく利用する外出の方法は何ですか (○は3つ)

「電車・地下鉄」の割合が61.1%と最も高く、次いで「徒歩(歩行器・杖を含む)」の割合が58.0%、「自転車」の割合が39.0%となっています。

回答者数 = 633

- 電車・地下鉄
- 徒歩(歩行器・杖を含む)
- 自転車
- バス
- 自家用車(車・バイク等)
- タクシー
- その他
- 無回答

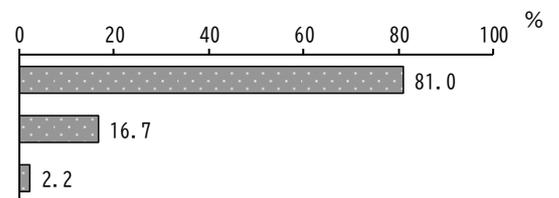


問 33 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか。(○は1つ)

「できる」の割合が81.0%、「できない」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 633

- できる
- できない
- 無回答

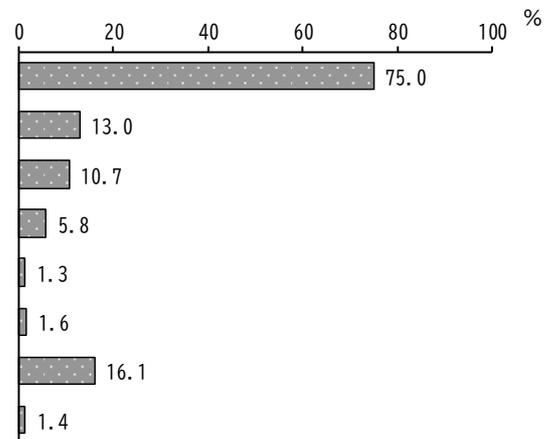


問 34 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が75.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が16.1%、「近所の人」の割合が13.0%となっています。

回答者数 = 633

- 家族
- 近所の人
- 友人・知人
- 親戚
- 福祉サービス事業所等の関係者
- その他
- 特にない
- 無回答



問 35 難病の方に関するサービス、施設等の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

『ショートステイ（短期入所）』『デイサービス』『荒川区保健所』で「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

「利用したことがある」で『荒川区保健所』『ハローワーク足立（足立公共職業安定所）』の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	利用した ことがある	知らない 知っているが利用して いない	知らない	無回答
ホームヘルプサービス	633	3.2	1.1	38.1	44.2	13.4
ガイドヘルパー派遣事業	633	0.2	0.5	23.1	60.8	15.5
ショートステイ（短期入所）	633	0.6	1.1	46.3	37.1	14.8
デイサービス	633	5.5	2.1	50.9	29.5	12.0
計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	633	4.7	1.4	22.9	55.9	15.0
地域移行支援 （入所・入院先を出て、地域での生活に戻るための支援）	633	0.2	0.5	20.9	63.3	15.2
地域定着支援 （地域での生活を続けるための見守り及び緊急時の支援）	633	1.3	0.9	18.2	64.8	14.8
補装具の交付・修理	633	1.7	1.6	25.4	56.1	15.2
日常生活用具の給付	633	2.4	1.3	22.7	58.9	14.7
就学相談・教育相談	633	-	0.8	23.2	59.6	16.4
アクロスあらかわ（障害者福祉会館）	633	1.1	1.1	28.6	54.5	14.7
じよぶあらかわ（障害者就労支援センター）	633	0.2	0.3	19.3	64.5	15.8
荒川区保健所	633	1.4	12.6	51.3	19.4	15.2
東京都難病相談・支援センター	633	1.4	4.6	38.9	40.8	14.4
東京都障害者総合スポーツセンター	633	0.5	0.6	24.5	59.1	15.3
ハローワーク足立（足立公共職業安定所）	633	0.8	10.4	36.8	37.3	14.7
荒川区子ども家庭総合センター	633	-	1.4	22.3	60.7	15.6

問 36 難病の方に関する医療助成制度等の利用状況について、お伺いします。それぞれ項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。

『難病等の医療費助成事業』で「現在利用している」の割合が高くなっています。

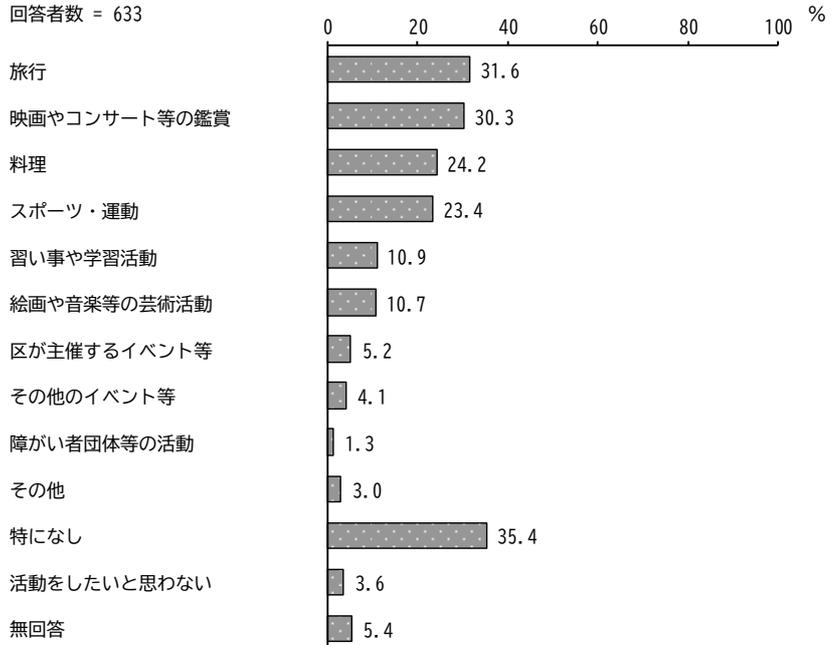
単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	自分に対象外の制度である	知らない	無回答
心身障害者医療費助成事業（マル障）	633	2.5	1.4	5.2	33.6	36.3	20.9
難病等の医療費助成事業	633	74.1	3.6	2.8	1.9	8.2	9.3
自立支援医療（更生医療）	633	0.6	0.2	3.6	28.0	47.7	19.9
自立支援医療（育成医療）	633	0.2	0.2	2.8	27.5	49.1	20.2
自立支援医療（精神通院）	633	1.4	0.5	2.5	27.6	47.9	20.1
小児精神障害者入院医療費助成事業	633	-	0.3	2.1	29.1	48.0	20.5
療養介護事業	633	1.1	0.3	3.6	23.4	51.2	20.4
医療型児童発達支援事業	633	0.2	0.2	1.7	27.5	49.9	20.5

問 37 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「特になし」の割合が 35.4% と最も高く、次いで「旅行」の割合が 31.6%、「映画やコンサート等の鑑賞」の割合が 30.3% となっています。

回答者数 = 633

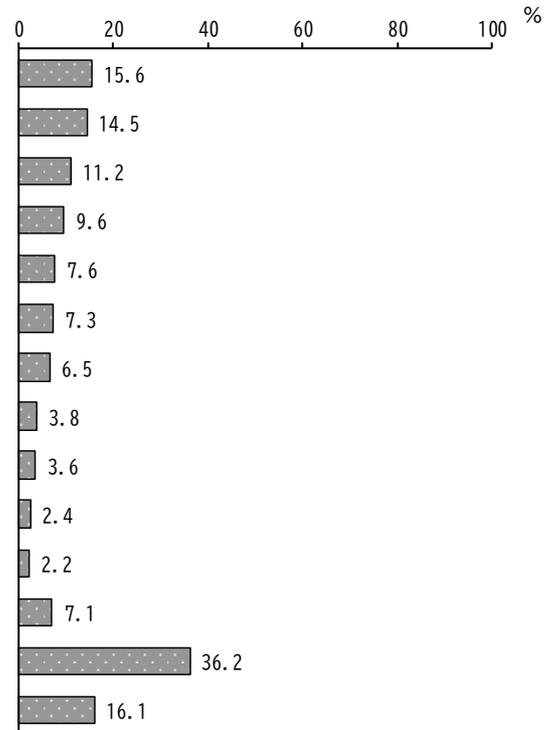


問 38 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

「活動しにくいと感じない」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「興味を感じる活動が少ない」の割合が 15.6%、「お知らせや案内等を知らない」の割合が 14.5%となっています。

回答者数 = 633

- 興味を感じる活動が少ない
- お知らせや案内等を知らない
- 電車やバスなどの利用が不便
- 参加できるような活動が少ない
- 付き合ってくれる人が少ない
- 参加しやすい時間に行われたい
- 経済的理由により、活動が困難
- 障がい等が重く、活動が困難
- 移動する方法がない
- 建物や施設の設備の利用が不便
- 障がい等に対する理解や配慮がない
- その他
- 活動しにくいと感じない
- 無回答

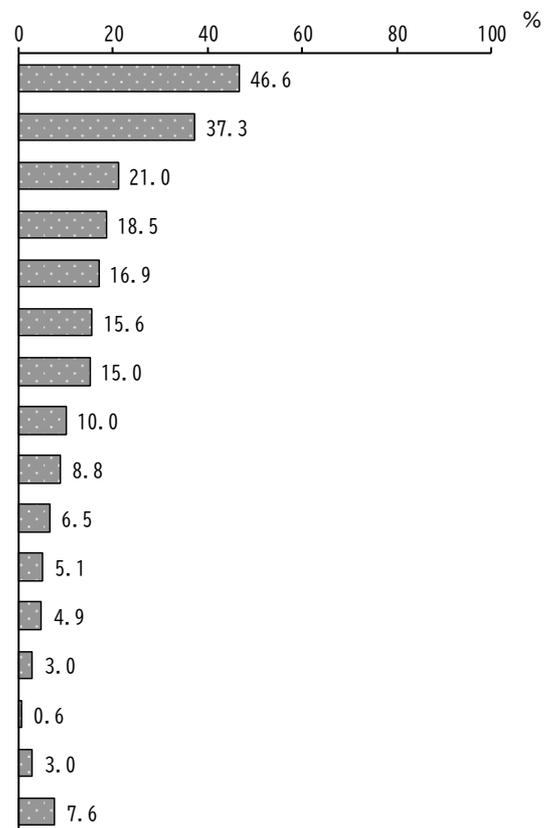


問 39 現在、あなたが特に困ったり、不安に思っていることは何ですか。
(○はいくつでも)

「病気（薬）のこと」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「お金のこと」の割合が 37.3%、「特に困っていることはない」の割合が 21.0%となっています。

回答者数 = 633

- 病気（薬）のこと
- お金のこと
- 特に困っていることはない
- 家族のこと
- 就職や仕事のこと
- 困ったときの相談先のこと
- 住まいのこと
- 趣味や生きがいのこと
- 交通手段の確保と経費のこと
- 外出のこと
- 福祉サービスのこと
- 家族以外の人間関係のこと
- 近所づきあいのこと
- 進学や勉強のこと
- その他
- 無回答

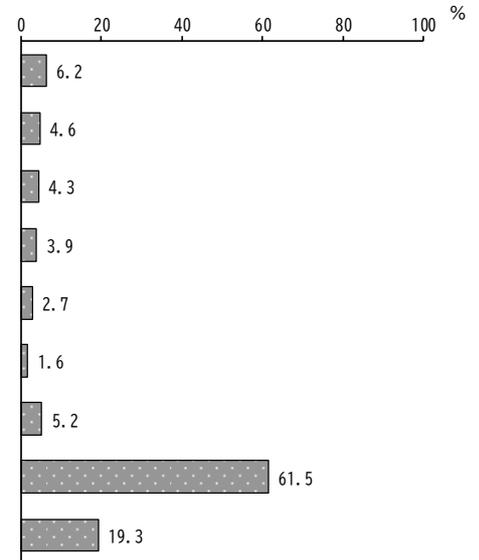


問 40 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。（ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どんな時に感じたことがありますか。）（○はいくつでも）また差し支えなければ、○をつけた内容について具体的に記入してください。

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が 61.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 633

- 障がいに対する理解がないと感じるとき（就職先で上司の態度が気になる、施設がバリアフリーに対応していない、等） 6.2
- 周囲からの視線等が気になるとき（ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等） 4.6
- 傷つくことを言われたとき（あなたに話してもわからない、等） 4.3
- あなたがやりたいことを止められたとき（チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等） 3.9
- あなたが人と話をしているとき（障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等） 2.7
- 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき（障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等） 1.6
- その他 5.2
- 差別や偏見を感じたことはない 61.5
- 無回答 19.3

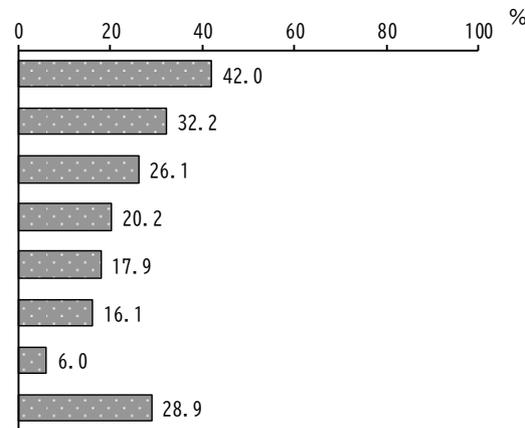


問 41 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が 32.2%、「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が 26.1%となっています。

回答者数 = 633

- 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う 42.0
- 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める 32.2
- 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす 26.1
- 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する 20.2
- 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める 17.9
- 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する 16.1
- その他 6.0
- 無回答 28.9



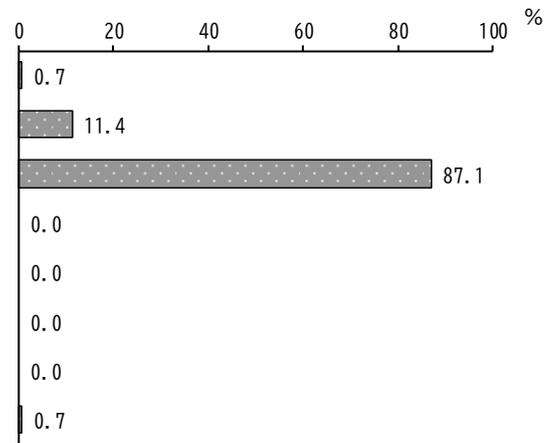
8 障がい児通所支援利用者調査の結果

問1 この調査票を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「母」の割合が87.1%と最も高く、次いで「父」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 140

本人
父
母
祖父母
兄弟姉妹
その他の親族
その他
無回答

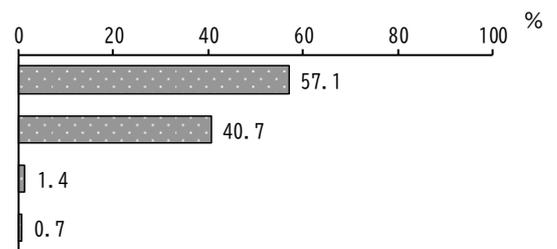


問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が57.1%と最も高く、次いで「女性」の割合が40.7%となっています。

回答者数 = 140

男性
女性
回答しない
無回答

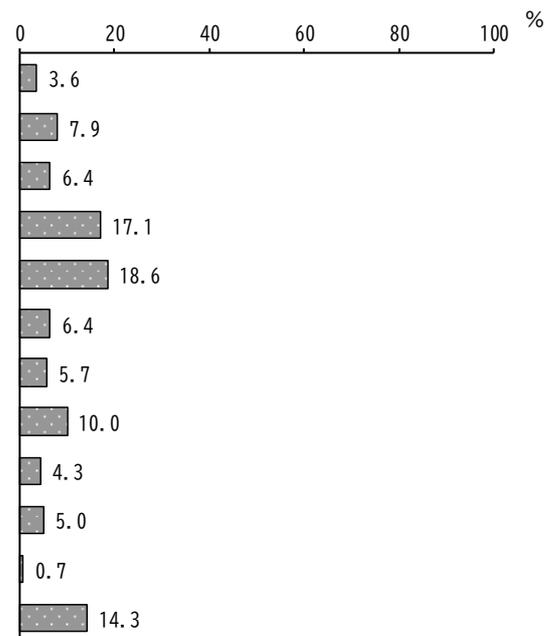


問3 あなたの年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。

「5歳」の割合が18.6%と最も高く、次いで「4歳」の割合が17.1%、「8歳」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 140

0-1歳
2歳
3歳
4歳
5歳
6歳
7歳
8歳
9歳
10歳
11歳
無回答

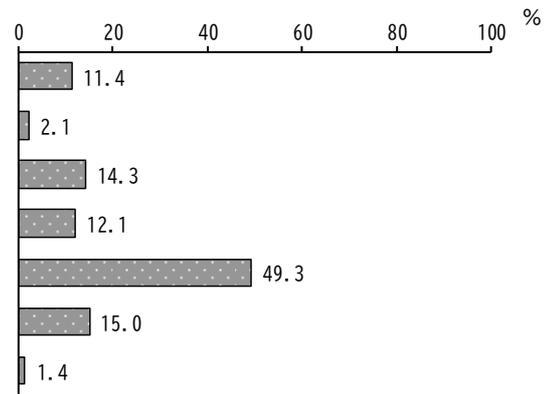


問4 診断名等ありましたらお答えください。(〇はいくつでも)

「特定の診断名はついていない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「受診していない」の割合が15.0%、「注意欠陥・多動性障がい(ADHD)」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 140

- 広汎性発達障がい
- 学習障がい(LD)
- 注意欠陥・多動性障がい(ADHD)
- その他
- 特定の診断名はついていない
- 受診していない
- 無回答

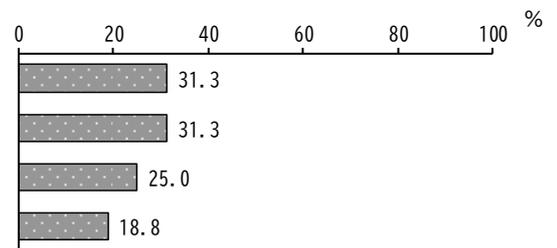


広汎性発達障がい

「知的障がいを伴う自閉症」、「高機能自閉症(高機能広汎性発達障がい)」の割合が31.3%と最も高く、次いで「アスペルガー症候群」の割合が25.0%となっています。

回答者数 = 16

- 知的障がいを伴う自閉症
- 高機能自閉症(高機能広汎性発達障がい)
- アスペルガー症候群
- 無回答

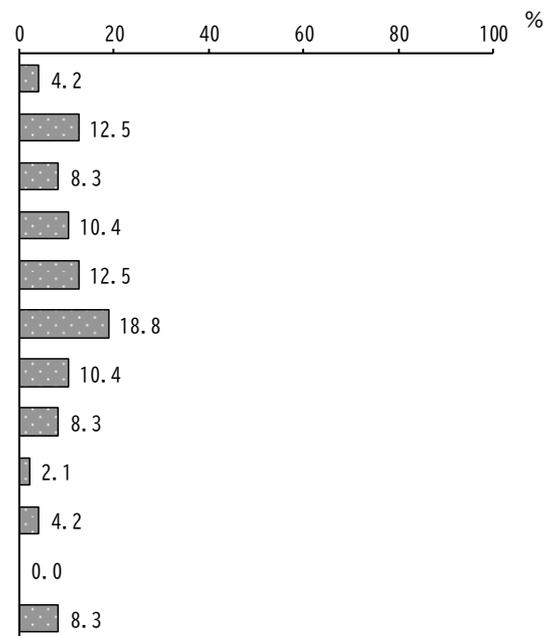


問5 (問4で「1 広汎性発達障がい」から「4 その他」と答えた方は次の設問にお答えください。)最初に診断を受けたのは何歳のころですか。

「6歳」の割合が18.8%と最も高く、次いで「2歳」、「5歳」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 48

- 0-1歳
- 2歳
- 3歳
- 4歳
- 5歳
- 6歳
- 7歳
- 8歳
- 9歳
- 10歳
- 11歳
- 無回答

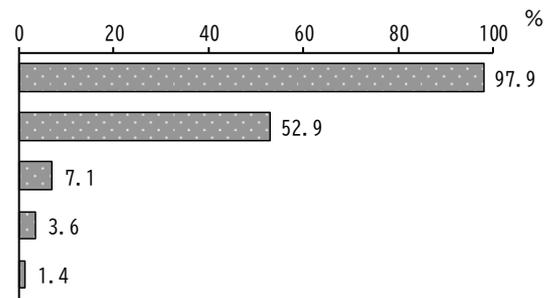


問6 あなたは、現在、誰と一緒に生活していますか（○はいくつでも）

「親（父・母）」の割合が97.9%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の割合が52.9%となっています。

回答者数 = 140

- 親（父・母）
- 兄弟姉妹
- 祖父・祖母
- その他
- 無回答

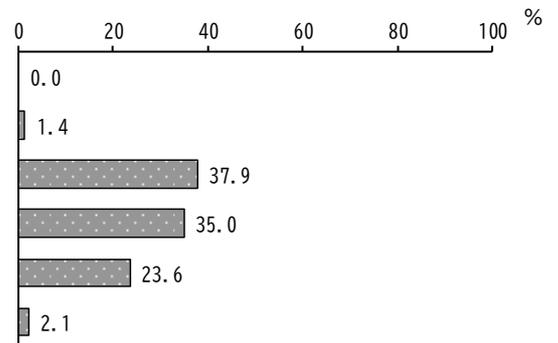


問7 一緒に暮らしている方は、あなたを含めて合計何人ですか。（○は1つ）

「3人」の割合が37.9%と最も高く、次いで「4人」の割合が35.0%、「5人以上」の割合が23.6%となっています。

回答者数 = 140

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上
- 無回答



問8 あなたは次のような日常生活の動作がひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる欄の番号に○をつけてください。（1～8について各々○は1つ）

『1 歩くこと』で「自分でできる」の割合が高く、『7 室内の掃除・整理整頓をすること』で「一部に手助けが必要」の割合が高くなっています。また、『8 バス・都電・電車を利用すること』で「全部に手助けが必要」の割合が高くなっています。

単位：%

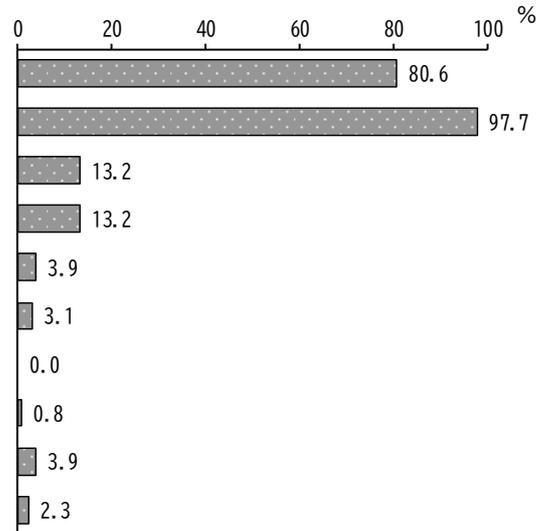
区分	回答者数（件）	自分でできる	一部に手助けが必要	全部に手助けが必要	無回答
1 歩くこと	140	93.6	1.4	3.6	1.4
2 食事をすること	140	82.1	12.9	3.6	1.4
3 シャツを着たり、ズボンやスカートをはくこと	140	67.1	23.6	7.9	1.4
4 トイレで用を足し、後始末をすること	140	58.6	29.3	10.7	1.4
5 入浴し、身体や髪を洗うこと	140	36.4	42.9	19.3	1.4
6 歯磨き・洗顔等をすること	140	41.4	44.3	12.9	1.4
7 室内の掃除・整理整頓をすること	140	18.6	52.9	27.1	1.4
8 バス・都電・電車を利用すること	140	12.9	35.0	50.7	1.4

問9 (問8で「一部に手助けが必要」または「全部に手助けが必要」に○をつけた方のみお答えください。) あなたが日常生活を送るうえで、誰から手助けを受けていますか。(○はいくつでも)

「母」の割合が97.7%と最も高く、次いで「父」の割合が80.6%、「兄弟姉妹」、「祖父・祖母」の割合が13.2%となっています。

回答者数 = 129

父
母
兄弟姉妹
祖父・祖母
「父」～「祖父・祖母」以外の親族
ホームヘルパー
友人
ボランティア
その他
無回答

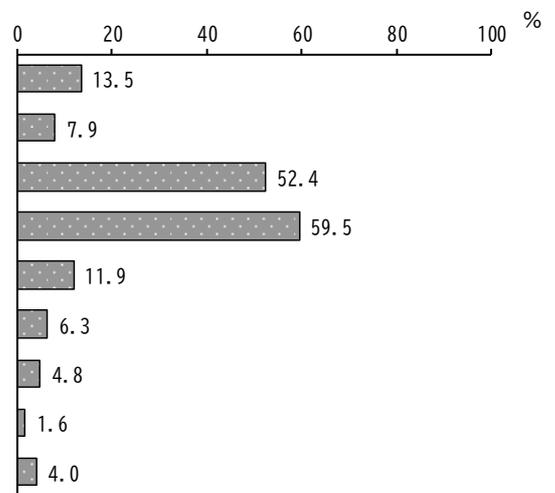


問10 (問9で「1 父」～「5 「父」～「祖父・祖母」以外の親族」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている方の年齢は、令和4年4月1日現在、何歳ですか。(問9で「1 父」～「5 「父」～「祖父・祖母」以外の親族」に○を複数つけた方は、○はいくつでも可)

「40～49歳」の割合が59.5%と最も高く、次いで「30～39歳」の割合が52.4%、「18歳未満」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 126

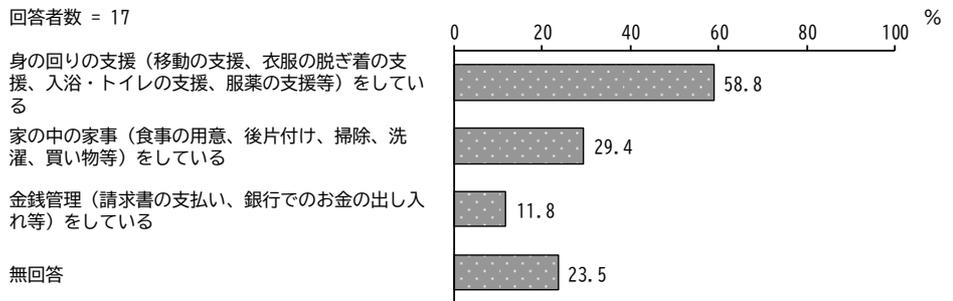
18歳未満
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70～79歳
80歳以上
無回答



問11 (問10で「ア 18歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 手助けをしている18歳未満の人(※)は、普段どのような手助けを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

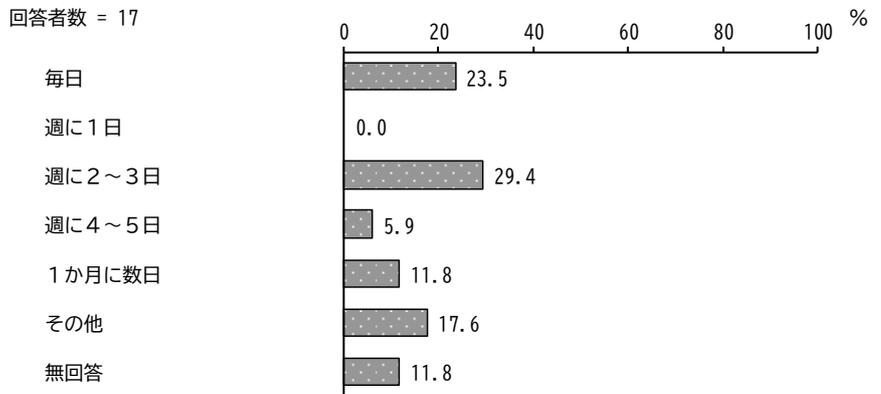
※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「身の回りの支援(移動の支援、衣服の脱ぎ着の支援、入浴・トイレの支援、服薬の支援等)をしている」の割合が58.8%と最も高く、次いで「家の中の家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物等)をしている」の割合が29.4%、「金銭管理(請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れ等)をしている」の割合が11.8%となっています。



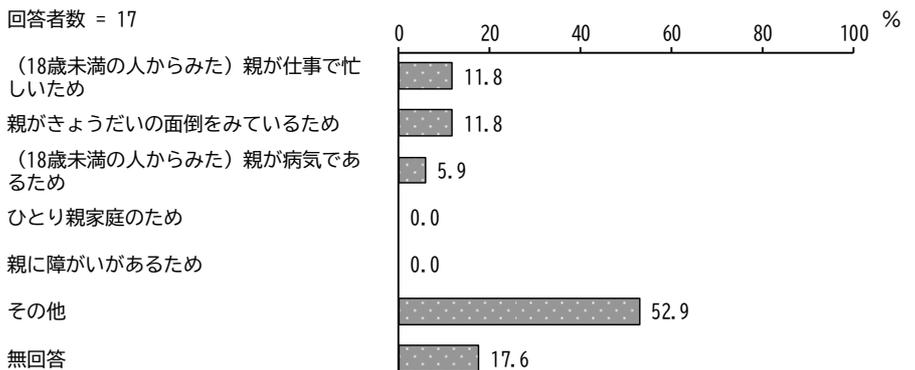
問12 (問10で「18歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18歳未満の人が手助けしている頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「週に2~3日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「毎日」の割合が23.5%、「1か月に数日」の割合が11.8%となっています。



問13 (問10で「ア 18歳未満」に○をつけた方のみお答えください。) 18歳未満の人が手助けをする理由はなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「(18歳未満の人からみた) 親が仕事で忙しいため」、「親がきょうだいの面倒をみているため」の割合が11.8%と最も高くなっています。

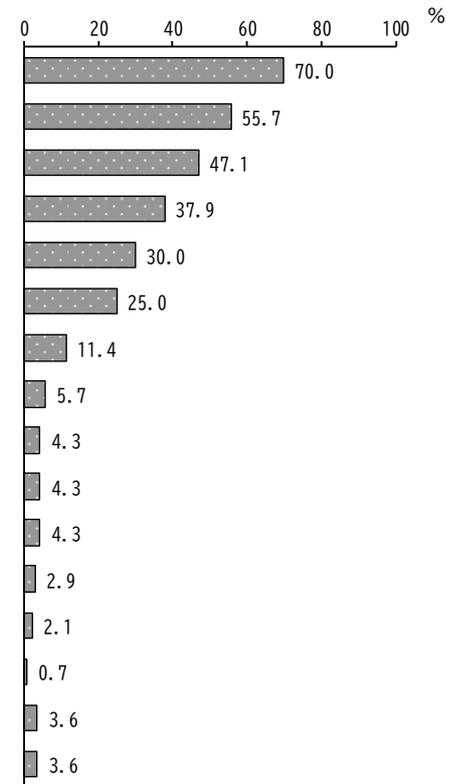


問 14 あなたまたは保護者の方が、日常のことや困ったことを相談している人はいますか。(〇はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が70.0%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園・学校」の割合が55.7%、「障害者福祉課・たんぼぼセンター、子ども家庭総合センター等の区の職員」の割合が47.1%となっています。

回答者数 = 140

家族・親戚	70.0
保育園・幼稚園・学校	55.7
障害者福祉課・たんぼぼセンター、子ども家庭総合センター等の区の職員	47.1
友人・知人	37.9
通所先の障害福祉サービス等事業所の職員	30.0
医療機関	25.0
障害児相談支援事業所の相談支援専門員	11.4
スクールカウンセラー	5.7
ホームヘルパー・保健師・訪問看護師	4.3
障害者相談員・民生委員・児童委員	4.3
荒川区障害者基幹相談支援センターの職員	4.3
誰もいない	2.9
近所の人	2.1
インターネット	0.7
その他	3.6
無回答	3.6

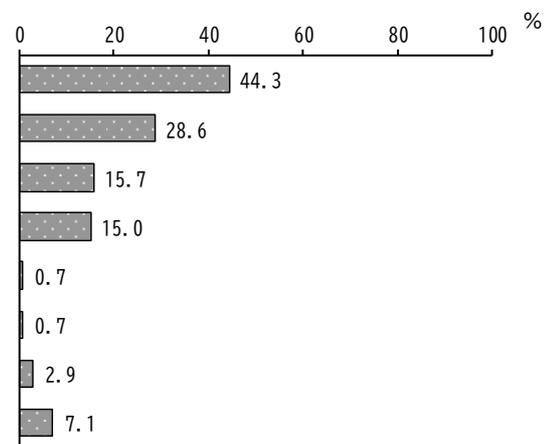


問 15 あなたは、病気等で病院に通っていますか。(〇はいくつでも)

「ほとんど病院には行かない」の割合が44.3%と最も高く、次いで「定期的に病院に通っている」の割合が28.6%、「時々（不定期に）病院を受診している」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 140

ほとんど病院には行かない	44.3
定期的に病院に通っている	28.6
時々（不定期に）病院を受診している	15.7
毎日薬を飲んでいる	15.0
病院に入院している	0.7
訪問診療を受けている	0.7
その他	2.9
無回答	7.1

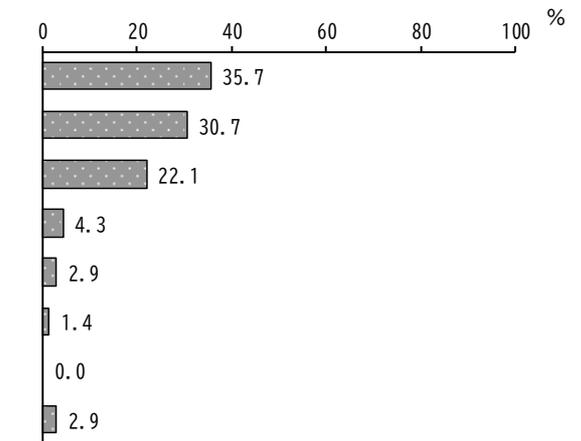


問 16 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

「分譲マンション」の割合が35.7%と最も高く、次いで「一戸建ての持ち家」の割合が30.7%、「賃貸マンション・アパート」の割合が22.1%となっています。

回答者数 = 140

- 分譲マンション
- 一戸建ての持ち家
- 賃貸マンション・アパート
- 一戸建ての借家
- 公営住宅
- 社宅等
- その他
- 無回答

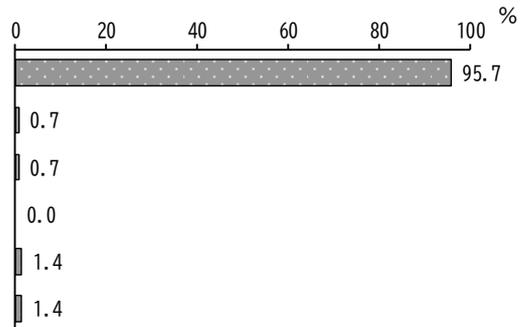


問 17 あなた、またはご家族の方がアパートやマンションを借りようとしたとき、障がいを理由に断られたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「そのような経験はない」の割合が95.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 140

- そのような経験はない
- 断られた経験がある
- 退去を求められたことがある
- 最終的には借りられたが難航した
- その他
- 無回答

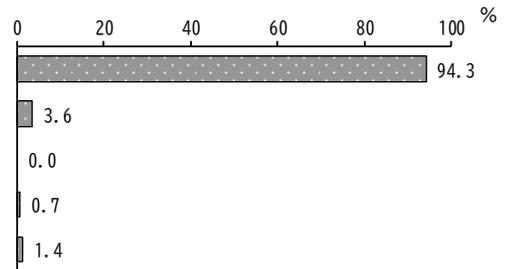


問 18 あなたは、平日の昼間は、主にどこで(何をして)過ごしていますか。(○は1つ)

「幼稚園や保育園、学校、障がい児通所施設等に通っている(在籍している)」の割合が94.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 140

- 幼稚園や保育園、学校、障がい児通所施設等に通っている(在籍している)
- 学校に入学する前で、自宅で生活している
- 学校を卒業しており、自宅で生活している(家事等を含む)
- その他
- 無回答

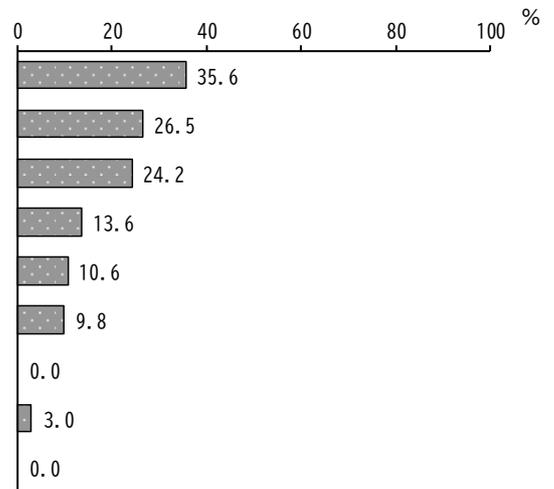


問19 (問18で「幼稚園や保育園、学校、障がい児通所施設等に通っている」に○をつけた方のみお答えください。) 通園・通学・通所先はどこですか。(○は2つまで)

「保育園」の割合が35.6%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が26.5%、「障がい児通所施設」の割合が24.2%となっています。

回答者数 = 132

- 保育園
- 幼稚園
- 障がい児通所施設
- 普通学級と特別支援学級(通級)
- 普通学級(小・中・高)
- 特別支援学級(固定級)
- 特別支援学校(小・中・高)
- その他
- 無回答

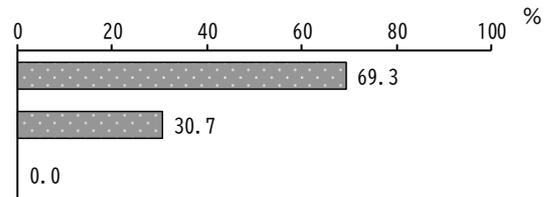


問20 あなたは、地震・火災等の災害時に、ひとりで避難できますか(お子さんが未就学児の場合は、保護者の方ひとりでお子さんを連れて避難することができますか)。(○は1つ)

「できる」の割合が69.3%、「できない」の割合が30.7%となっています。

回答者数 = 140

- できる
- できない
- 無回答

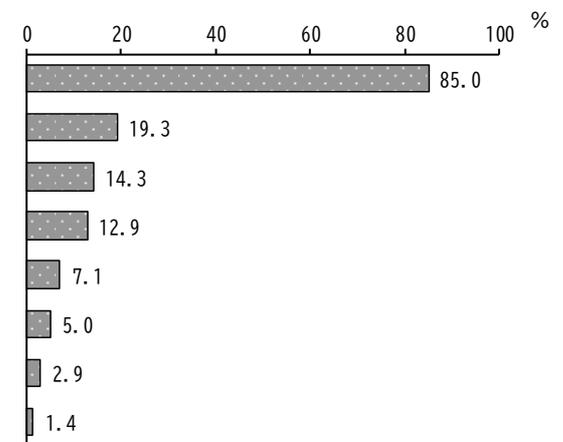


問21 あなたは、地震・火災等の災害時に、家族や近隣の方等、避難を援助してくれる人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「家族」の割合が85.0%と最も高く、次いで「親戚」の割合が19.3%、「近所の人」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 140

- 家族
- 親戚
- 近所の人
- 友人・知人
- 福祉サービス事業所等の関係者
- 特にない
- その他
- 無回答



問 22 サービス、施設等の利用状況について、お伺いします。項目ごとにあてはまる欄の番号に○をつけてください。(1～19について各々○は1つ)

『8 放課後等デイサービス』『16 荒川区保健所』『19 荒川区子ども家庭総合センター』で「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

『4 児童発達支援』『9 障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)』『13 たんぽぽセンター(心身障害者福祉センター)』で「現在利用している」の割合が高くなっています。

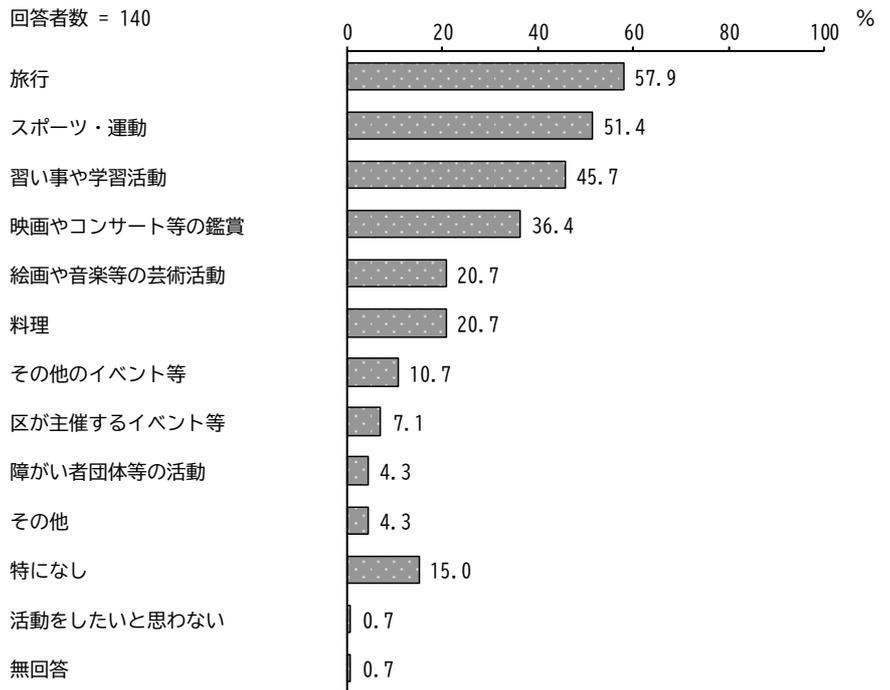
単位：%

区分	回答者数 (件)	現在 利用 している	利用 した こと がある	知 つ て い る が 利 用 し て い な い	知 ら な い	無 回 答
1 ホームヘルプサービス	140	-	1.4	21.4	66.4	10.7
2 ガイドヘルパーの派遣	140	-	-	15.7	73.6	10.7
3 ショートステイ(短期入所)	140	-	0.7	35.7	51.4	12.1
4 児童発達支援	140	46.4	11.4	24.3	11.4	6.4
5 医療型児童発達支援	140	5.7	0.7	28.6	55.0	10.0
6 保育所等訪問支援	140	2.9	1.4	27.1	57.9	10.7
7 居宅訪問型児童発達支援	140	1.4	-	15.0	71.4	12.1
8 放課後等デイサービス	140	31.4	2.1	43.6	15.0	7.9
9 障害児相談支援(障害児支援利用計画の作成)	140	52.1	7.1	15.0	17.1	8.6
10 日中一時支援サービス	140	-	-	17.1	72.1	10.7
11 就学相談・教育相談	140	20.7	22.9	25.0	24.3	7.1
12 アクロスあらかわ(障害者福祉会館)	140	7.1	5.0	32.1	46.4	9.3
13 たんぽぽセンター(心身障害者福祉センター)	140	45.7	37.9	10.7	2.1	3.6
14 精神障害者地域生活支援センター・アゼリア	140	-	1.4	12.1	76.4	10.0
15 荒川区障害者基幹相談支援センター	140	0.7	0.7	12.9	76.4	9.3
16 荒川区保健所	140	5.0	33.6	46.4	6.4	8.6
17 東京都心身障害者福祉センター	140	0.7	0.7	20.7	68.6	9.3
18 東京都障害者総合スポーツセンター	140	-	1.4	15.7	73.6	9.3
19 荒川区子ども家庭総合センター	140	0.7	15.0	45.7	30.7	7.9

問 23 あなたは、この1年間に文化・芸術・余暇活動等を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「旅行」の割合が57.9%と最も高く、次いで「スポーツ・運動」の割合が51.4%、「習い事や学習活動」の割合が45.7%となっています。

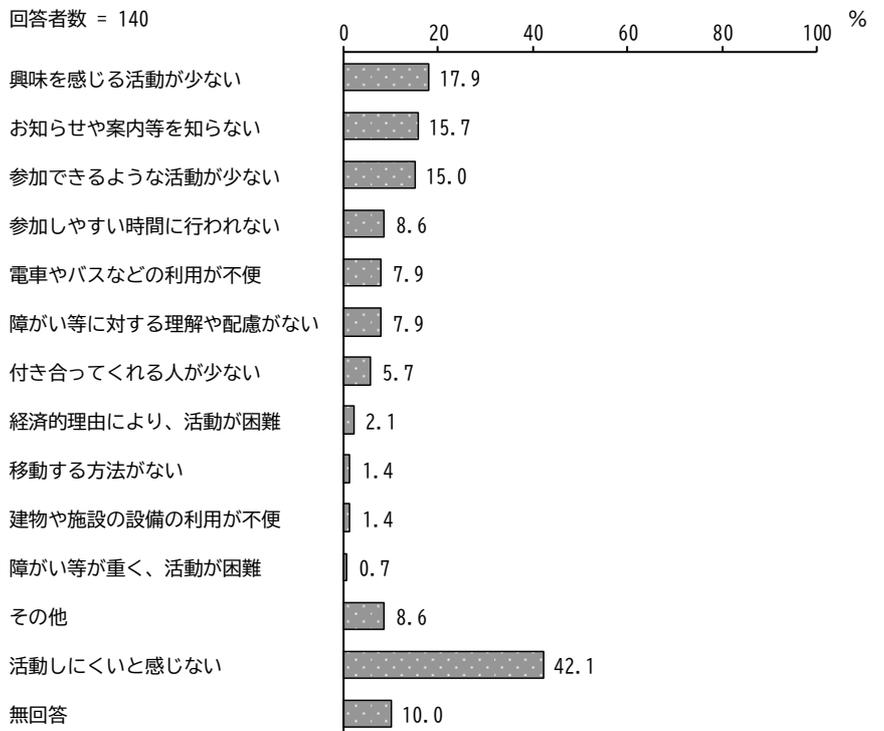
回答者数 = 140



問 24 あなたは、文化・芸術・余暇活動等の活動をする際に、なにか困ることや活動しにくいと感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「活動しにくいと感じない」の割合が42.1%と最も高く、次いで「興味を感じる活動が少ない」の割合が17.9%、「お知らせや案内等を知らない」の割合が15.7%、「お知らせや案内等を知らない」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 140

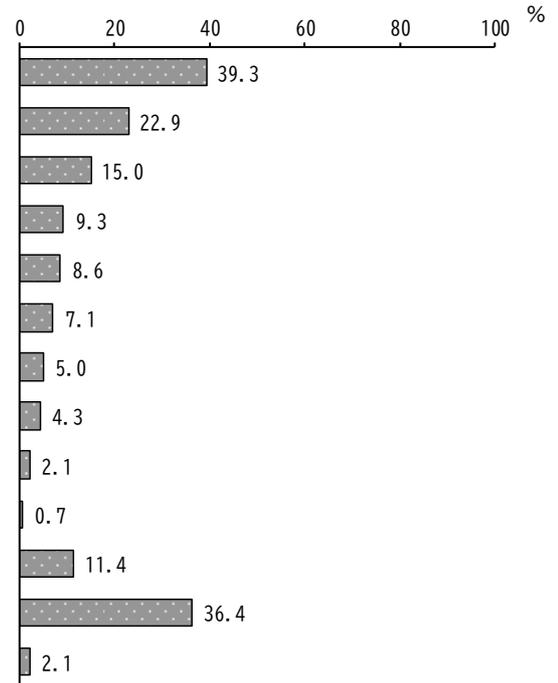


問 25 あなたは、障害福祉サービス等について、困っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「サービス提供事業者が少ない」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「困っていない」の割合が 36.4%、「どのようなサービスが利用できるかわからない」の割合が 22.9%となっています。

回答者数 = 140

- サービス提供事業者が少ない
- どのようなサービスが利用できるかわからない
- サービスを使うための送迎がない
- 利用できる回数や日数等が少ない
- サービスを提供してくれる事業所がわからない
- 障害福祉サービス等について、相談先がわからない
- 区外の事業所を利用しているが、場所が遠い等で不便である
- サービス提供事業者の療育内容に不安を感じる
- サービス提供事業者の職員数が少ない等、職員体制に不安がある
- サービス提供事業者の職員の態度等が良くない
- その他
- 困っていない
- 無回答

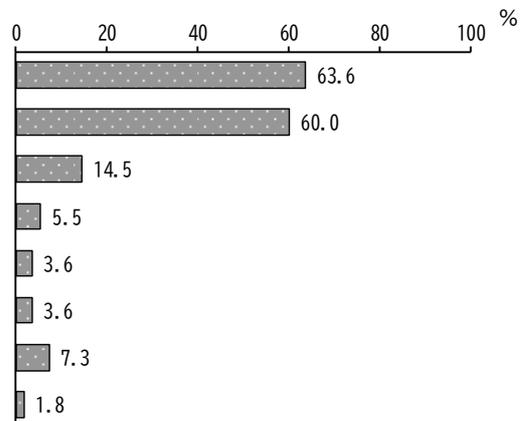


問 26 (問 25 で「サービス提供事業者が少ない」に○をつけた方のみお答えください。) 少ないと感じるサービスは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

「放課後等デイサービス」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「児童発達支援」の割合が 60.0%、「障害児相談支援」の割合が 14.5%となっています。

回答者数 = 55

- 放課後等デイサービス
- 児童発達支援
- 障害児相談支援
- 保育所等訪問支援
- 医療型児童発達支援
- 居宅訪問型児童発達支援
- その他
- 無回答

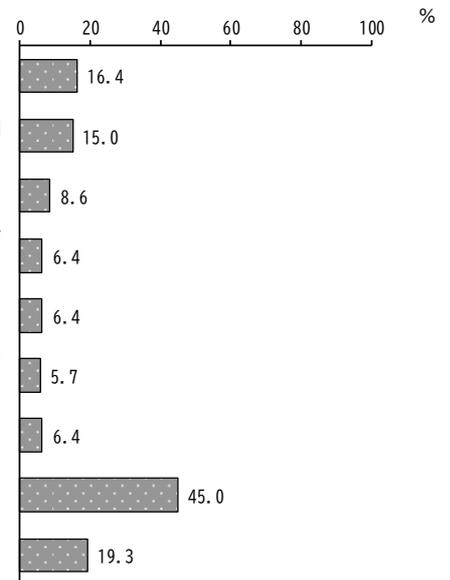


問 27 あなたは、障がいを理由とする差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。(ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方等が、周囲からのご本人に対する差別や偏見について、どのような時に感じたことがありますか。)(○はいくつでも)

「差別や偏見を感じたことはない」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等)」の割合が 16.4%、「周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等)」の割合が 15.0%となっています。

回答者数 = 140

- 傷つくことを言われたとき(あなたに話してもわからない、等) 16.4
- 周囲からの視線等が気になるとき(ジロジロ見られた、周囲から避けられた、等) 15.0
- 障がいに対する理解がないと感じるとき(施設がバリアフリーに対応していない、等) 8.6
- 他の人同士が話しているのをあなたが聞いているとき(障がいについて、嫌な気持ちになることを言われた、笑われた、等) 6.4
- あなたがやりたいことを止められたとき(チャレンジしようと思ったら、危ないからやめた方がいいと言われた、等) 6.4
- あなたが人と話しているとき(障がいがあるからわからないと決めつけられた、子ども相手のような話し方をされた、等) 5.7
- その他 6.4
- 差別や偏見を感じたことはない 45.0
- 無回答 19.3

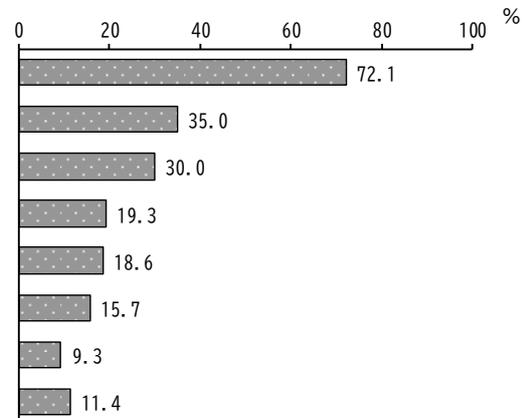


問 28 差別をなくし、障がいへの理解を深めていくために、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

「学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う」の割合が 72.1%と最も高く、次いで「一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める」の割合が 35.0%、「地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 140

- 学校で、障がいに関する教育や情報提供を行う 72.1
- 一般企業への講師派遣や出前講座等を行うことにより、障がい者雇用に対する企業の意識を高める 35.0
- 地域行事への障がい者の参加促進等、障がいのない人との交流の場を増やす 30.0
- 障がいについての正しい知識を普及啓発するために、講演会等を開催する 19.3
- 障がい者の生活や障がいについての正しい知識を伝える冊子等を作成・配布する 18.6
- 福祉施設の地域開放等を行うことにより、地域住民との交流を進める 15.7
- その他 9.3
- 無回答 11.4



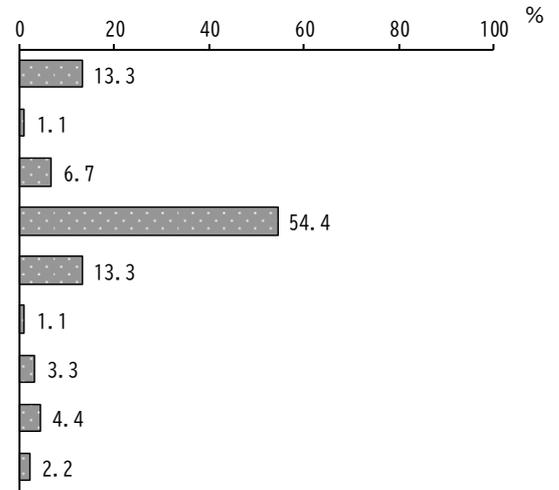
9 障害福祉サービス等事業所の結果

問1 貴事業所の経営主体をお答えください。(〇は1つ)

「株式会社、有限会社」の割合が54.4%と最も高く、次いで「社会福祉法人」、「特定非営利活動法人(NPO法人)」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 90

社会福祉法人	13.3
医療法人	1.1
社団法人、財団法人	6.7
株式会社、有限会社	54.4
特定非営利活動法人(NPO法人)	13.3
協同組合	1.1
合同会社、合資会社	3.3
その他	4.4
無回答	2.2

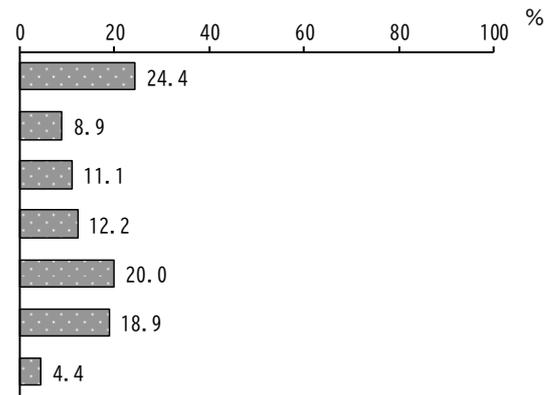


問2 貴事業者の開業年をお答えください。(〇は1つ)

「平成14年以前」の割合が24.4%と最も高く、次いで「平成27~30年」の割合が20.0%、「平成31~令和4年」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 90

平成14年以前	24.4
平成15~18年	8.9
平成19~22年	11.1
平成23~26年	12.2
平成27~30年	20.0
平成31~令和4年	18.9
無回答	4.4



問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス等をお答えください。
(〇はいくつでも)

「居宅介護」の割合が31.1%と最も高く、次いで「重度訪問介護」の割合が20.0%、「移動支援」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 90

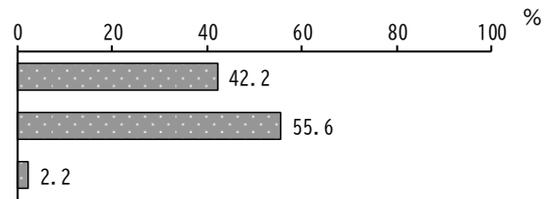


問4 貴事業所は介護保険サービスの指定を受けていますか。(〇は1つ)

「受けている」の割合が42.2%、「受けていない」の割合が55.6%となっています。

回答者数 = 90

受けている
受けていない
無回答

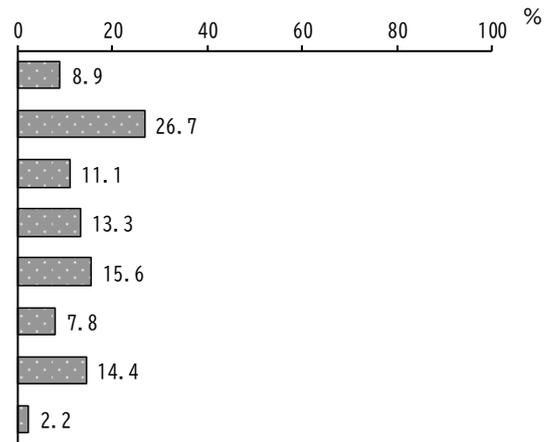


問5 貴事業所の所在地をお答えください。(〇は1つ)

「荒川」の割合が26.7%と最も高く、次いで「西尾久」の割合が15.6%、「西日暮里」の割合が14.4%となっています。

回答者数 = 90

南千住
荒川
町屋
東尾久
西尾久
東日暮里
西日暮里
無回答

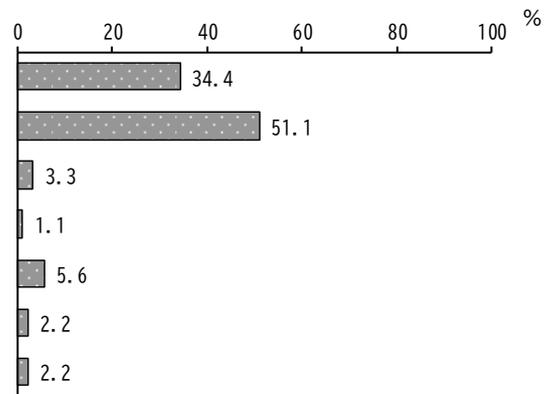


問6 貴事業所が事業の実施区域としている区域をお答えください。(〇は1つ)

「荒川区内及び23区内の一部」の割合が51.1%と最も高く、次いで「荒川区内のみ」の割合が34.4%となっています。

回答者数 = 90

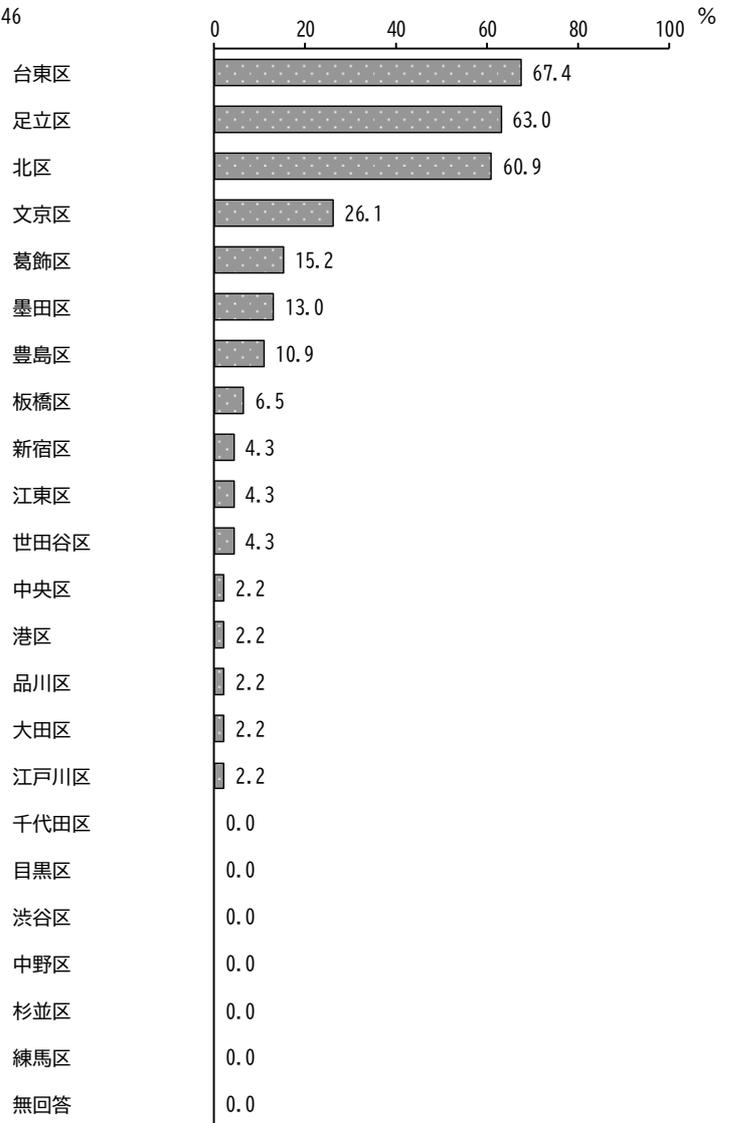
荒川区内のみ
荒川区内及び23区内の一部
23区内全域
東京都内の一部
東京都内全域
その他
無回答



問7 (問6で「2 荒川区内及び23区内の一部」に○をつけた事業所のみお答えください。) 貴事業所が事業の実施区域としている23区はどこですか。
(○はいくつでも)

「台東区」の割合が67.4%と最も高く、次いで「足立区」の割合が63.0%、「北区」の割合が60.9%となっています。

回答者数 = 46

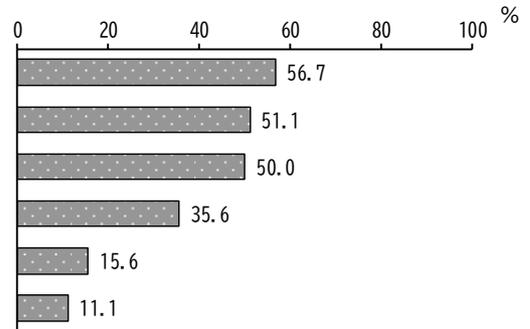


問8 貴事業所でサービスを提供している利用者数（契約者数）について、障がい別にお答えください。該当する選択肢に○をし、（ ）内に人数を記載ください。なお、重複障がいの方については、主たる障がいについてお答えください。（○はいくつでも）

「知的障がい」の割合が56.7%と最も高く、次いで「精神障がい」の割合が51.1%、「身体障がい」の割合が50.0%となっています。

回答者数 = 90

知的障がい
精神障がい
身体障がい
発達障がい
難病
無回答



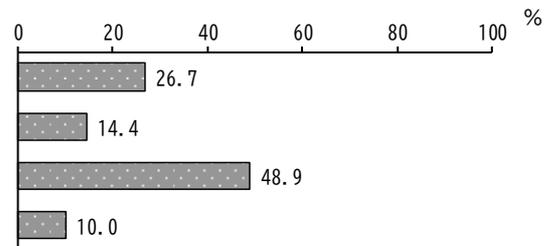
	契約者数（平均）	うち児童（平均）
身体障がい	8.57人	2.91人
知的障がい	25.65人	17.17人
精神障がい	17.51人	0.73人
発達障がい	21.61人	26.81人
難病	3.18人	2.11人

問9 問8でご回答いただいた内容のうち、荒川区で支給決定を受けた方の割合について、お答えください。（○は1つ）

「80%以上」の割合が48.9%と最も高く、次いで「50%未満」の割合が26.7%、「50%以上～80%未満」の割合が14.4%となっています。

回答者数 = 90

50%未満
50%以上～80%未満
80%以上
無回答

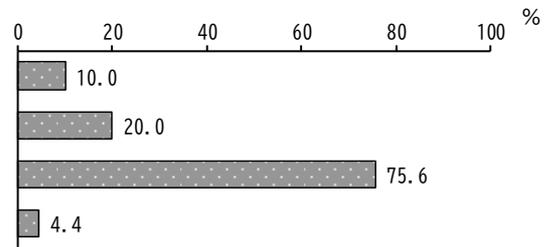


問10 問8でご回答いただいた内容について、貴事業所で重症心身障がい又は医療行為を必要とする状態（以下「医療的ケア」という。）にある方の受入れ状況をお答えください。なお、重複する場合は、医療的ケアの項目に記載ください。（〇はいくつでも）

「受け入れていない」の割合が75.6%と最も高く、次いで「医療的ケア」の割合が20.0%、「重症心身障がい」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 90

- 重症心身障がい
- 医療的ケア
- 受け入れていない
- 無回答



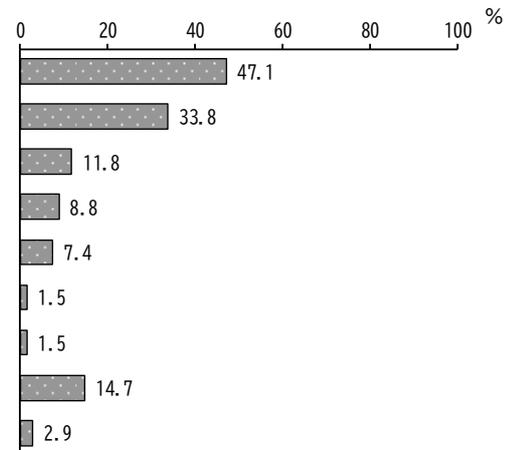
	受け入れ者数 (平均)	うち児童 (平均)
重症心身障がい	9.63 人	6.67 人
医療的ケア	4.44 人	2.38 人

問11 (問10で「3 受け入れていない」に〇をつけた事業所のみお答えください。) 貴事業所で重症心身障がい又医療的ケアが必要な方の受入れを行っていない理由をお答えください。（〇はいくつでも）

「事業所として受入れ体制を整える予定がない」の割合が47.1%と最も高く、次いで「事業所内の人材育成が困難である」の割合が33.8%、「看護職員の配置は可能だが、事業所全体で受け入れる体制が整っていない」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 68

- 事業所として受入れ体制を整える予定がない
- 事業所内の人材育成が困難である
- 看護職員の配置は可能だが、事業所全体で受け入れる体制が整っていない
- 事業所として受け入れる予定ではあるが、看護職員の採用ができていない
- どのような支援を行っていいかわからない
- 事業の採算がとれない
- 受入れ対象者に係る相談先がわからない
- その他
- 無回答

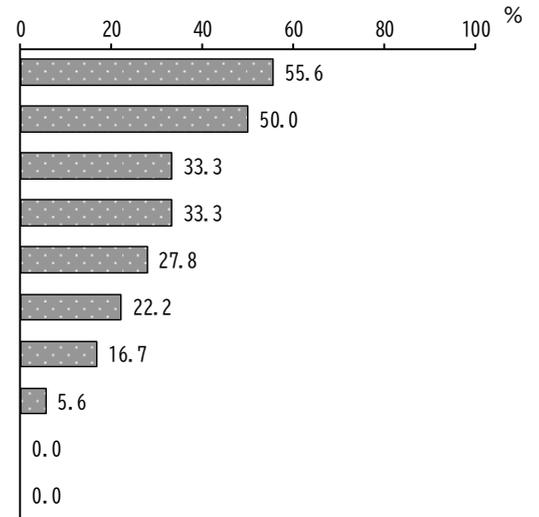


問12 (問10で「1 重症心身障がい」又は「2 医療的ケア」に○をつけた事業所のみお答えください。) 貴事業所で重症心身障がい又医療的ケアが必要な方の支援等について、困った時の相談先をお答えください。(○はいくつでも)

「区の障害者福祉課」の割合が55.6%と最も高く、次いで「相談支援事業所」の割合が50.0%、「法人本部」、「荒川区障害者基幹相談支援センター」の割合が33.3%となっています。

回答者数 = 18

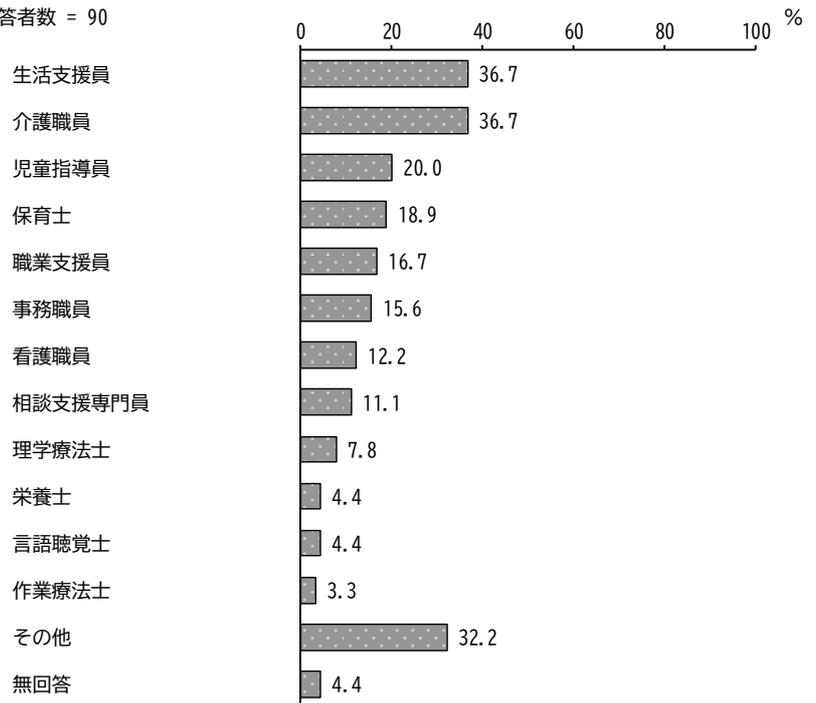
区の障害者福祉課	55.6
相談支援事業所	50.0
法人本部	33.3
荒川区障害者基幹相談支援センター	33.3
医療的ケア児等地域コーディネーター	27.8
他の障害福祉サービス事業所	22.2
区の保健所	16.7
地域生活支援拠点等	5.6
その他	0.0
無回答	0.0



問 13 貴事業所の職種別職員数をお答えください。(〇はいくつでも)

「生活支援員」、「介護職員」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「児童指導員」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 90



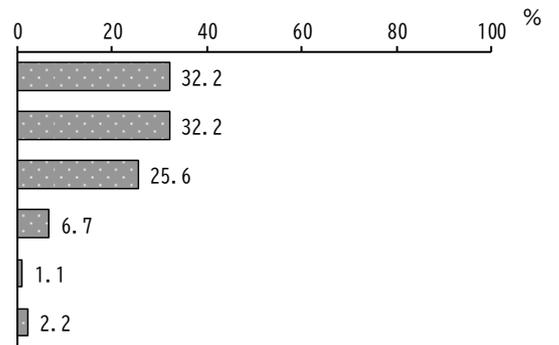
	職種別職員数 (平均)
生活支援員	6.97 人
介護職員	11.78 人
看護職員	3.09 人
栄養士	1.00 人
理学療法士	1.43 人
作業療法士	2.00 人
言語聴覚士	1.25 人
職業支援員	2.73 人
児童指導員	3.50 人
保育士	2.47 人
相談支援専門員	4.50 人
事務職員	1.64 人

問 14 貴事業所の職員の充足状況をお答えください。(○は1つ)

「十分である」、「やや不足している」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「不足している」の割合が 25.6%となっています。

回答者数 = 90

- 十分である
- やや不足している
- 不足している
- 非常に不足している
- その他
- 無回答

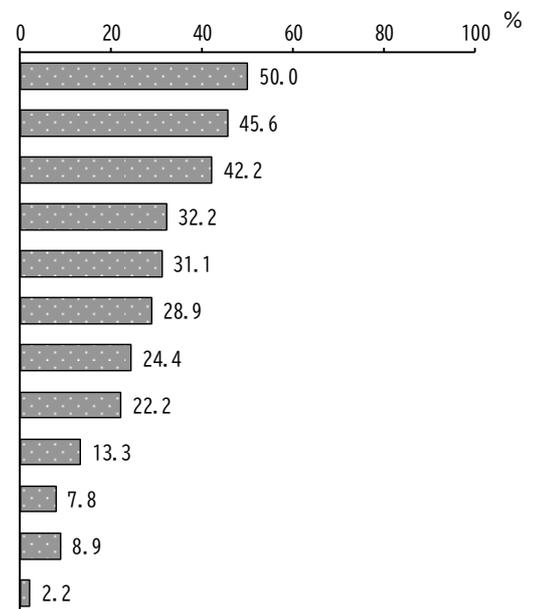


問 15 貴事業所の人材確保のための取り組みについてお答えください。(○はいくつでも)

「ハローワークを通じた募集」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「処遇改善加算等の取得」の割合が 45.6%、「知人経由等での募集」の割合が 42.2%となっています。

回答者数 = 90

- ハローワークを通じた募集
- 処遇改善加算等の取得
- 知人経由等での募集
- 賃金の改善
- HP等での事業所の広報
- 待遇（勤務時間等）の改善
- 福利厚生 の 充実
- 実習生、研修生の受け入れ
- 高校、専門学校、大学等を通じた募集
- 特に行っていない
- その他
- 無回答

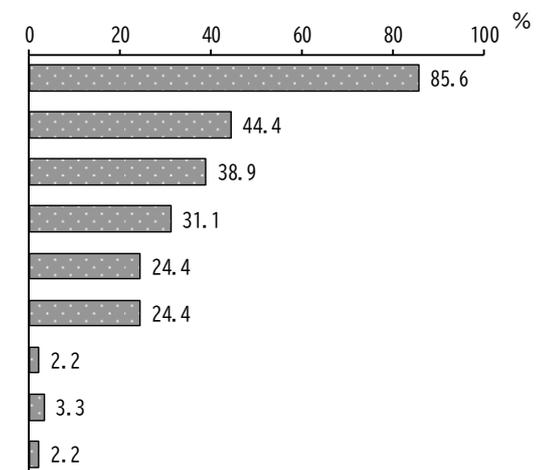


問 16 貴事業所の人材育成のための取り組みについてお答えください。(○はいくつでも)

「事業所内外での研修の実施」の割合が 85.6%と最も高く、次いで「資格取得のための支援（休暇、費用等）」の割合が 44.4%、「OJTの実施」の割合が 38.9%となっています。

回答者数 = 90

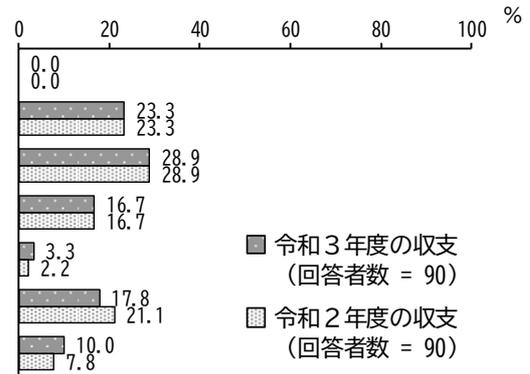
- 事業所内外での研修の実施
- 資格取得のための支援（休暇、費用等）
- OJTの実施
- 資格取得等による賃金改善の実施
- 職員キャリアパスの形成
- 他事業所等への施設見学の実施
- 特に行っていない
- その他
- 無回答



問 17 貴事業所の障がい者支援に関する事業について、過去2年度の収支についてそれぞれお答えください。(〇は年度ごとに1つ)

過去2年度の収支をみると、
大きな差はみられません。

- 大きく黒字であった
- 黒字であった
- 収支はほぼ同じであった
- 赤字であった
- 大きく赤字であった
- わからない
- 無回答



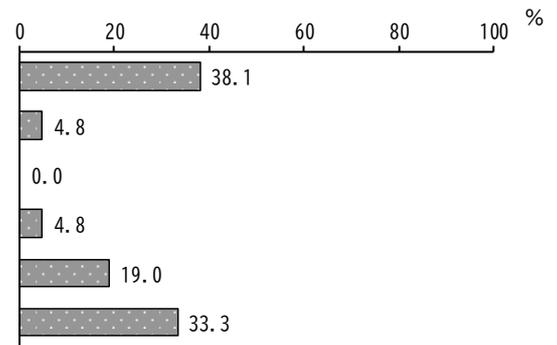
問 18 問 17 の収支の状況を受けて、黒字又は赤字等の理由についてお答えください。(〇は年度ごとに1つ)

令和2年度の収支状況の理由

【黒字】

「利用者が増加した」の割合が 38.1%と最も高くなっています。

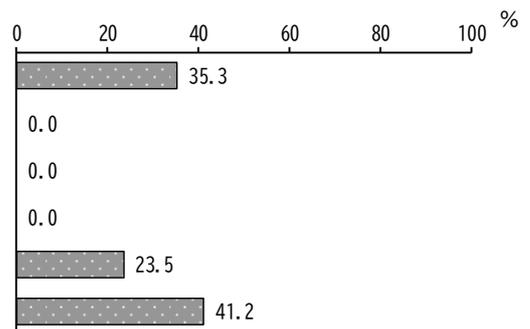
- 回答者数 = 21
- 利用者が増加した
 - 人件費を下げた
 - 事務費等の経費を削減した
 - 報酬改定で収入が増加した
 - その他
 - 無回答



【赤字】

「利用者が減少した」の割合が 35.3%と最も高くなっています。

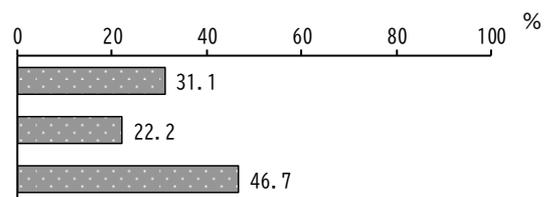
- 回答者数 = 17
- 利用者が減少した
 - 人件費が増加した
 - 事務費等の経費が増加した
 - 報酬改定で収入が減少した
 - その他
 - 無回答



【その他】

「わからない」の割合が 31.1%と最も高くなっています。

- 回答者数 = 45
- わからない
 - その他
 - 無回答



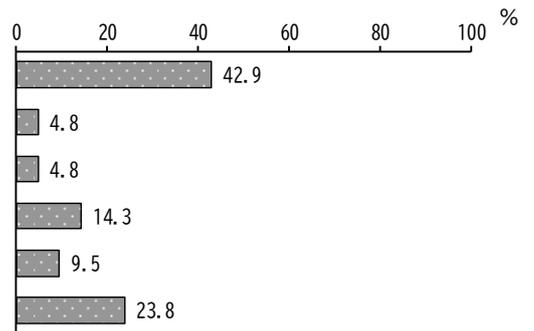
令和3年度の収支状況の理由

【黒字】

「利用者が増加した」の割合が42.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 21

- 利用者が増加した
- 人件費を下げた
- 事務費等の経費を削減した
- 報酬改定で収入が増加した
- その他
- 無回答

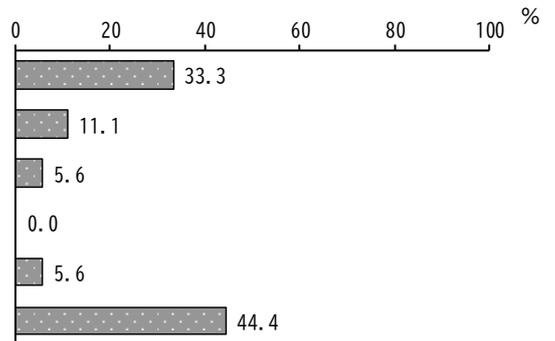


【赤字】

「利用者が減少した」の割合が33.3%と最も高く、次いで「人件費が増加した」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 18

- 利用者が減少した
- 人件費が増加した
- 事務費等の経費が増加した
- 報酬改定で収入が減少した
- その他
- 無回答

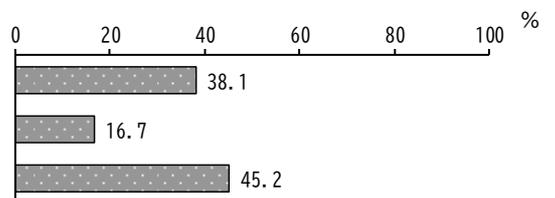


【その他】

「わからない」の割合が38.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 42

- わからない
- その他
- 無回答

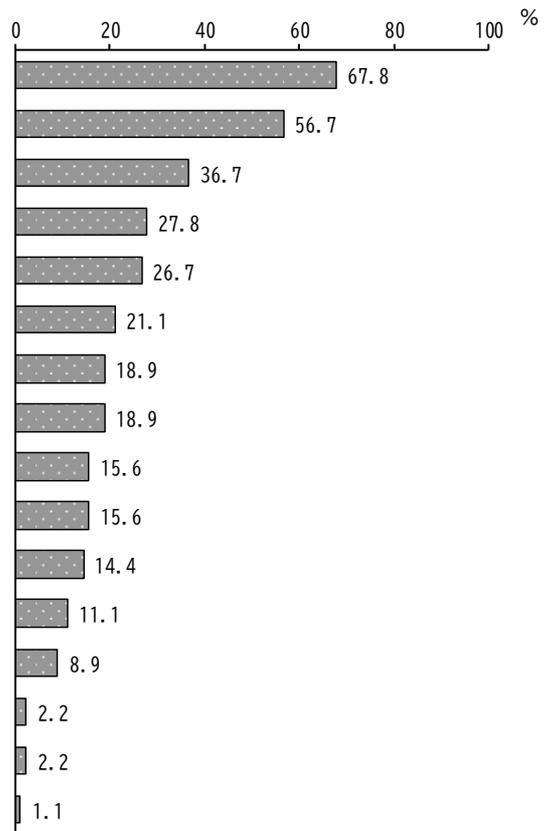


問 19 貴事業所の経営上の課題をお答えください。(〇はいくつでも)

「職員の確保」の割合が67.8%と最も高く、次いで「職員のスキルの向上」の割合が56.7%、「利用者の確保」の割合が36.7%となっています。

回答者数 = 90

- 職員の確保
- 職員のスキルの向上
- 利用者の確保
- 職員の待遇の改善
- 事務作業量の削減
- 収益の増加
- 施設、設備の改善
- 制度改正への対応
- 地域住民との関係
- 医療的ケアへの対応
- 他事業所との連携
- 行政との連携
- 運転資金の確保
- その他
- 特になし
- 無回答

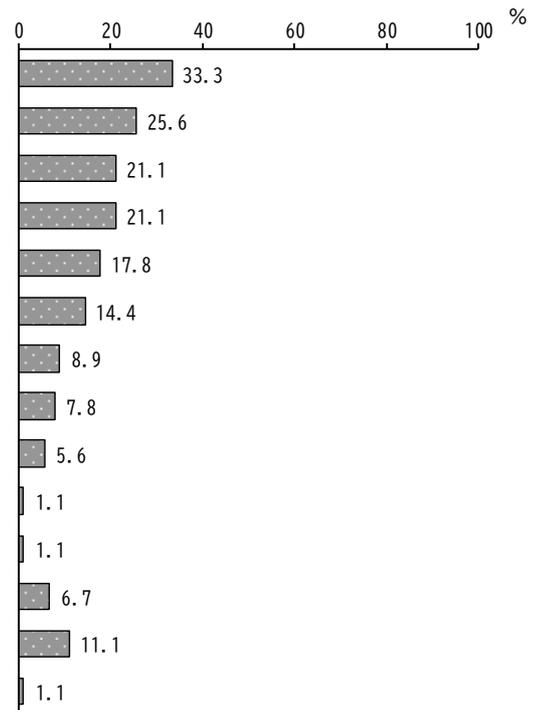


問 20 貴事業所でのサービスの提供において、課題をお答えください。(〇はいくつでも)

「休日や夜間の対応が難しい」の割合が33.3%と最も高く、次いで「利用者の希望する提供日時での受け入れができない」の割合が25.6%、「困難事例への対応が難しい」、「医療的ケアへの対応が難しい」、「家族とのコミュニケーションが難しい」の割合が21.1%となっています。

回答者数 = 90

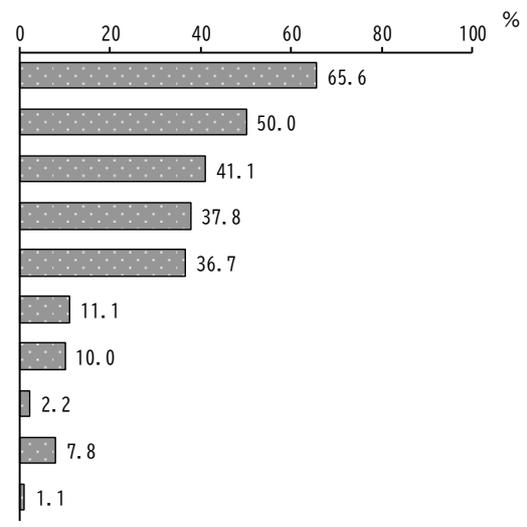
- 休日や夜間の対応が難しい
- 利用者の希望する提供日時での受け入れができない
- 困難事例への対応が難しい
- 医療的ケアへの対応が難しい
- 家族とのコミュニケーションが難しい
- 地域への社会参加が難しい
- 利用者とのコミュニケーションが難しい
- 利用者に対する最適な支援がわからない
- 区や他事業所等の関係機関と連携を図るのが難しい
- 苦情やトラブルが多い
- 近隣住民の理解を得るのが難しい
- その他
- 特になし
- 無回答



問 21 貴事業所がサービス向上のために取り組んでいることをお答えください。(〇はいくつでも)

「事故防止のためヒヤリハット事例の共有を図っている」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「事業所内外で事例検討会を実施している」の割合が 50.0%、「サービス提供マニュアル等の各種マニュアルの整備」の割合が 41.1%となっています。

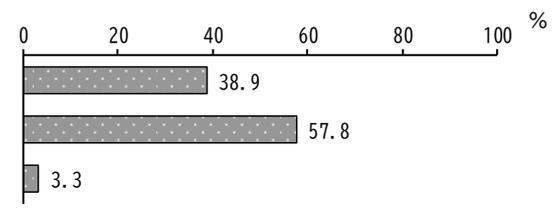
- 回答者数 = 90
- 事故防止のためヒヤリハット事例の共有を図っている
 - 事業所内外で事例検討会を実施している
 - サービス提供マニュアル等の各種マニュアルの整備
 - 第三者評価等の受審
 - 利用者や家族に対し、事業所の利用についてのアンケート調査等を実施している
 - 看護職員の配置による医療的ケアに対応している
 - 介護職員の「喀痰吸引研修」受講により医療的ケアに対応している
 - その他
 - 特になし
 - 無回答



問 22 貴事業所では、第三者評価を受けたことがありますか。(〇は1つ)

「ある」の割合が 38.9%、「ない」の割合が 57.8%となっています。

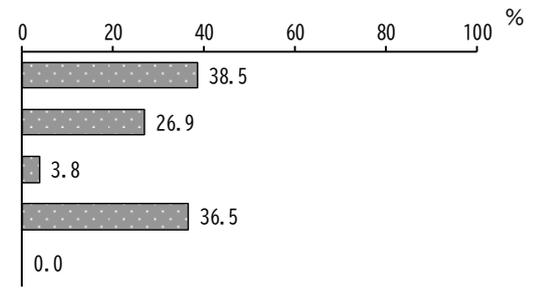
- 回答者数 = 90
- ある
 - ない
 - 無回答



問 23 (問 22 で「2 ない」に〇をつけた事業所のみお答えください。) 第三者評価を受けたことがない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

「費用がかかるため」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「受ける義務がない」の割合が 26.9%となっています。

- 回答者数 = 52
- 費用がかかるため
 - 受ける義務がない
 - 評価されることによるメリットがない
 - その他
 - 無回答

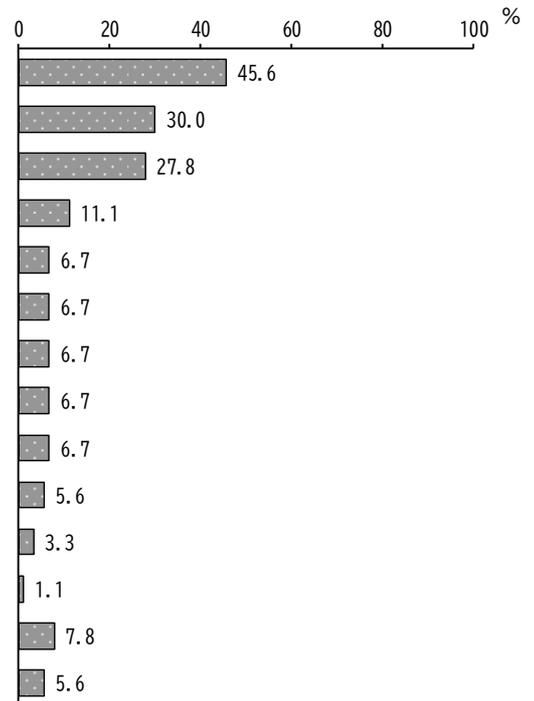


問 24 貴事業所では、利用者や家族からどのような相談や苦情等を受けたことがありますか（〇はいくつでも）

「サービスの内容や質に関すること」の割合が45.6%と最も高く、次いで「特に相談や苦情等はない」の割合が30.0%、「従業員の態度や言葉遣い等に関すること」の割合が27.8%となっています。

回答者数 = 90

- サービスの内容や質に関すること
- 特に相談や苦情等はない
- 従業員の態度や言葉遣い等に関すること
- 個別支援計画に関すること
- 施設の設定に関すること
- 他のサービス提供事業者との連携等に関すること
- 個人情報の管理等に関すること
- 利用の予約に関すること
- 虐待防止や事故防止等に関すること
- 送迎に関すること
- 事業所の支援体制に関すること（従業員の配置数が少ない等）
- 契約書や重要事項説明書に関すること
- その他
- 無回答



問 25 （問 24 で 1～12 に〇をつけた事業所のみお答えください。）利用者や家族からの相談や苦情等に対して、どのような対応をしましたか。以下に具体的に記載してください。

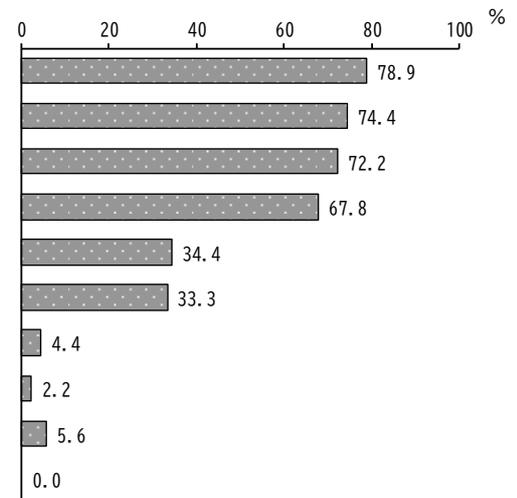
主な意見
訪問して具体的に答えた。誤りは謝罪して改善した。
利用児が通っている園と連携した。（見学をしに行ったり施設の見学を受け入れたり）
追加や振替えの利用について調整をした。
冷暖房の充実→設備の整備。
職員で話し合い、対応策を考えた上で利用者か御家族に説明をした。
面談を実施し話し合いの時間を設けた。説明を行い、至らない点について直接謝罪をして改善していく旨をお伝えし納得頂いた。
内容等については説明・謝罪。
具体的に更に詳しく児童の話の伺い、文面と言葉（話し合い）との関連で計画内容を共に見直した。
ヘルパーに内容を伝え、対応のやり方を考えた。
該当ヘルパーに伝え、ヘルパーの意見を聞く。正確な内容を確認し、改善策を練る。
従業員に周知、意識改革などに向けて話し合いの場を設ける。
口頭にて対応。
ヘルパーの指導の見直し。

問 26 貴事業所では、虐待防止対策について、どのような取り組みを行っているかお答えください。(〇はいくつでも)

「従業員への虐待防止研修を実施している(外部研修への参加も含む)」の割合が78.9%と最も高く、次いで「虐待防止委員会を設置している」の割合が74.4%、「虐待防止等のための責任者を設置している」の割合が72.2%となっています。

回答者数 = 90

- 従業員への虐待防止研修を実施している(外部研修への参加も含む)
- 虐待防止委員会を設置している
- 虐待防止等のための責任者を設置している
- 虐待防止のための指針又はマニュアルを整備している
- 虐待防止連絡体制を整備している
- 事業所内の虐待又は不適切事例のケースを集計・分析し、再発防止策を講じている
- 虐待防止委員会の構成員に外部委員を入れている
- その他
- 特になし
- 無回答

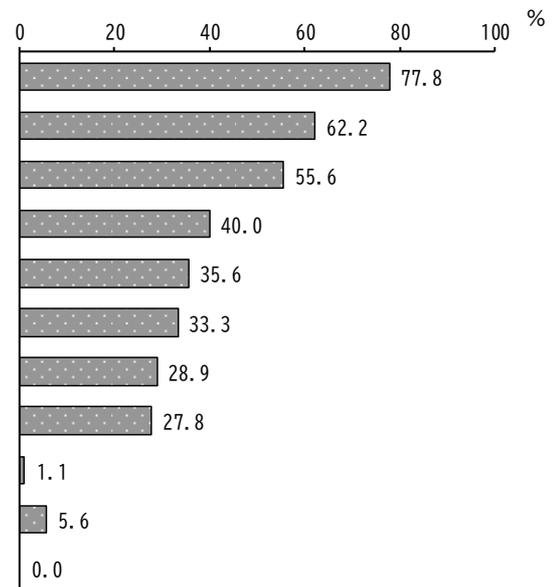


問 27 貴事業所では、災害時の対策についてどのような取り組みをしているかお答えください。

「災害発生時の対策マニュアル等を整備している」の割合が77.8%と最も高く、次いで「備蓄品を整備している」の割合が62.2%、「避難訓練を定期的実施している」の割合が55.6%となっています。

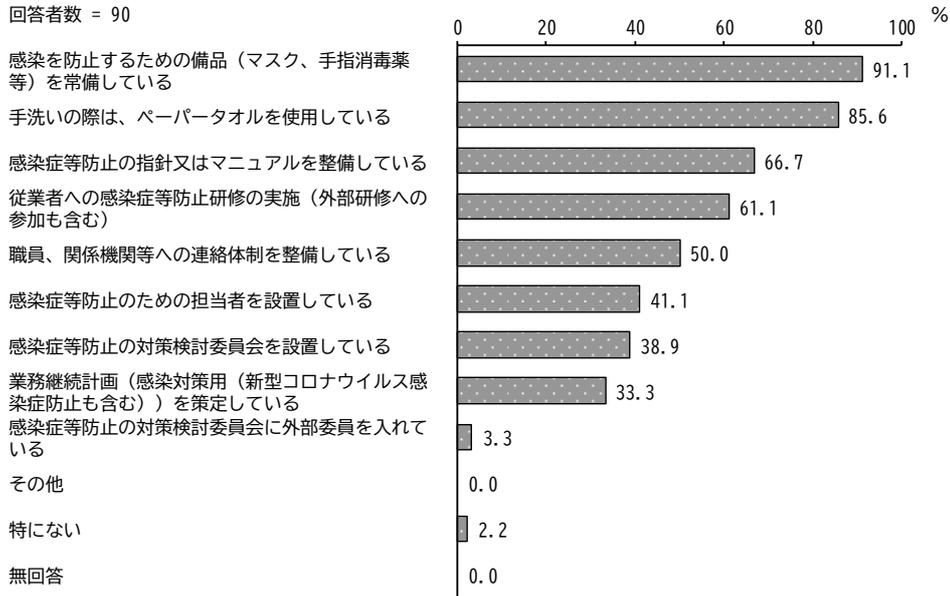
回答者数 = 90

- 災害発生時の対策マニュアル等を整備している
- 備蓄品を整備している
- 避難訓練を定期的実施している
- 事業所内や関係機関との連絡体制を整備している
- 業務継続計画(災害用)を策定している
- 避難確保計画を策定している
- 建物の耐震化を行っている
- 施設内の備品等の耐震化をしている
- その他
- 特になし
- 無回答



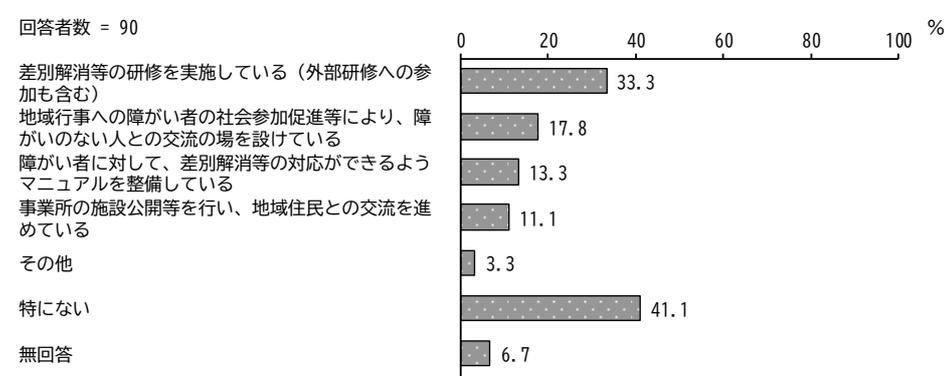
問 28 貴事業所では、感染症及び食中毒の予防及びまん延防止（以下「感染症等防止」という。）の対策についてどのような取り組みをしているかお答えください。（〇はいくつでも）

「感染を防止するための備品（マスク、手指消毒薬等）を常備している」の割合が91.1%と最も高く、次いで「手洗いの際は、ペーパータオルを使用している」の割合が85.6%、「感染症等防止の指針又はマニュアルを整備している」の割合が66.7%となっています。



問 29 貴事業所では、障がい者の差別解消及び合理的配慮（以下「差別解消等」という。）を進めていくために取り組んでいることをお答えください。（〇いくつでも）

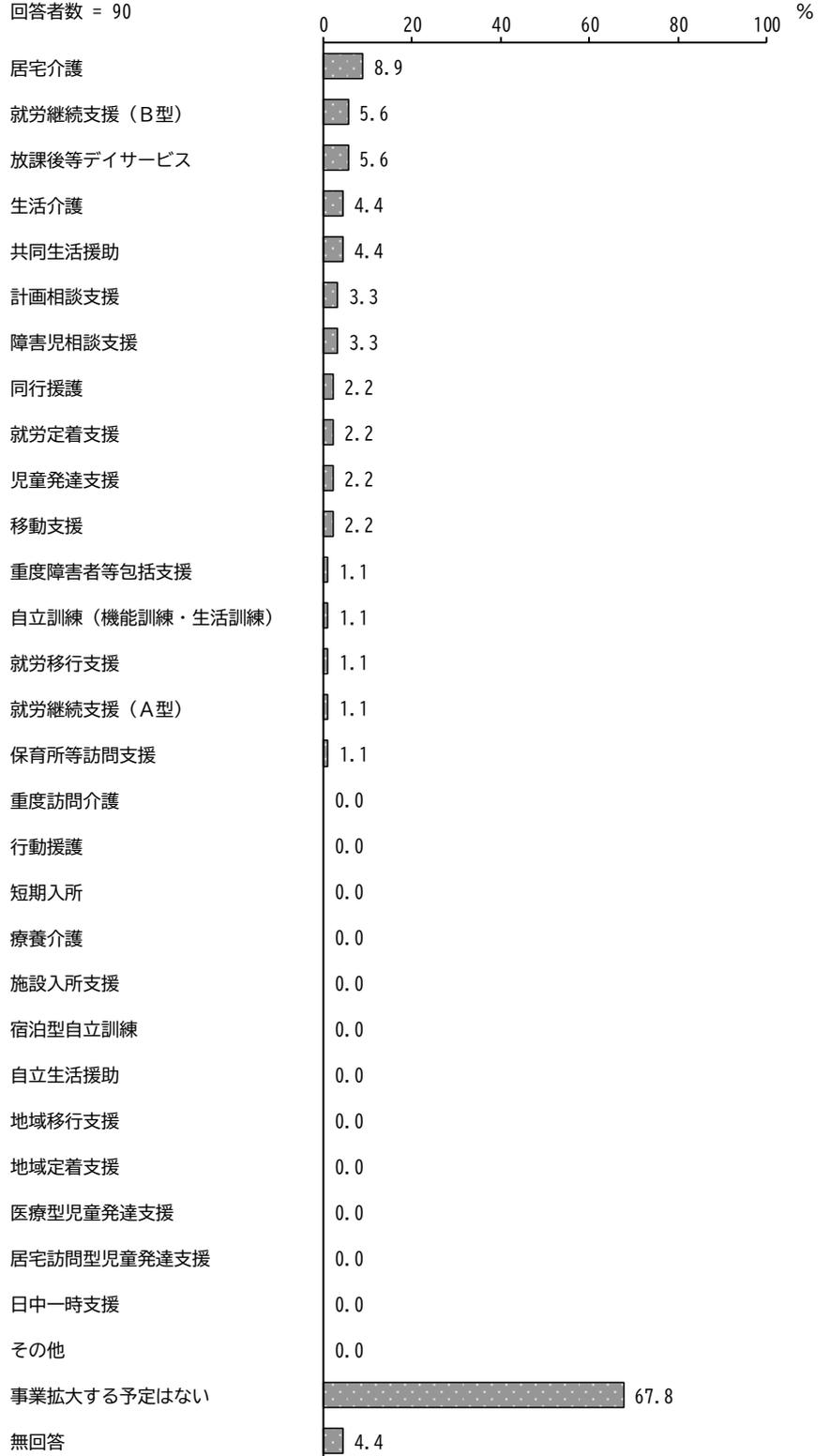
「特になし」の割合が41.1%と最も高く、次いで「差別解消等の研修を実施している（外部研修への参加も含む）」の割合が33.3%、「地域行事への障がい者の社会参加促進等により、障がいのない人との交流の場を設けている」の割合が17.8%となっています。



問 30 貴事業所において、今後、既存の事業所の定員拡大や新たな事業所の新規開設等の事業拡大を考えている障害福祉サービス等をお答えください。(〇はいくつでも)

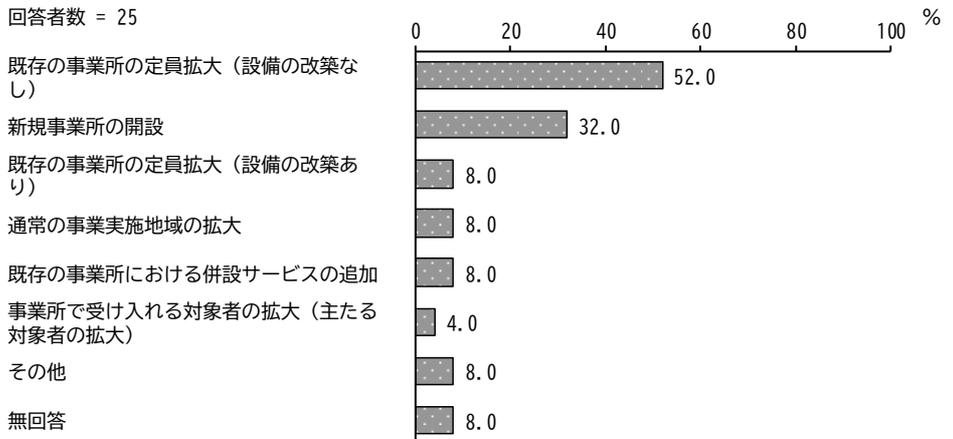
「事業拡大する予定はない」の割合が 67.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 90



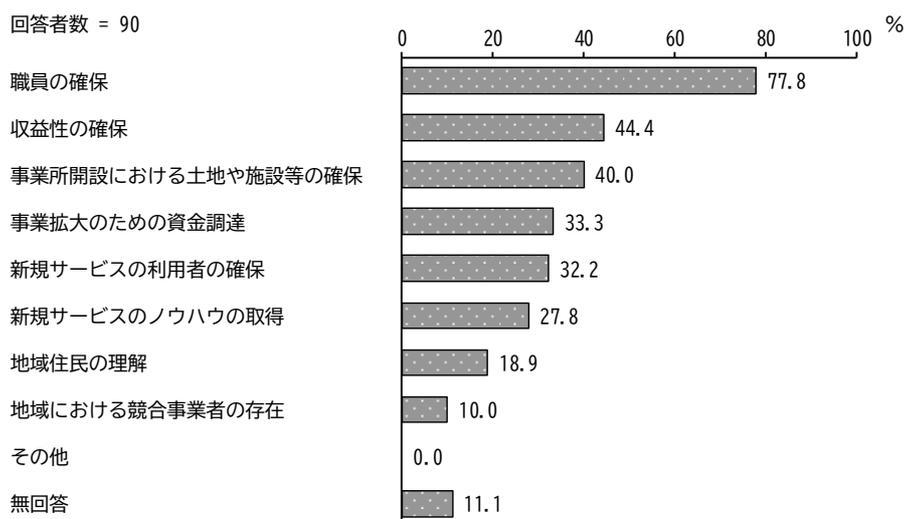
問 31 (問 30 で 30 以外に○をつけた事業所のみお答えください。) 貴事業所で検討されている事業拡大の詳細についてお答えください。貴事業所の事業拡大で優先度の高いものについて○を2つまでつけてください。(○は2つ)

「既存の事業所の定員拡大 (設備の改築なし)」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「新規事業所の開設」の割合が 32.0%となっています。



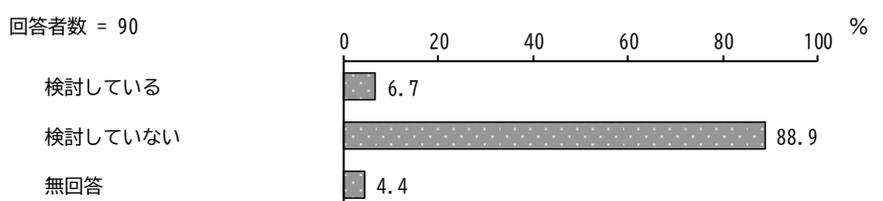
問 32 仮に貴事業所において、事業拡大を行うと想定した場合、事業拡大をするにあたり、課題だと考えられることをお答えください。(○はいくつでも)

「職員の確保」の割合が 77.8%と最も高く、次いで「収益性の確保」の割合が 44.4%、「事業所開設における土地や施設等の確保」の割合が 40.0%となっています。



問 33 貴事業所において、今後、事業所の休止や廃止等による事業縮小を考えているかお答えください。(○は1つ)

「検討している」の割合が 6.7%、「検討していない」の割合が 88.9%となっています。

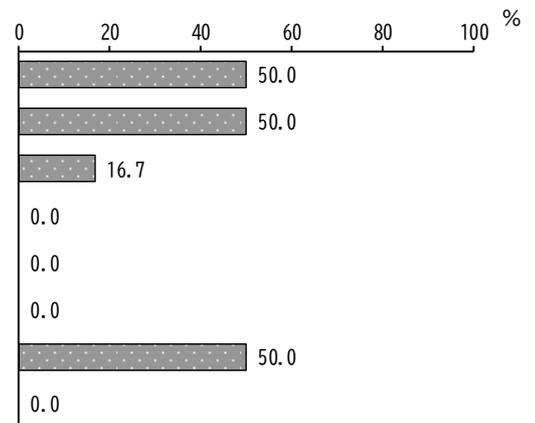


問 34 (問 33 で「1 検討している」に○をつけた事業所のみお答えください。) 事業縮小を検討している理由をお答えください。(○はいくつでも)

「人件費が増加した」、「事務費等の経費が増加した」が3件となっています。「支援の質を確保することが難しい」が1件となっています。

回答者数 = 6

- 人件費が増加した
- 事務費等の経費が増加した
- 支援の質を確保することが難しい
- 利用者の獲得が難しい
- 障害福祉サービス等の収入が少なく、採算がとれない
- 近隣住民の理解が得られず、事業を継続することが難しい
- その他
- 無回答



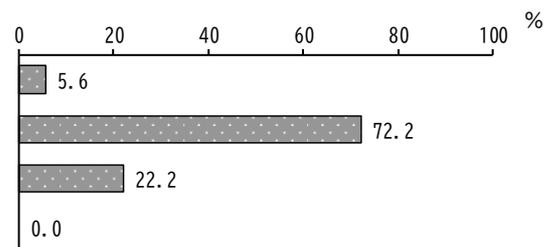
問 35 貴事業所でサービスを提供している利用者の世帯の中で、ヤングケアラー等(※)だと思われる世帯があるかどうかお答えください。(○は1つ)

※本来、大人がすると想定されているような家事や、家族の世話等を日常的に行っている18歳未満の若者のことを指し、「ヤングケアラー」等と呼ばれています。

「いない」の割合が72.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が22.2%となっています。

回答者数 = 90

- いる
- いない
- わからない
- 無回答

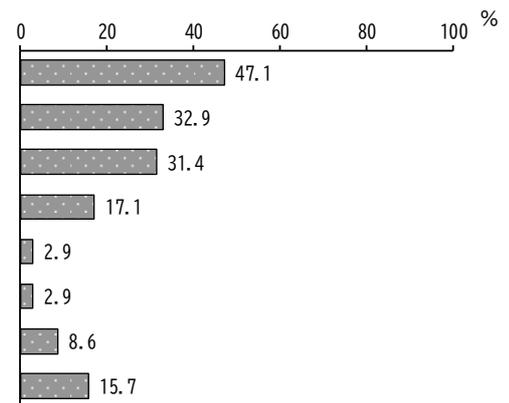


問 36 (問 35 で1又は2に○をつけた事業所のみお答えください。) 貴事業所では、ヤングケアラー等だと思われる方について、どのように把握しているかお答えください。(○はいくつでも)

「必ずヒアリングする項目としていないが、ヒアリングの際に意識している」の割合が47.1%と最も高く、次いで「関係機関等からの情報提供等により把握している」の割合が32.9%、「ケース会議等の会議体での情報提供等により把握している」の割合が31.4%、「ヒアリングの際に意識はしていないが、結果的に把握した」の割合が17.1%、「アセスメントシート等を作成する際、ヒアリングする項目としている」の割合が2.9%、「本人やご家族等からヤングケアラー等だと言われた」の割合が2.9%、「その他」の割合が8.6%、「無回答」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 70

- 必ずヒアリングする項目としていないが、ヒアリングの際に意識している
- 関係機関等からの情報提供等により把握している
- ケース会議等の会議体での情報提供等により把握している
- ヒアリングの際に意識はしていないが、結果的に把握した
- アセスメントシート等を作成する際、ヒアリングする項目としている
- 本人やご家族等からヤングケアラー等だと言われた
- その他
- 無回答



荒川区
障がい者総合プラン策定のための
障がい者実態調査
調査結果報告書
(概要版)

令和5年3月発行
登録(04)0144号

発行・編集 東京都荒川区福祉部障害者福祉課
〒116-8501
東京都荒川区荒川二丁目2番3号
電話 03-3802-3111 (代表)
内線2681